

防府市在宅介護実態調査 調査報告書

～第9期介護保険事業計画の策定に向けて～

令和5年6月

<防府市>

目次

I 在宅介護実態調査の概要

- 1 アンケート調査の目的 [P. 1]
- 2 アンケート調査の実施概要
- 3 集計・分析における留意点 [P. 2]
- 4 サンプルと参考資料について [P. 3]

II 単純集計結果

- 1 基本調査項目（A票） [P. 4]
 - (1) 世帯類型
 - (2) 家族等による介護の頻度
 - (3) 主な介護者の本人との関係 [P. 5]
 - (4) 主な介護者の性別
 - (5) 主な介護者の年齢 [P. 6]
 - (6) 主な介護者が行っている介護 [P. 7]
 - (7) 介護のための離職の有無 [P. 8]
 - (8) 保険外の支援・サービスの利用状況
 - (9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス [P. 9]
 - (10) 施設等検討の状況
 - (11) 介護保険サービスの利用の有無 [P. 10]
 - (12) 介護保険サービス未利用の理由
- 2 主な介護者様用の調査項目（B票） [P. 11]
 - (1) 主な介護者の勤務形態
 - (2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況 [P. 12]
 - (3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識 [P. 13]
 - (4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護
- 3 要介護認定データ [P. 14]
 - (1) 年齢
 - (2) 性別
 - (3) 二次判定結果（要介護度） [P. 15]
 - (4) サービス利用の組み合わせ
 - (5) 訪問系サービスの合計利用回数 [P. 16]
 - (6) 通所系サービスの合計利用回数
 - (7) 短期系サービスの合計利用回数 [P. 17]

- (8) 障害高齢者の日常生活自立度
- (9) 認知症高齢者の日常生活自立度 [P. 18]

Ⅲ 介護保険事業計画の策定に向けた検討

1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討 [P. 19]

1.1 集計・分析の狙い

1.2 集計結果と着目すべきポイント

- (1) 基礎集計
- (2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化 [P. 21]
- (3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化 . . . [P. 23]
- (4) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係 [P. 26]
- (5) 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係 . . . [P. 29]
- (6) 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係 [P. 31]
- (7) 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係 [P. 34]

2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討 [P. 40]

2.1 集計・分析の狙い

2.2 集計結果と着目すべきポイント [P. 41]

- (1) 基本集計
- (2) 就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み [P. 44]
- (3) 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係 [P. 48]
- (4) 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係 [P. 52]
- (5) 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況 [P. 54]
- (6) 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援 [P. 57]

3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討 [P. 59]

3.1 集計・分析の狙い

3.2 集計結果と着目すべきポイント

- (1) 基礎集計
- (2) 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス [P. 61]
- (3) 「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」 [P. 64]
- (4) 「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」 [P. 69]

4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討 [P. 73]

4.1 集計・分析の狙い

4.2 集計結果と着目すべきポイント	
(1) 基礎集計	
(2) 「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」	・・・ [P. 75]
(3) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」	・・・ [P. 77]
(4) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」	・・・ [P. 81]
5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討	・・・ [P. 85]
5.1 集計・分析の狙い	
5.2 集計結果と着目すべきポイント	
(1) 基礎集計	
6 サービス未利用の理由など	・・・ [P. 88]
6.1 集計・分析の狙い	
6.2 集計結果（参考）	
(1) 要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由	
(2) 認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由	・・・ [P. 93]
(3) 認知症自立度別の今後の在宅生活に必要と感じる支援・サービス	・・・ [P. 97]
(4) 本人の年齢別・主な介護者の年齢	・・・ [P. 101]

巻末資料

- 1 調査票A（主たる介護者のいる方用）
- 2 調査票B（主たる介護者のいない方用）

I 在宅介護実態調査の概要

1 アンケート調査の目的

本アンケート調査（以下、本調査）は、第9期介護保険事業計画において、これまでの「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点も盛り込むため、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的として、主に在宅で要支援・要介護認定を受けている方を対象として調査を実施しました。

2 アンケート調査の実施概要

(1) 調査の対象者（数）と期間

本調査の対象は、在宅で生活している要支援・要介護者のうち「要支援・要介護認定の更新申請・区分変更申請」をし、令和4年11月15日から令和5年3月31日までの期間に認定調査を受けた人です。

したがって、医療機関に入院している人、特別養護老人ホーム・老人保健施設・介護療養型医療施設・特定施設・グループホーム・地域密着型特定施設・地域密着型特別養護老人ホームに入所又は入居している人は、調査の対象とはなっていません。

本調査は認定調査データと関連付けが可能な519名の対象者のデータを次のとおり集計しました。

(2) 調査の方法・手順

(1)の対象者の方が要介護認定の訪問調査を受ける際に、認定調査員が、主として認定調査の概況調査の内容を質問しながら、本調査のアンケート用紙（巻末資料参照：主たる介護者のいる場合といない場合で用紙を分けて作成。）に回答を転記する方法で調査を行いました。

主な介護者が認定調査に同席している場合は、主な介護者から聞き取りを行い、主たる介護者が不在または同席していない場合は、認定調査対象者本人から聞き取るか、アンケート用紙を主たる介護者に提供し、後日郵送にて回収しました。

なお、認定調査データと関連付けた分析を行うため、回答票には調査対象者の「被保険者番号」を記載し、個人情報の利用に係る同意をいただきました。

調査・分析の具体的な手順を、以下に示します。

調査の方法・手順

STEP 1	・認定調査の訪問時に、本調査を同時に実施し、回答票に記入する。調査項目は、認定調査の概況調査等で聞き取る内容に追加して、新たに申請者への聞き取りを行うものとなる。
STEP 2	・回答票をデータ化する。
STEP 3	・認定調査終了後は、通常の認定事務のプロセスで処理を行い、認定結果を認定ソフト 2021 から CSV ファイルで出力する。
STEP 4	・アンケート調査の結果と認定調査の結果を「被保険者番号」で関連付けて、両データを合わせた詳細な分析を行う。

3 集計・分析における留意点

サービス利用の回数・組み合わせ等に着目した集計・分析に係る用語の定義

本集計・分析では、介護保険サービスの利用回数・利用の組み合わせ等に着目した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」、「通所系」、「短期系」の3つに分類して集計しています。なお、介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「介護予防・生活支援サービス」も含まれます。それぞれ、用語の定義は以下の通りです。

<サービス利用の分析に用いた用語の定義>

用語		定義
未利用		・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。
訪問系		・訪問介護・訪問型サービス、(介護予防)訪問入浴介護、(介護予防)訪問看護、(介護予防)訪問リハビリテーション、(介護予防)居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		・通所介護・通所型サービス、(介護予防)通所リハビリテーション、(介護予防)認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。
短期系		・(介護予防)短期入所生活介護、(介護予防)短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	小規模多機能	・(介護予防)小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計しています。
	看護多機能	・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。
	定期巡回	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

＜サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義＞

用語	定義
未利用	・上表に同じ
訪問系のみ	・上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む 組み合わせ	・上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「短期系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」＋「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ	・上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」＋「短期系」の利用を集計しています。

(2) サービス利用のカテゴリ化に係る注意点

(1)の通り、介護保険サービスを大きく、「訪問系」、「通所系」、「短期系」の3つに分類して集計しています。

実際には、訪問系は、訪問介護や訪問リハビリテーション、訪問看護など、内容の異なる複数のサービスがまとめて集計されていることから、訪問介護が必要であるか、訪問看護が必要であるかといったような細かな分析は行っていません。

(3) 施設等検討の状況に係る用語の定義

本集計・分析では、施設等検討の状況について、「入所・入居は検討していない（検討していない）」、「入所・入居を検討している（検討中）」、「すでに入所・入居申し込みをしている（申請済み）」の3つに分類して集計しています。

ここでの、施設等の定義については、調査票内において「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。」としています。

したがって、ここでの施設等とは、介護保険施設に限定するものではありません。

4 サンプル数と参考資料について

本調査について厚生労働省は、保険者圏域内人口10万人以上を上回る自治体においては、600件のサンプルを必要としています。

防府市においては、調査対象者600名を目標に、調査対象期間内に認定調査員が訪問し、アンケート調査の趣旨を説明し、同意を得た人にのみ調査を行いました。

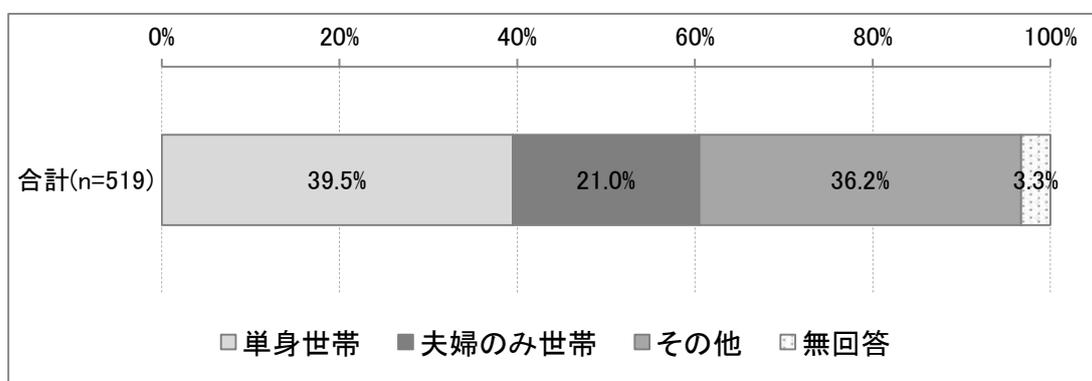
II 単純集計結果

1 基本調査項目（A票）

(1) 世帯類型

「単身世帯」の割合が最も高く 39.5%となっています。次いで、「その他（36.2）」、「夫婦のみ世帯（21.0%）」となっています。

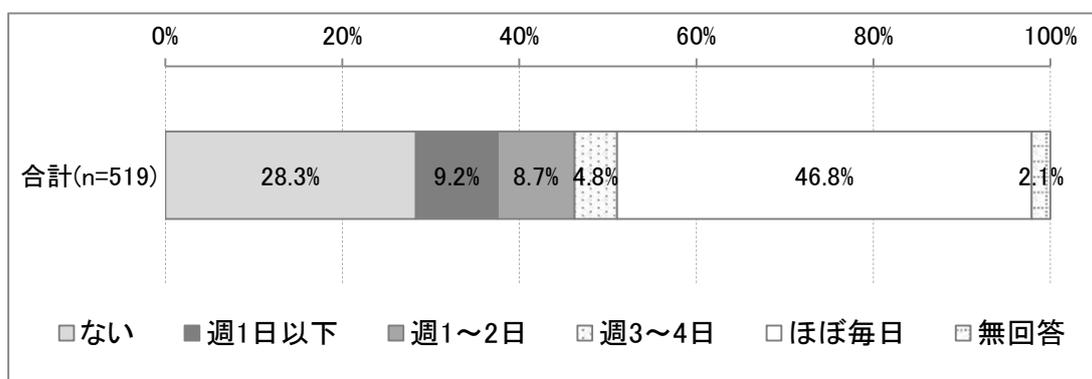
図表 1-1 世帯類型（単数回答）



(2) 家族等による介護の頻度

「ほぼ毎日」の割合が最も高く 46.8%となっています。次いで、「ない（28.3）」、「週1日以下（9.2%）」となっています。

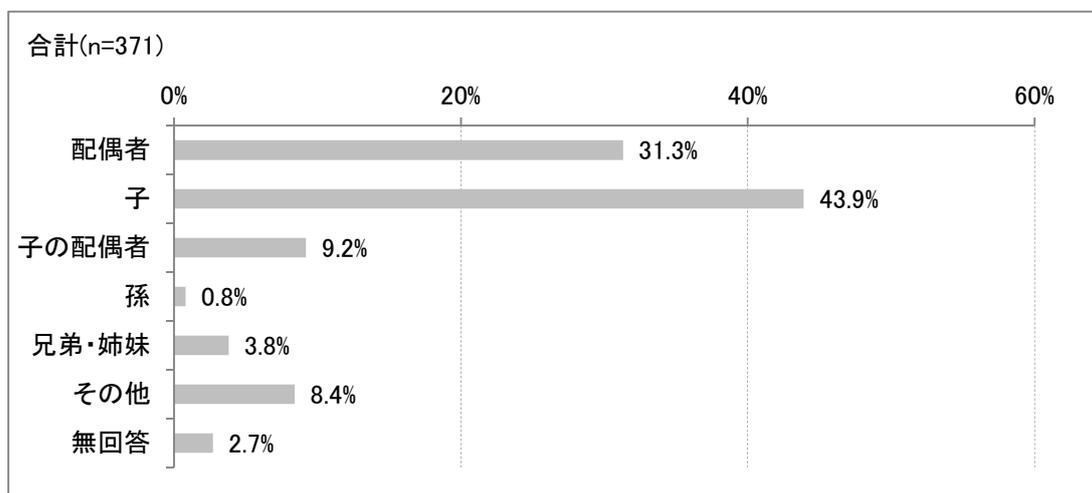
図表 1-2 家族等による介護の頻度（単数回答）



(3) 主な介護者の本人との関係

「子」の割合が最も高く 43.9%となっています。次いで、「配偶者 (31.3%)」、「子の配偶者 (9.2%)」となっています。

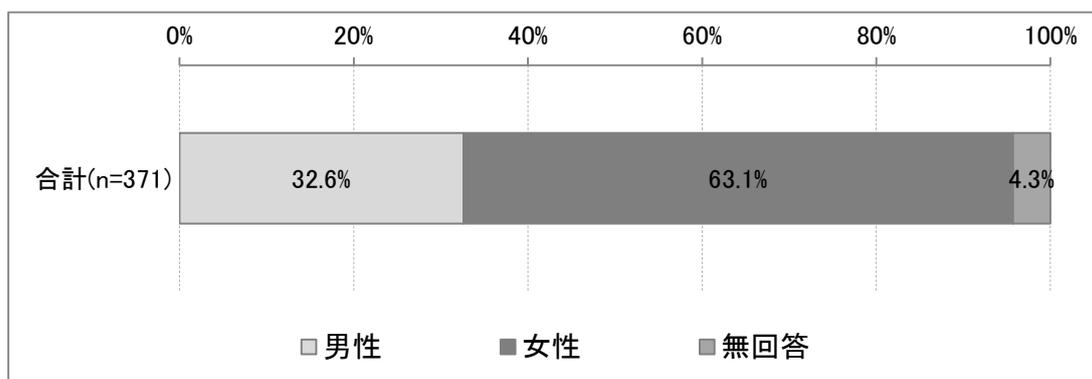
図表 1-3 ★主な介護者の本人との関係 (単数回答)



(4) 主な介護者の性別

「女性」の割合が最も高く 63.1%となっています。次いで、「男性 (32.6%)」となっています。

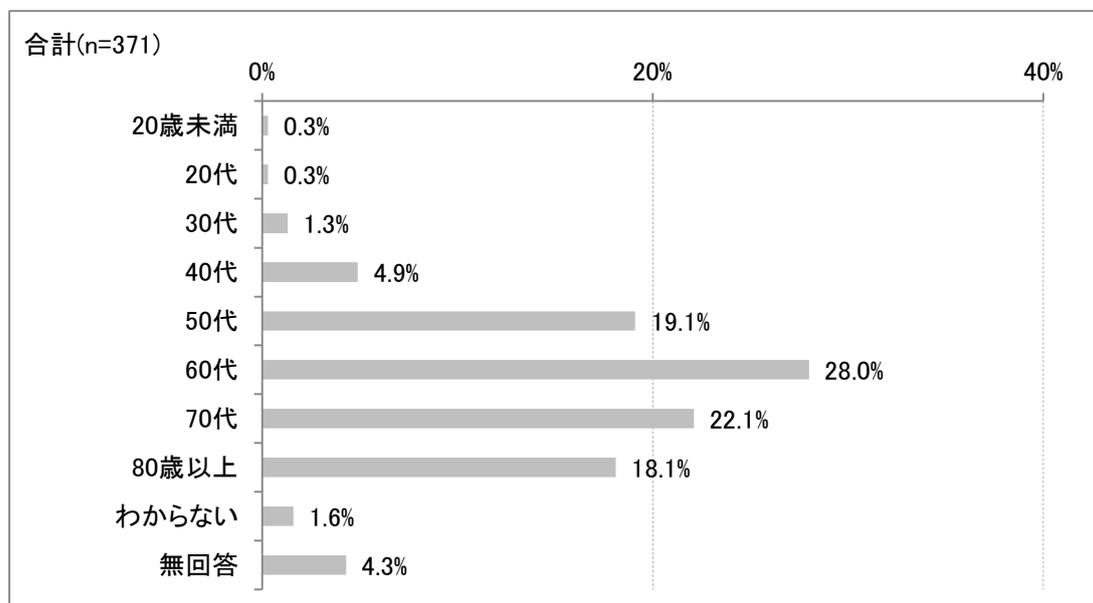
図表 1-4 ★主な介護者の性別 (単数回答)



(5) 主な介護者の年齢

「60代」の割合が最も高く28.0%となっています。次いで、「70代(22.1%)」、「50代(19.1%)」となっています。

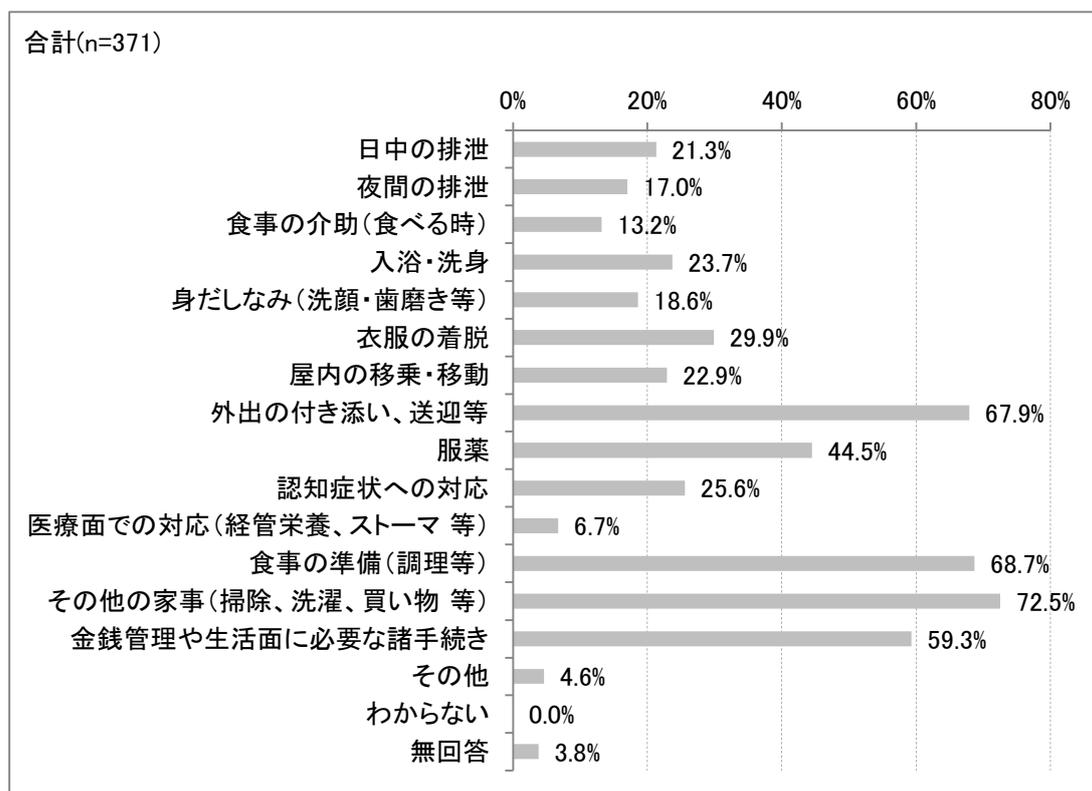
図表 1-5 主な介護者の年齢（単数回答）



(6) 主な介護者が行っている介護

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が最も高く 72.5%となっています。次いで、「食事の準備（調理等）（68.7%）」、「外出の付き添い、送迎等（67.9%）」となっています。

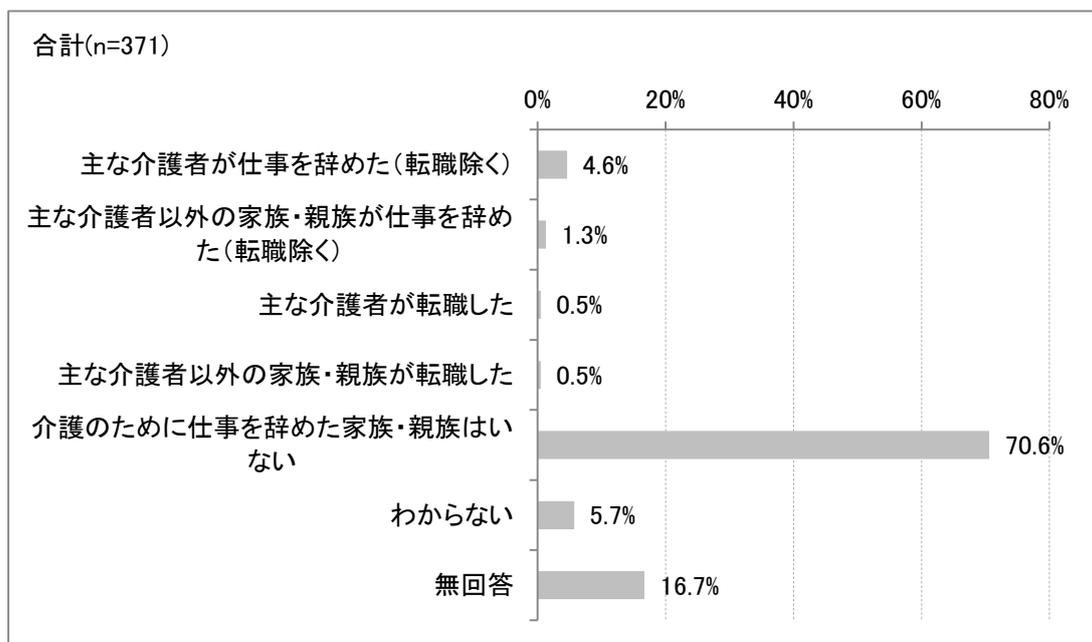
図表 1-6 ★主な介護者が行っている介護（複数回答）



(7) 介護のための離職の有無

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く70.6%となっています。次いで、「わからない(5.7%)」、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)(4.6%)」となっています。

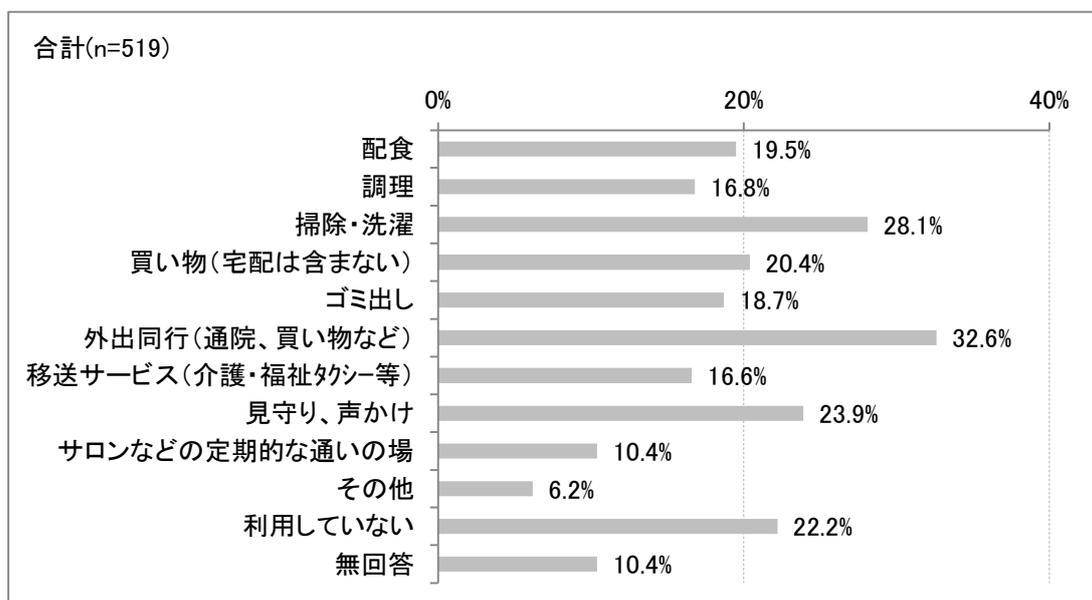
図表 1-7 介護のための離職の有無（複数回答）



(8) 保険外の支援・サービスの利用状況

「外出同行(通院、買い物など)」の割合が最も高く32.6%となっています。次いで、「掃除・洗濯(28.1%)」、「見守り、声かけ(23.9%)」となっています。

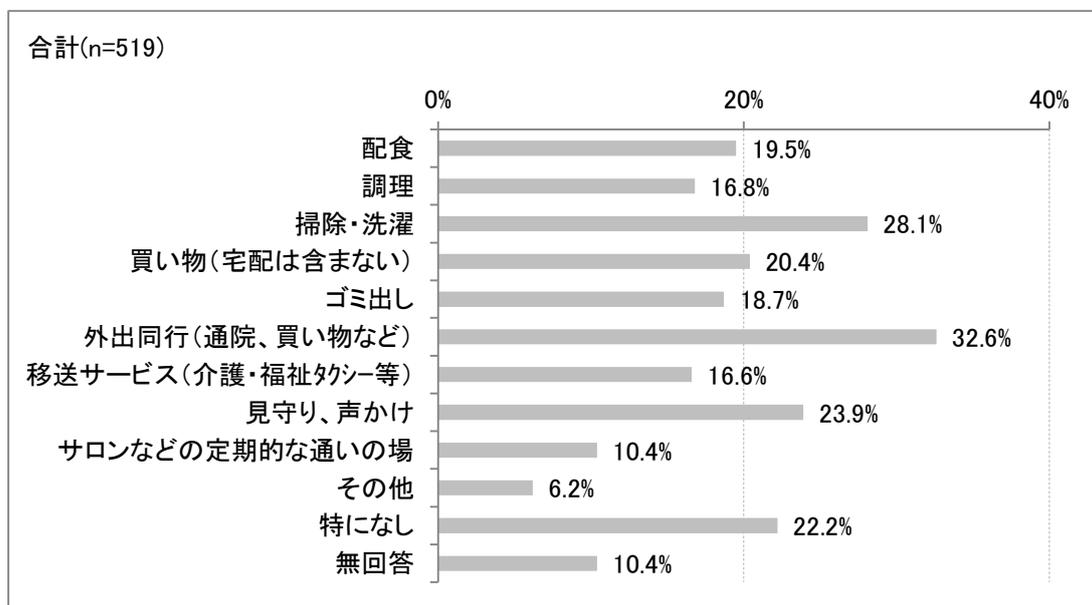
図表 1-8 ★保険外の支援・サービスの利用状況（複数回答）



(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く 32.6%となっています。次いで、「掃除・洗濯（28.1%）」、「見守り、声かけ（23.9%）」となっています。

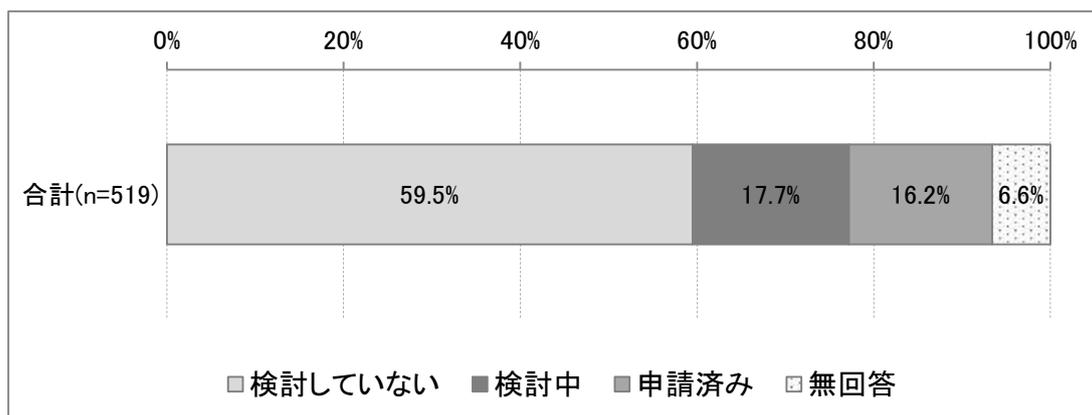
図表 1-9 ★在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（複数回答）



(10) 施設等検討の状況

「検討していない」の割合が最も高く 59.5%となっています。次いで、「検討中（17.7%）」、「申請済み（16.2%）」となっています。

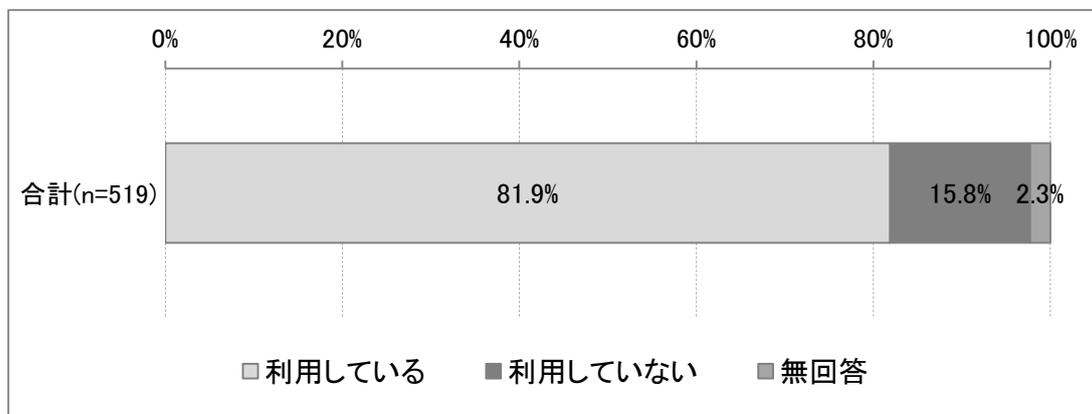
図表 1-10 施設等検討の状況（単数回答）



(11) 介護保険サービスの利用の有無

「利用している」の割合が最も高く 81.9%となっています。

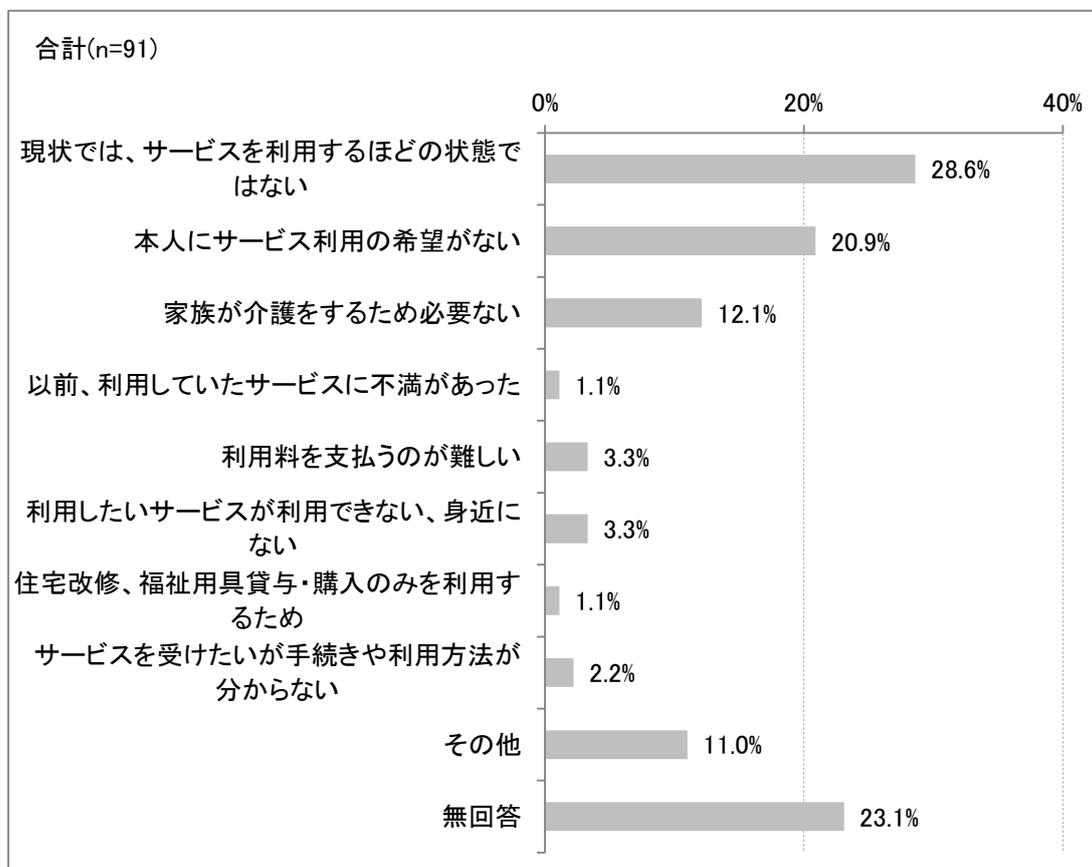
図表 1-11 ★介護保険サービスの利用の有無（単数回答）



(12) 介護保険サービス未利用の理由

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が最も高く 28.6%となっています。次いで、「本人にサービス利用の希望がない (20.9%)」となっています。

図表 1-12 ★介護保険サービスの未利用の理由（複数回答）

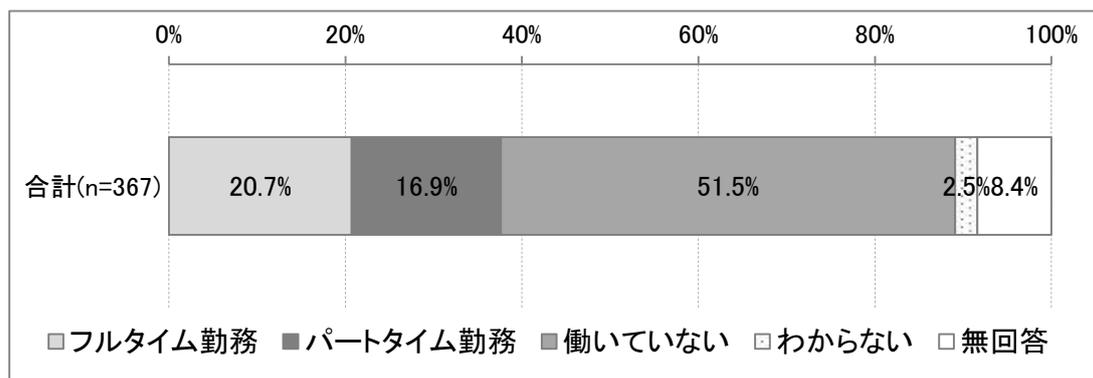


2 主な介護者様用の調査項目（B票）

(1) 主な介護者の勤務形態

「働いていない」の割合が最も高く 51.5%となっています。次いで、「フルタイム勤務 (20.7%)」、「パートタイム勤務 (16.9%)」となっています。

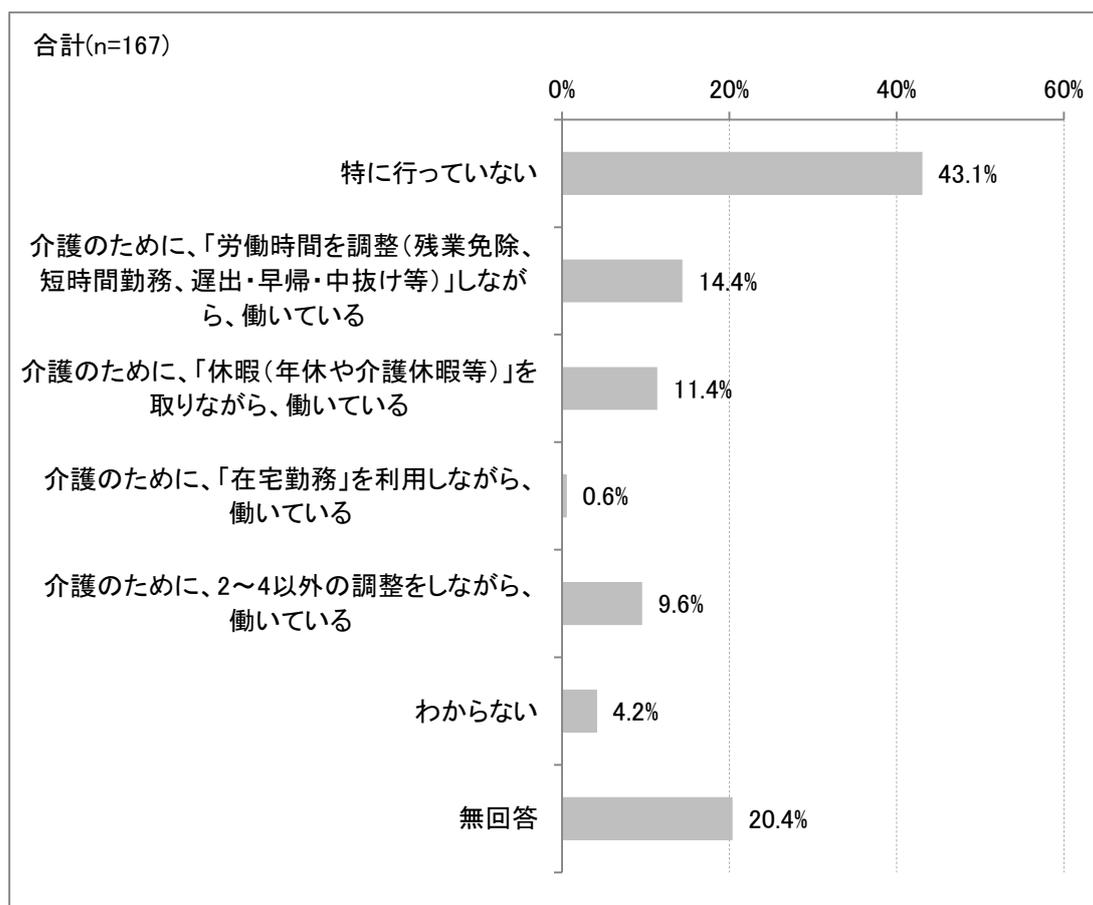
図表 2-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

「特に行っていない」の割合が最も高く 43.1%となっています。次いで、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている（14.4%）」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている（11.4%）」となっています。

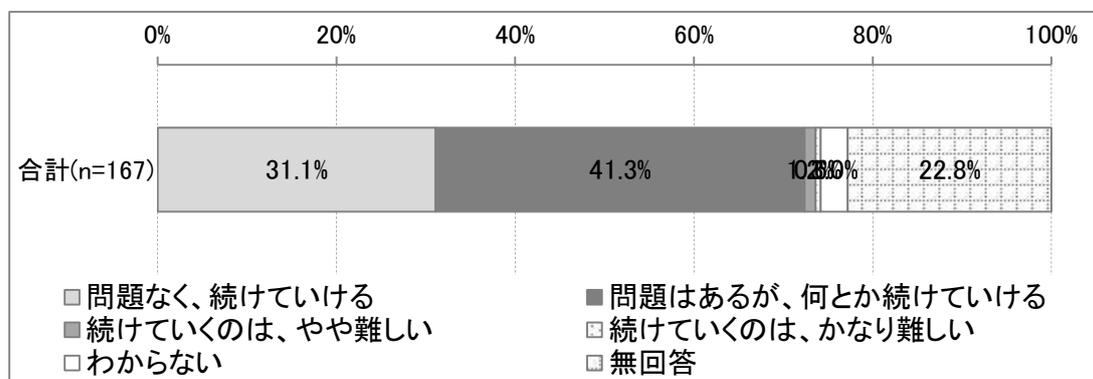
図表 2-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



(3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 41.3%となっています。次いで、「問題なく、続けていける (31.1%)」、「わからない (3.0%)」となっています。

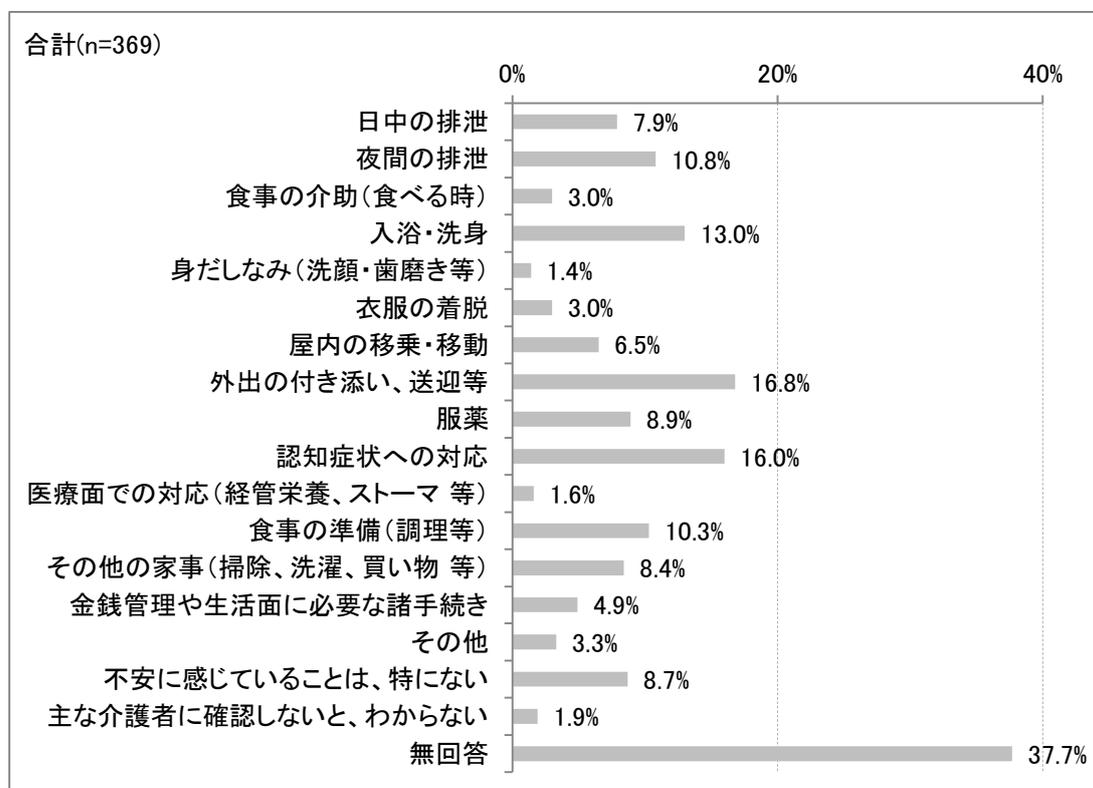
図表 2-3 主な介護者の就労継続の可否に係る意識 (単数回答)



(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

「外出の付き添い、送迎等」の割合が最も高く 16.8%となっています。次いで、「認知症状への対応 (16.0%)」、「入浴・洗身 (13.0%)」となっています。

図表 2-4 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護 (複数回答)

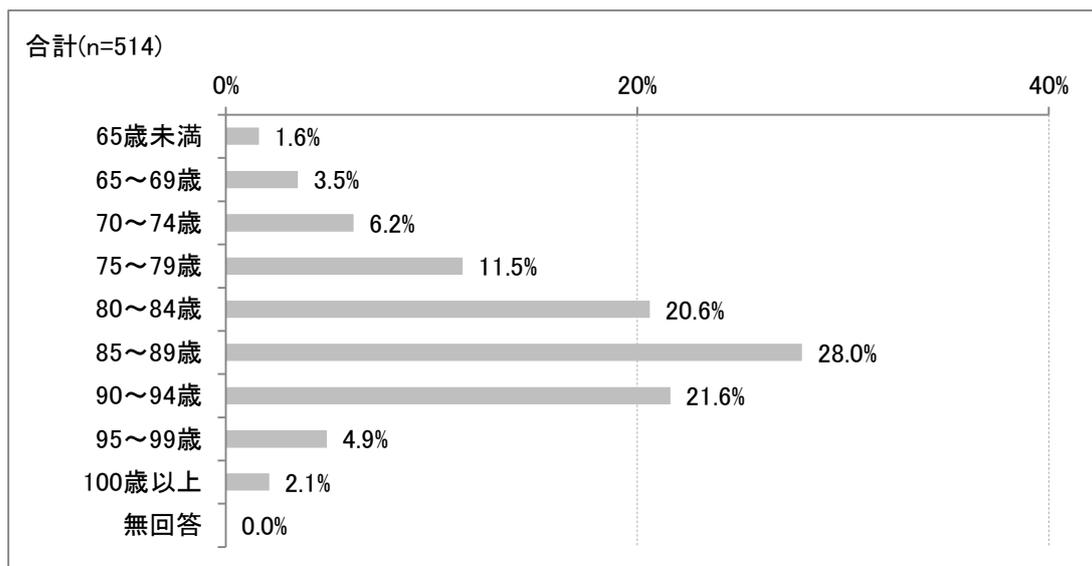


3 要介護認定データ

(1) 年齢

「85～89歳」の割合が最も高く28.0%となっています。次いで、「90～94歳（21.6%）」、「80～84歳（20.6%）」となっています。

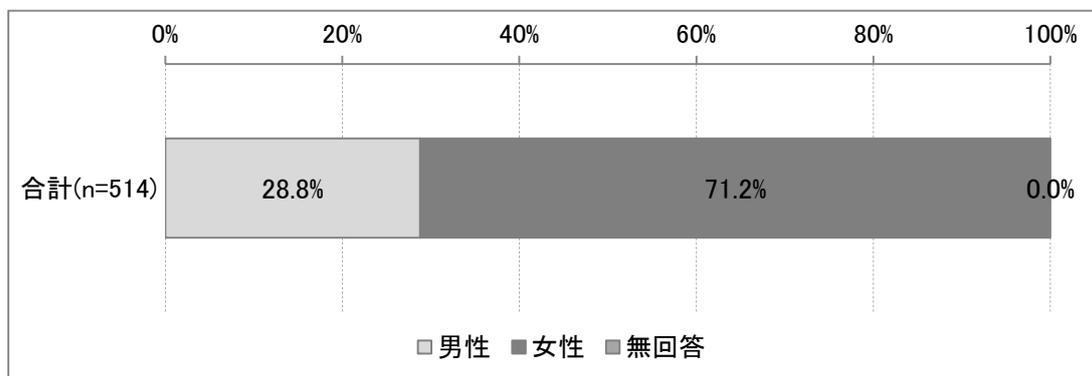
図表 3-1 年齢



(2) 性別

「女性」の割合が最も高く71.2%となっています。次いで、「男性（28.8%）」となっています。

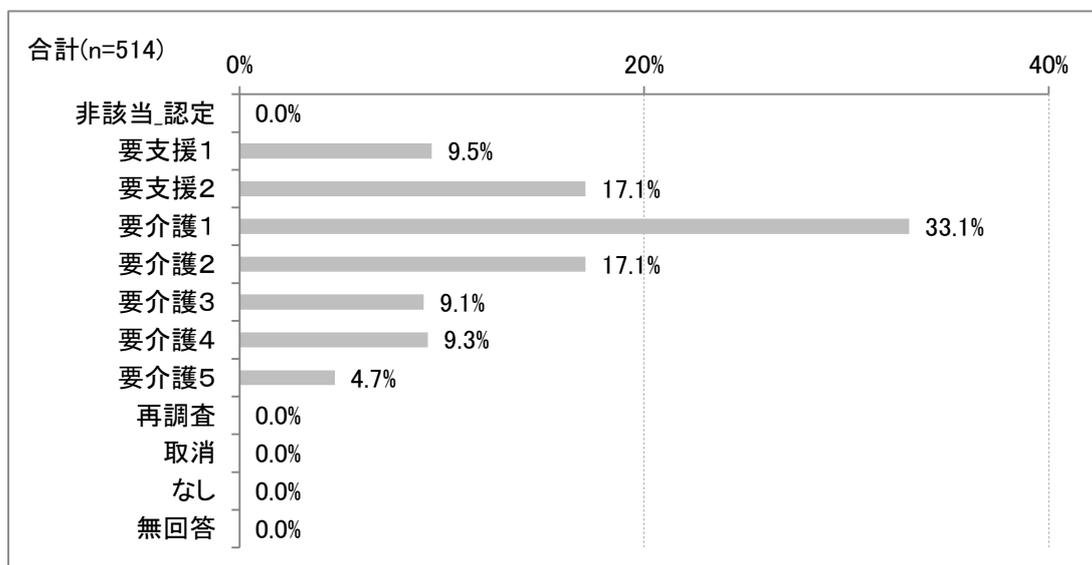
図表 3-2 性別



(3) 二次判定結果（要介護度）

「要介護1」の割合が最も高く33.1%となっています。次いで、「要支援2（17.1%）」、「要介護2（17.1%）」、「要支援1（9.5%）」となっています。

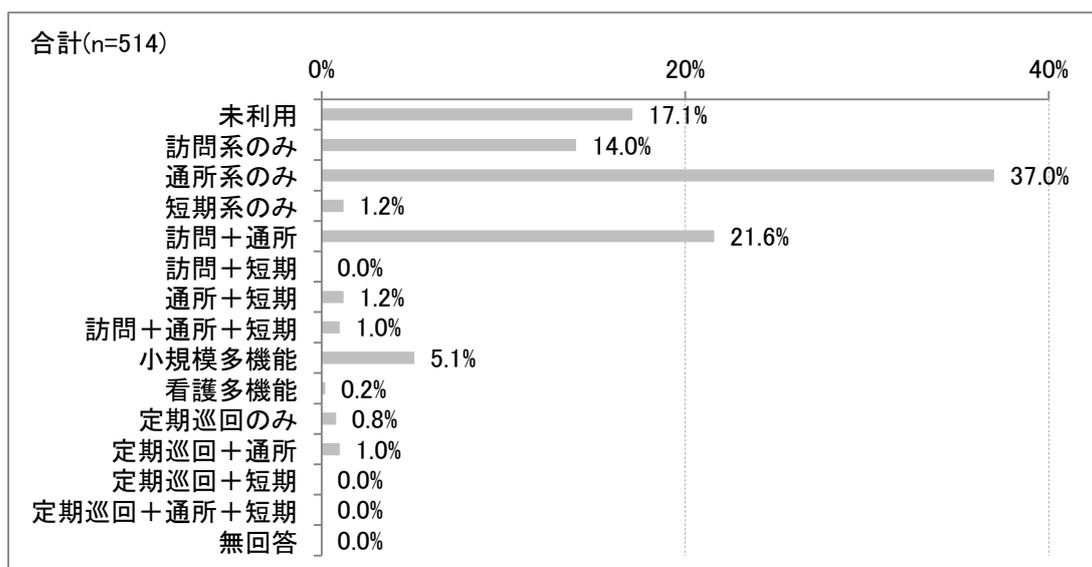
図表 3-3 二次判定結果



(4) サービス利用の組み合わせ

「通所系のみ」の割合が最も高く37.0%となっています。次いで、「訪問+通所（21.6%）」、「未利用（17.1%）」となっています。

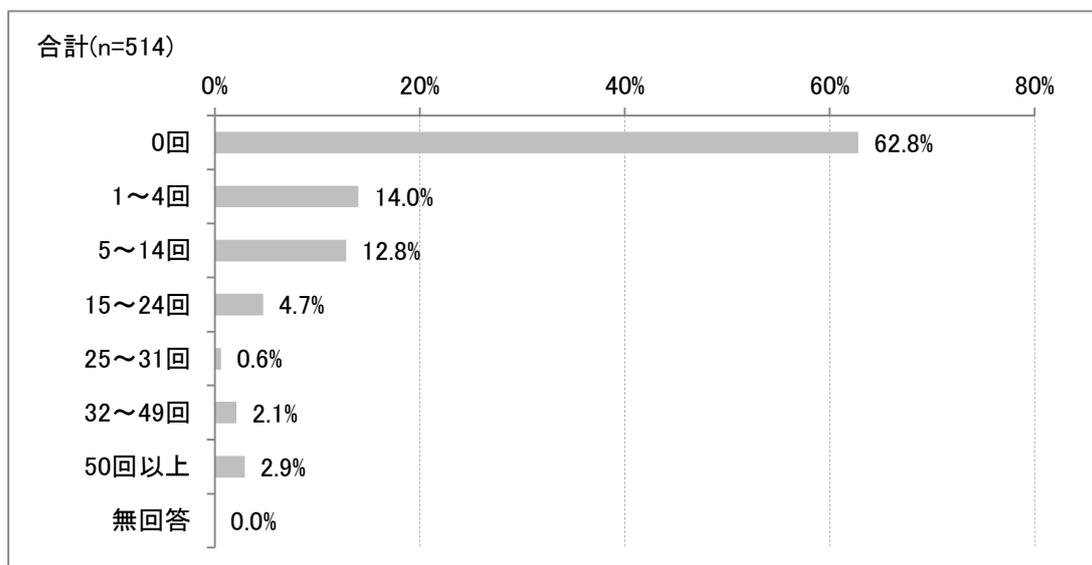
図表 3-4 サービス利用の組み合わせ



(5) 訪問系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く62.8%となっています。次いで、「1～4回（14.0%）」、「5～14回（12.8%）」となっています。

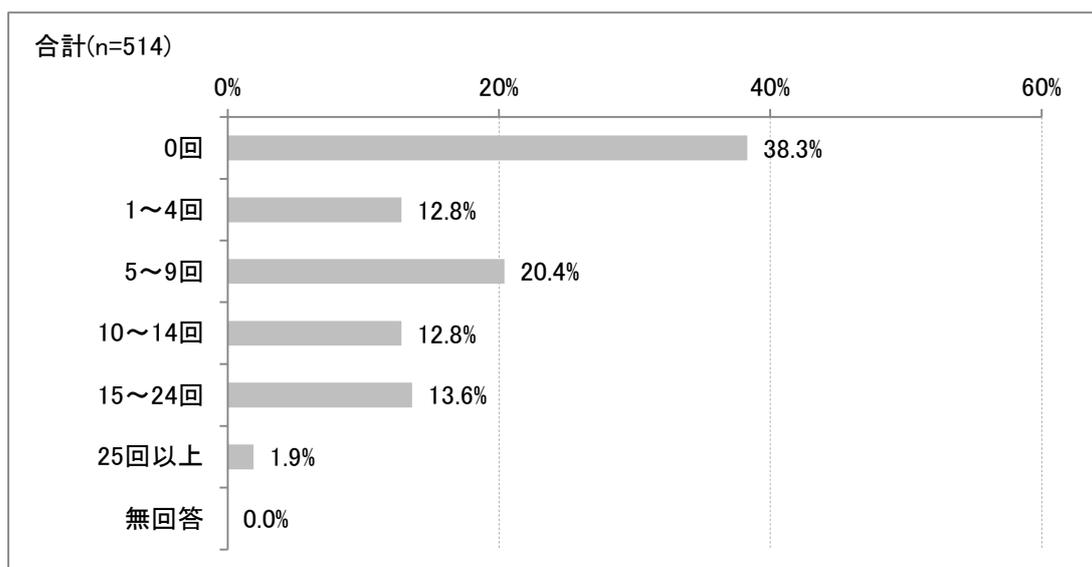
図表 3-5 サービスの利用回数（訪問系）



(6) 通所系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く38.3%となっています。次いで、「5～9回（20.4%）」、「15～24回（13.6%）」となっています。

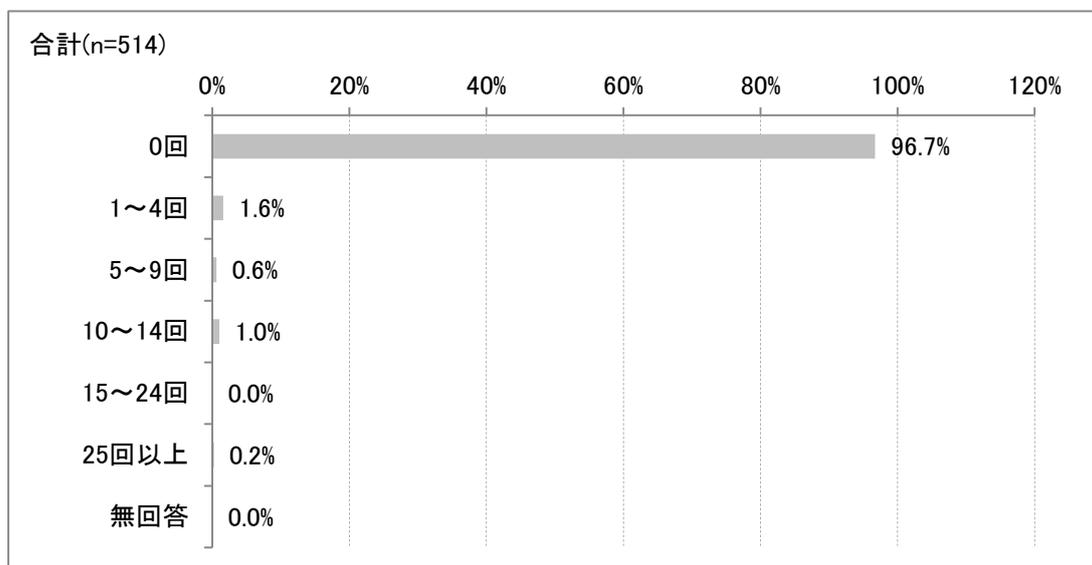
図表 3-6 サービスの利用回数（通所系）



(7) 短期系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く96.7%となっています。次いで、「1～4回（1.6%）」、「10～14回（1.0%）」となっています。

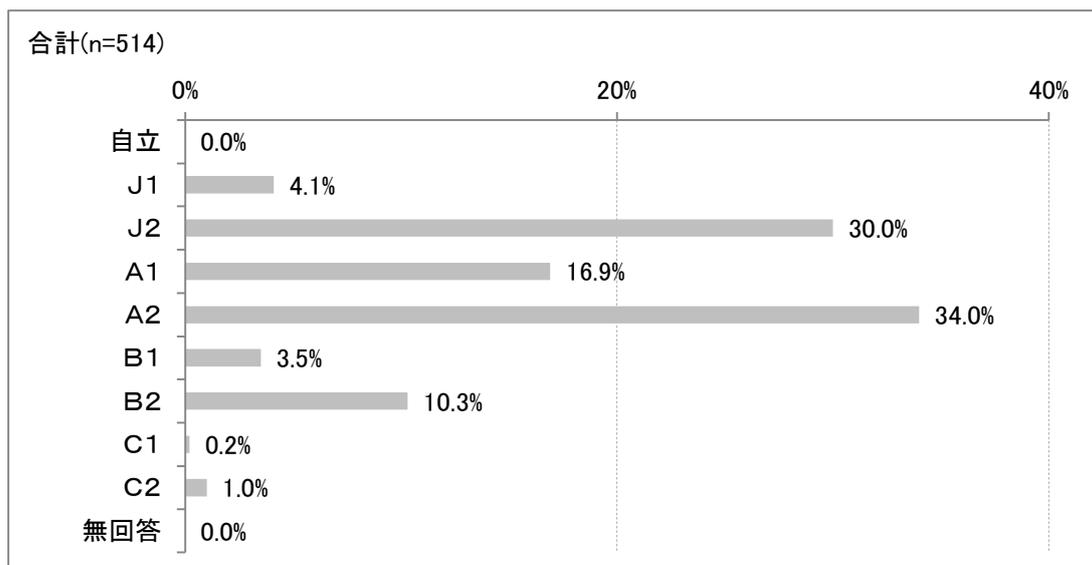
図表 3-7 サービスの利用回数（短期系）



(8) 障害高齢者の日常生活自立度

「A2」の割合が最も高く34.0%となっています。次いで、「J2（30.0%）」、「A1（16.9%）」となっています。

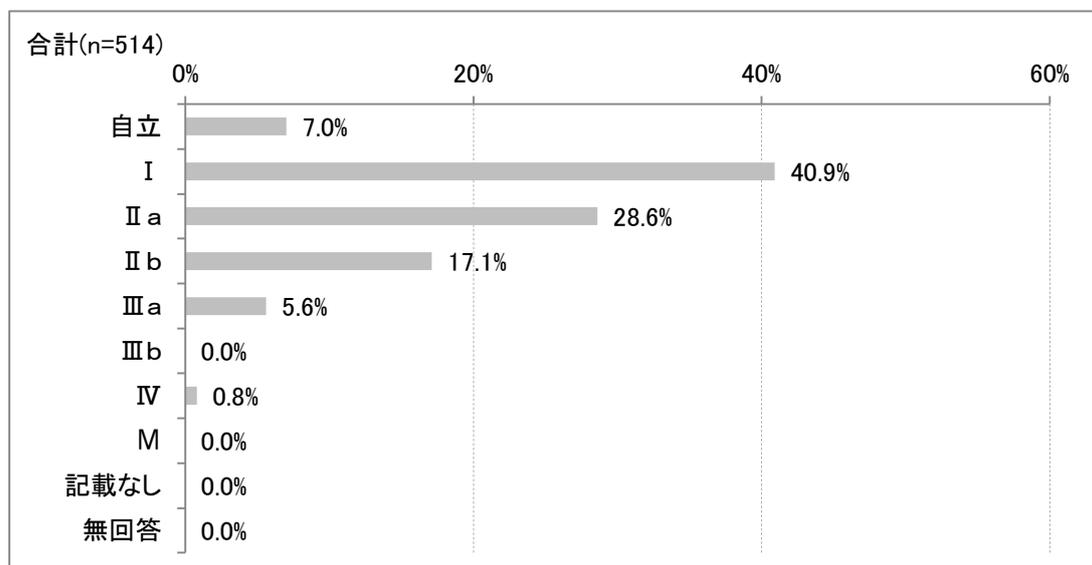
図表 3-8 障害高齢者の日常生活自立度



(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

「I」の割合が最も高く40.9%となっています。次いで、「II a (28.6%)」、「II b (17.1%)」となっています。

図表 3-9 認知症高齢者の日常生活自立度



Ⅲ 介護保険事業計画の策定に向けた検討

1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

1.1 集計・分析の狙い

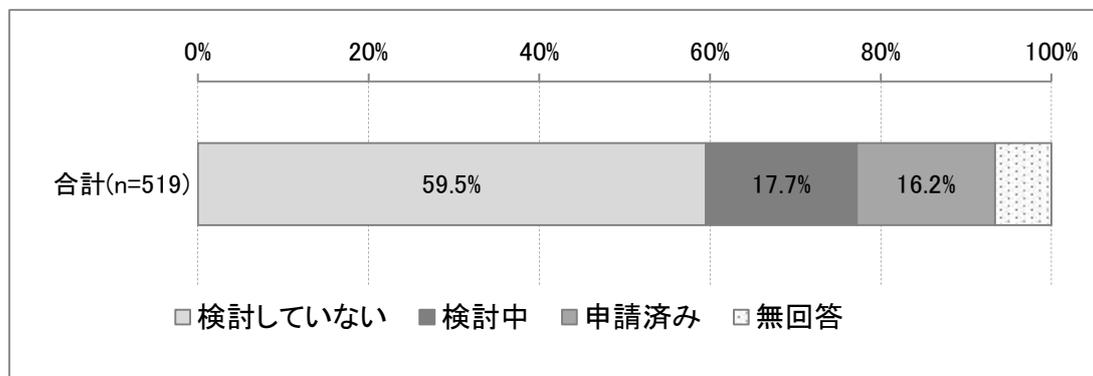
- ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「在宅生活の継続」と「介護者不安の軽減」の2つの視点からの集計を行っています。
- それぞれ、「どのようなサービス利用パターンの場合」に、「在宅生活を継続することができるのか」、もしくは「介護者の不安が軽減されているのか」を分析するために、「サービス利用パターン」とのクロス集計を行っています。
- なお、「サービス利用パターン」は、「サービス利用の組み合わせ」と「サービス利用の回数」の2つからなります。
- また、在宅限界点についての分析を行うという主旨から、多くの集計は要介護3以上、もしくは認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の方に限定して集計をしています。

1.2 集計結果と着目すべきポイント

(1) 基礎集計

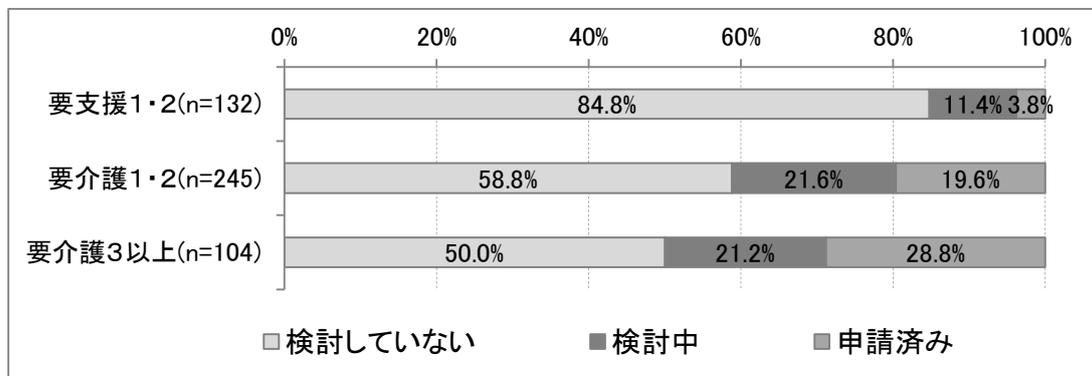
- 施設等の検討状況は、「検討していない」が59.5%、「検討中」が17.7%、「申請済み」が16.2%でした。

図表 1-1 施設等検討の状況



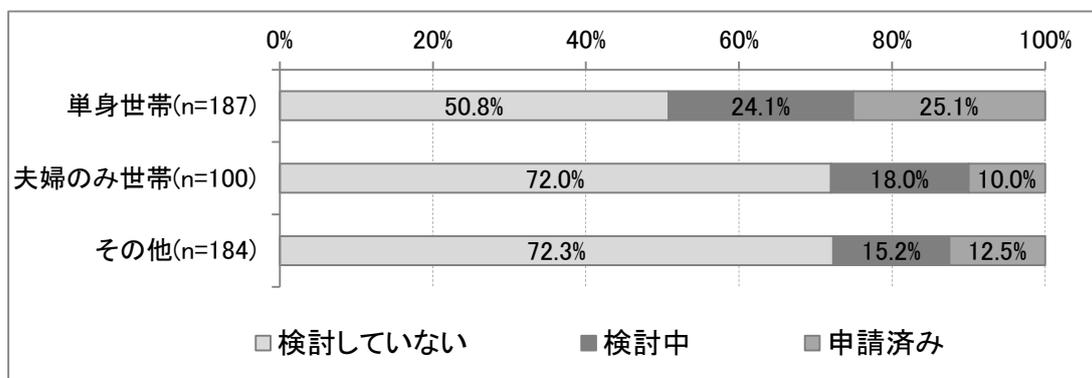
- 要介護度別にみると、要介護3以上では「検討していない」が50.0%、「検討中」が21.2%、「申請済み」が28.8%でした。

図表 1-2 要介護度別・施設等検討の状況



- 世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が50.8%、次いで「申請済み」が25.1%、「検討中」が24.1%でした。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が72.0%、次いで「検討中」が18.0%、「申請済み」が10.0%でした。「その他」では「検討していない」が72.3%、次いで「検討中」が15.2%、「申請済み」が12.5%でした。

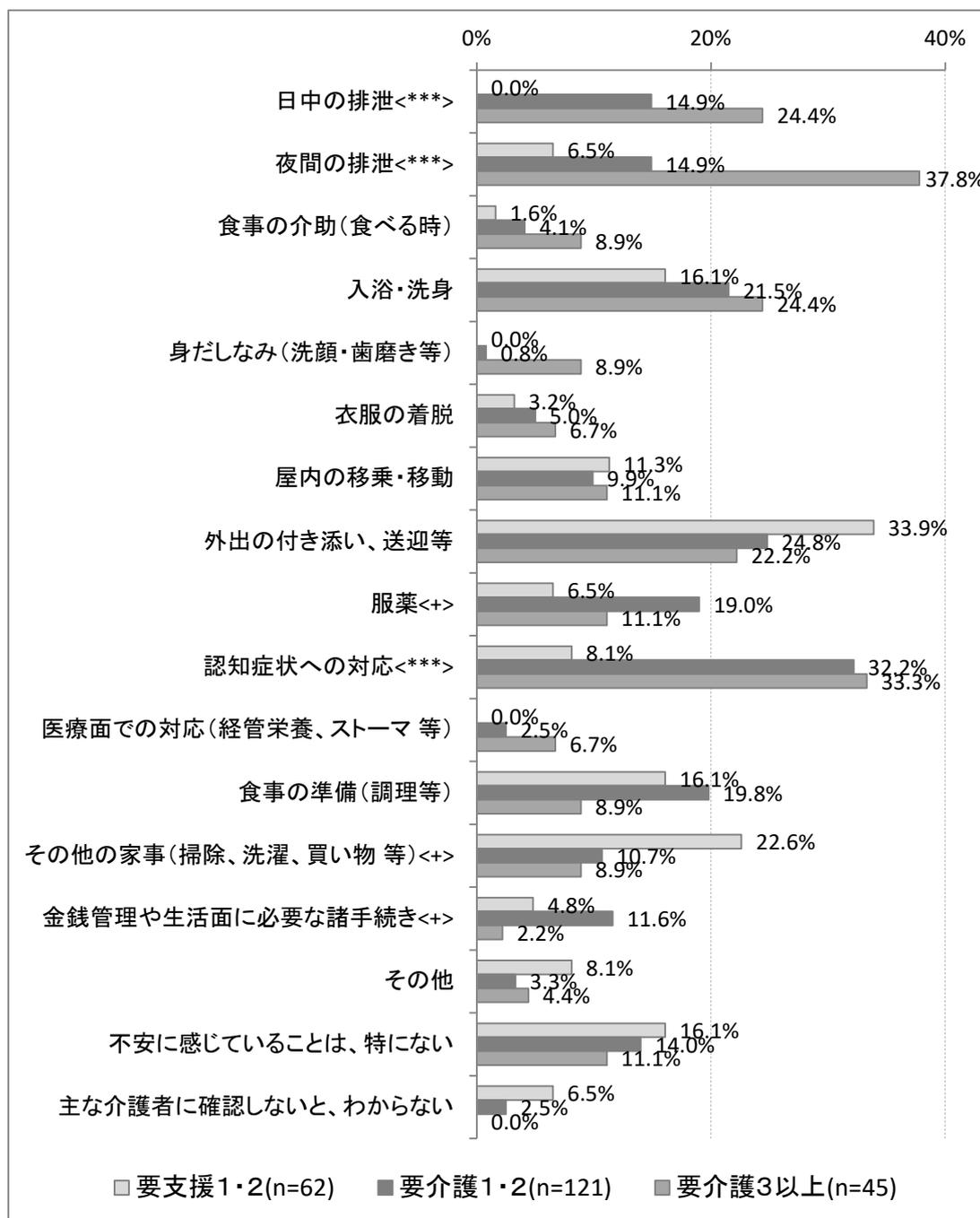
図表 1-3 世帯類型別・施設等検討の状況



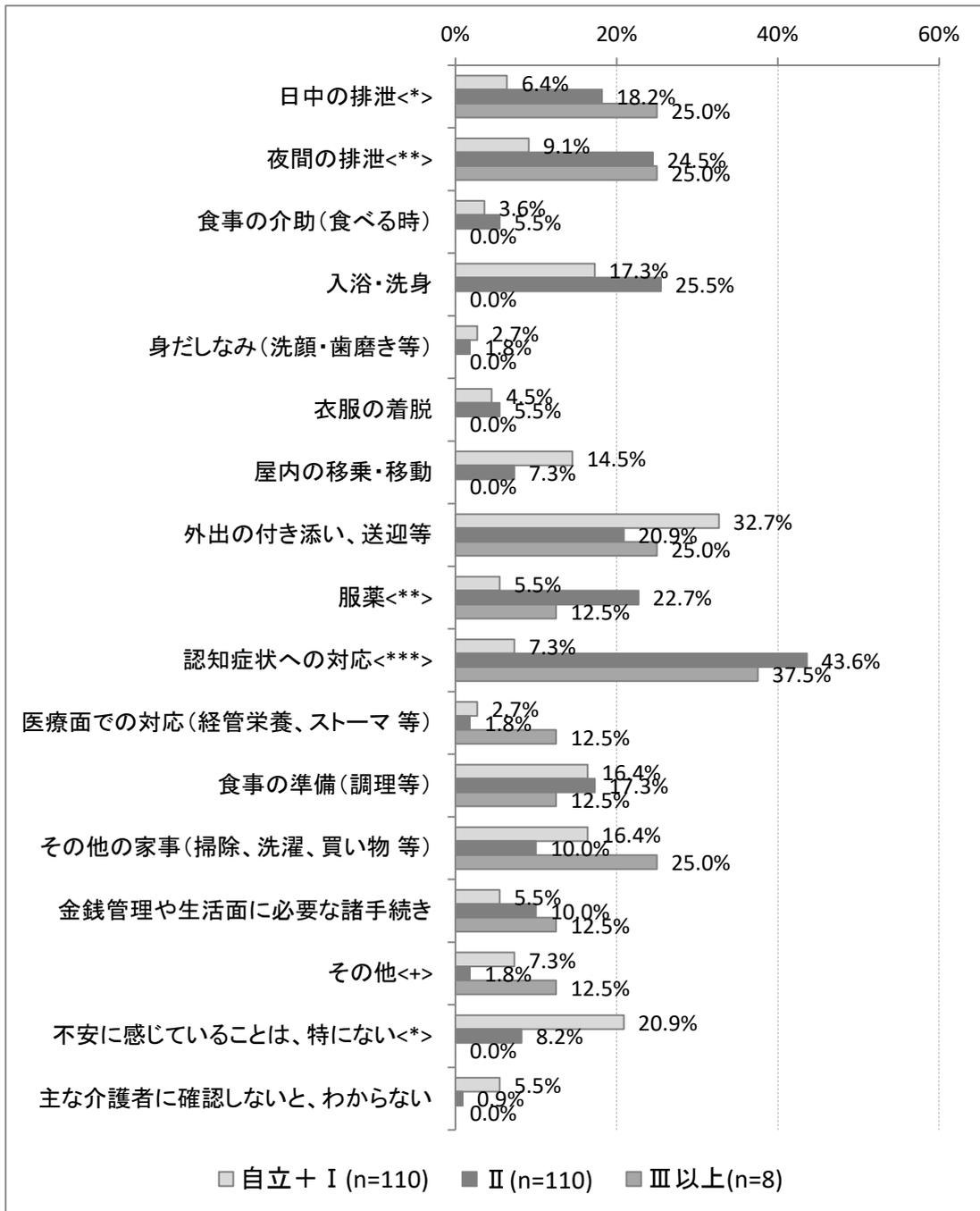
(2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

- 要介護度と認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」に変化については、軽度の方は「外出の付き添い、送迎等」が高く、重度の方については「排泄」「認知症への対応」が高くなっています（図表 1-4、1-5）。

図表 1-4 要介護度別・介護者が不安に感じる介護



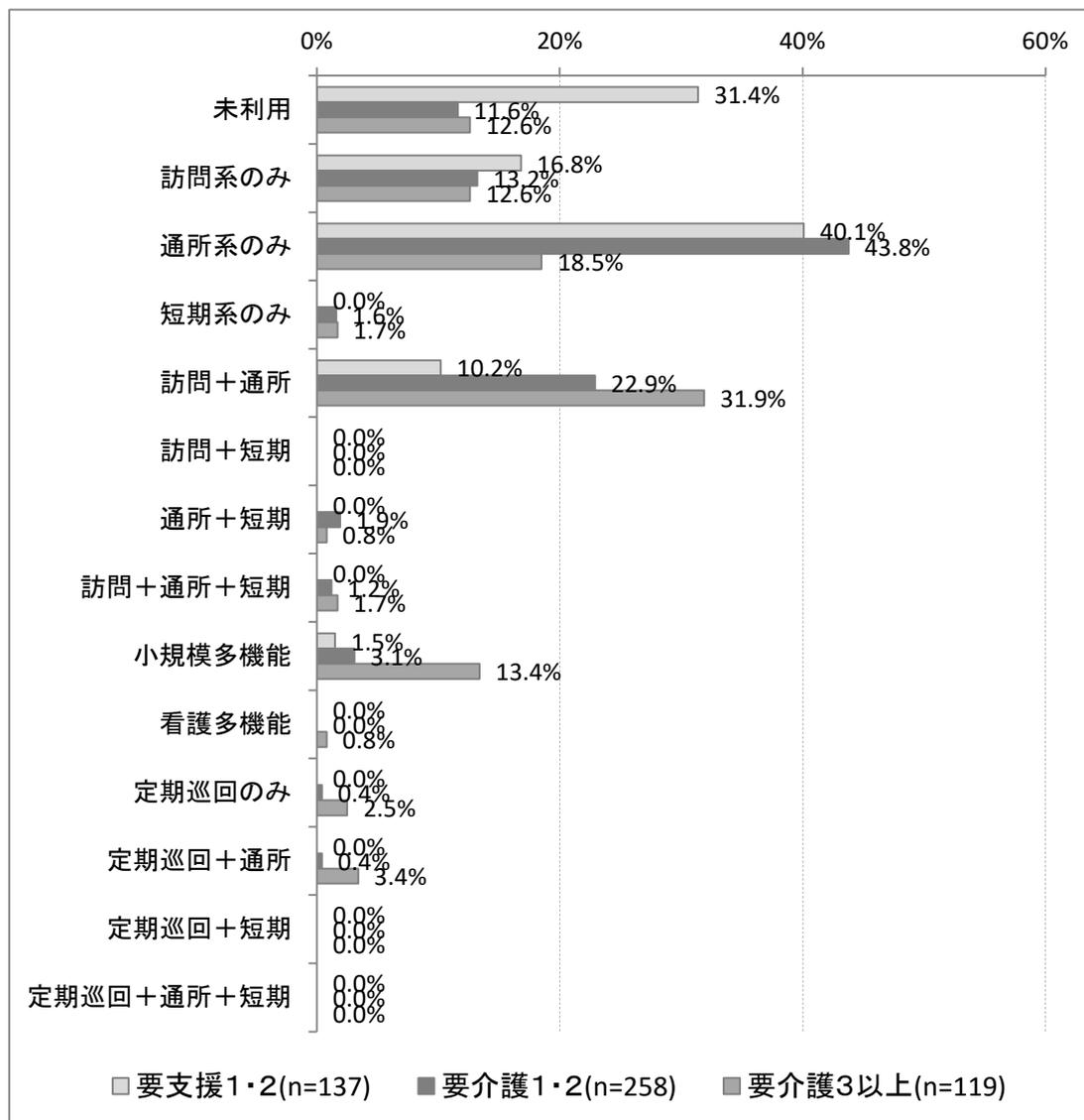
図表 1-5 認知症自立度別・介護者が不安を感じる介護



(3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

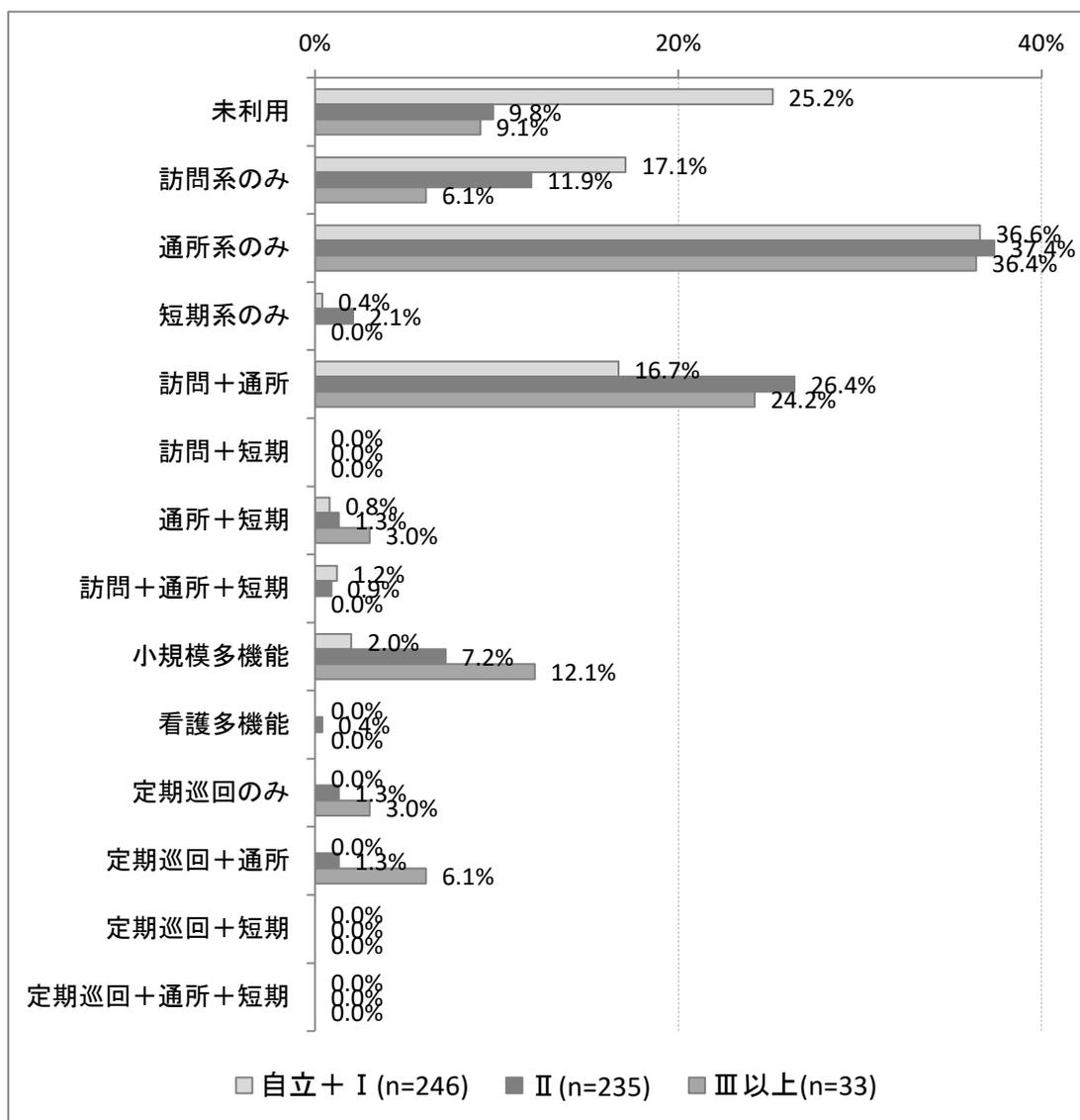
- 要介護度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化に着目すると、要支援者では「通所系のみ」が40.1%と高く、次いで「未利用」が31.4%となり、「要介護1・2」では「通所系のみ」が43.8%と高く、次いで「訪問+通所」が22.9%となっています。「要介護3以上」では「訪問+通所」が31.9%と高く、次いで「通所系のみ」が18.5%、「小規模多機能」が13.4%となっています。

図表 1-6 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



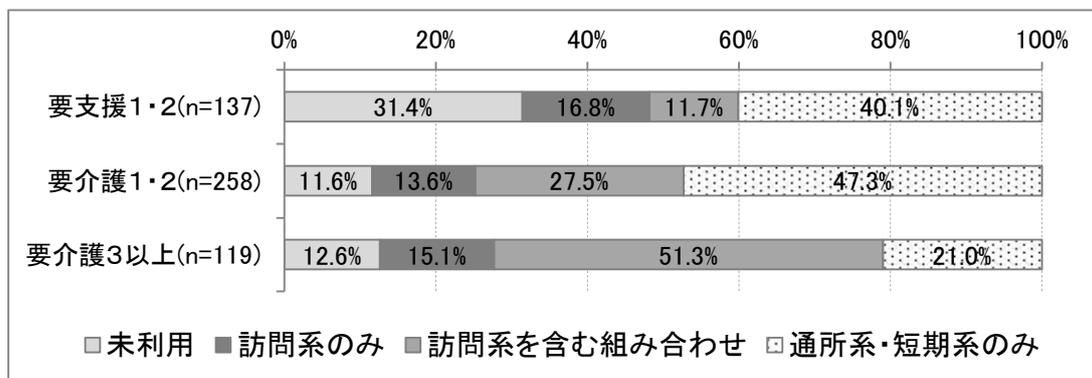
- 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせをみると、「自立+Ⅰ」では「通所系のみ」が36.6%と高く、次いで「未利用」が25.2%、「訪問系のみ」が17.1%でした。「Ⅱ」では「通所系のみ」が37.4%と高く、次いで「訪問+通所」が26.4%、「訪問系のみ」が11.9%でした。「Ⅲ以上」では「通所系のみ」が36.4%と高く、次いで「訪問+通所」が24.2%、「小規模多機能」が12.1%でした。

図表 1-7 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ



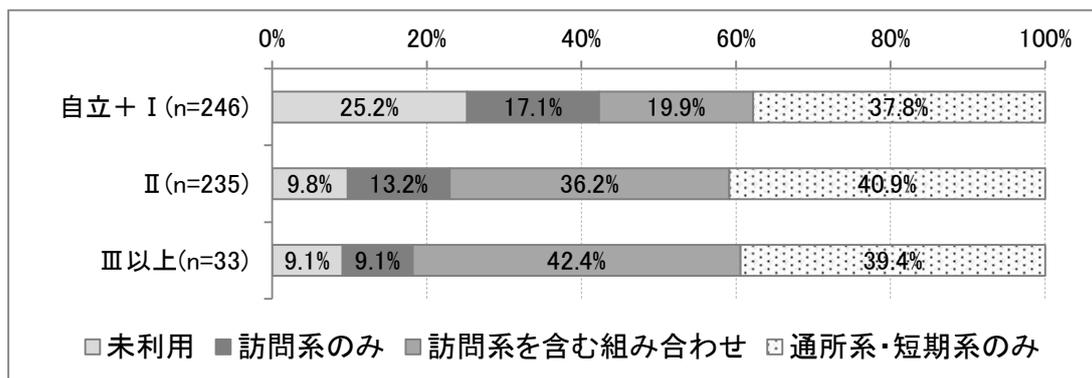
- 「サービス利用の組み合わせ」をみると、「要支援1・2」では「通所系・短期系のみ」が40.1%と高く、次いで「未利用」が31.4%となっています。「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が47.3%と高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が27.5%となっています。「要介護3以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が51.3%と急激に高まります。

図表 1-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



- サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「通所系・短期系のみ」が37.8%と高く、次いで「未利用」が25.2%となっています。「II」では「通所系・短期系のみ」が40.9%と高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が36.2%となっています。「III以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が42.4%と高く、次いで「通所系・短期系のみ」が39.4%となっています。

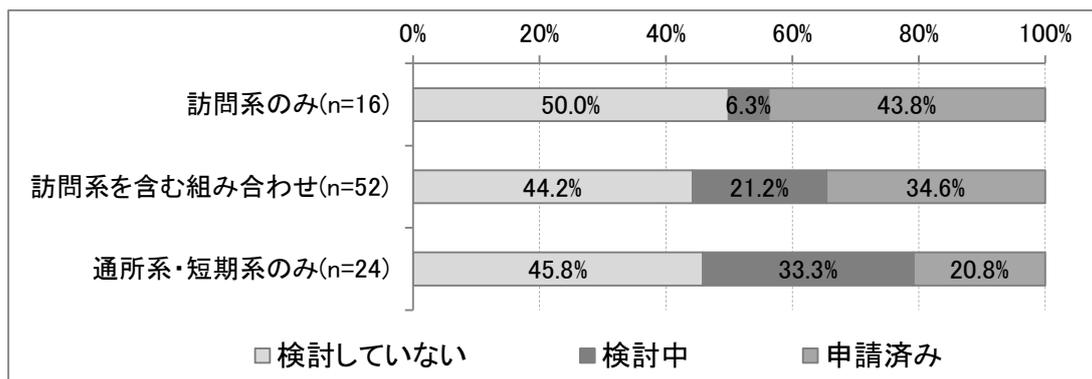
図表 1-9 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ



(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

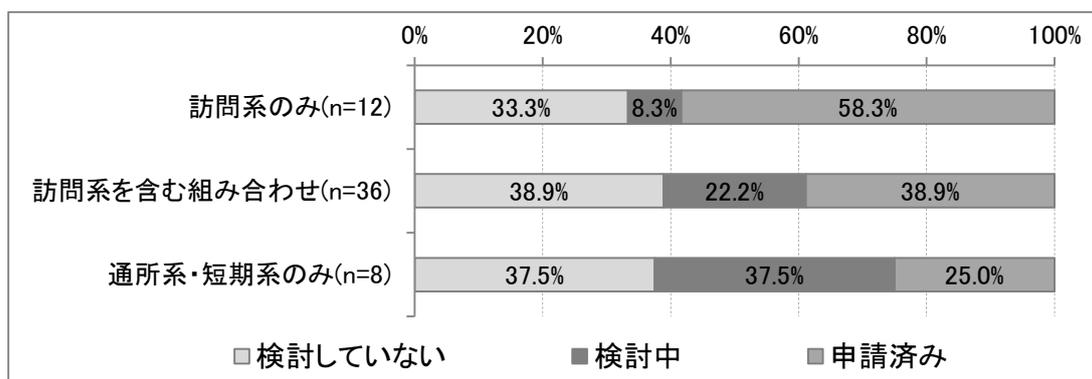
- 要介護3以上の方で、施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が50.0%と高く、次いで「申請済み」が43.8%となっています。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が44.2%と高く、次いで「申請済み」が34.6%となっています。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が45.8%と高く、次いで「検討中」が33.3%となっています。

図表 1-10 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



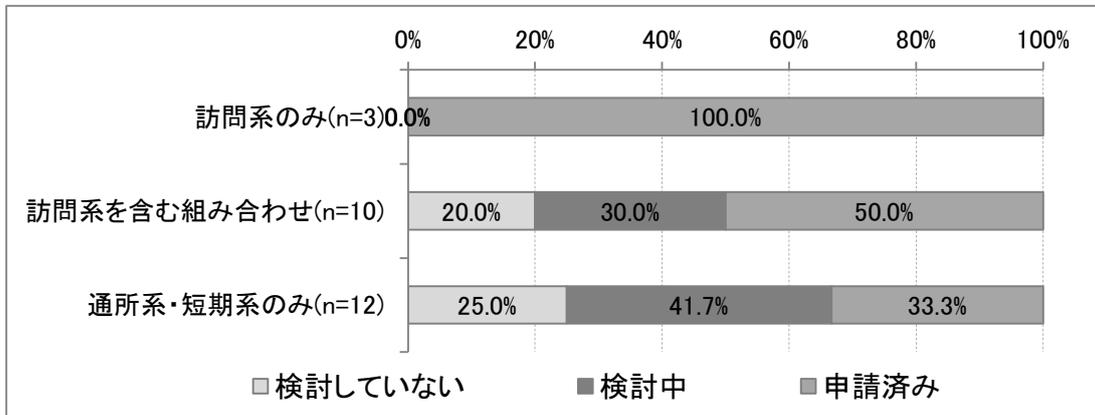
- 要介護4以上の方で、施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「申請済み」が58.3%と高く、次いで「検討していない」が33.3%となっています。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」、「申請済み」が38.9%と高くなっています。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」、「検討中」が37.5%と高くなっています。

図表 1-11 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）



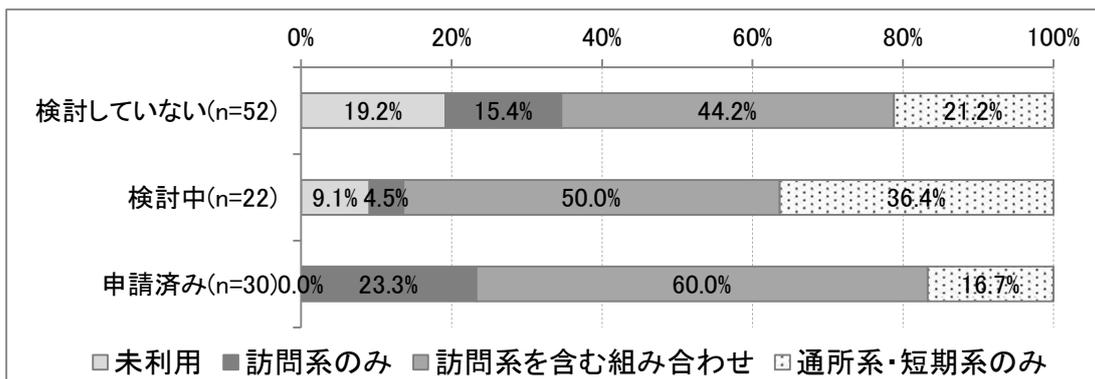
- 認知症Ⅲ以上の方で、施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「申請済み」が100.0%となっています。「訪問系を含む組み合わせ」では「申請済み」が50.0%と高く、次いで「検討中」が30.0%となっています。「通所系・短期系のみ」では「検討中」が41.7%と高く、次いで「申請済み」が33.3%となっています。

図表 1-12 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）



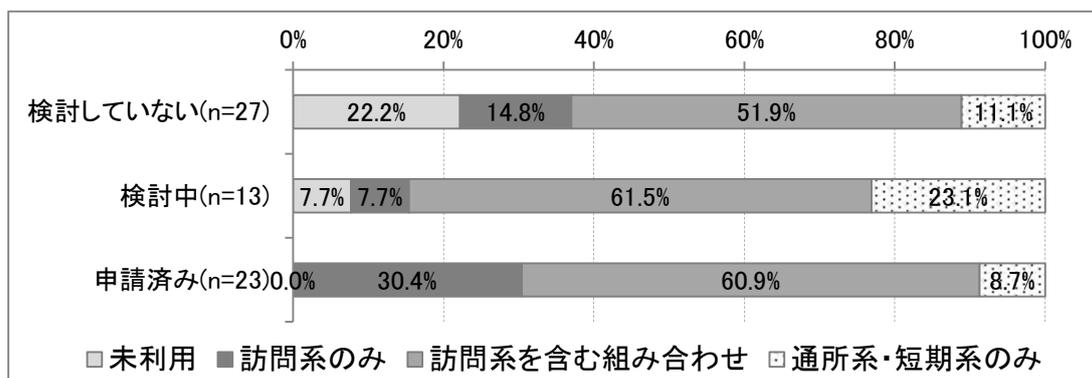
- 要介護3以上の方で、サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「訪問系を含む組み合わせ」が44.2%と高く、次いで「通所系・短期系のみ」が21.2%、「未利用」が19.2%となっています。「検討中」では「訪問系を含む組み合わせ」が50.0%と高く、次いで「通所系・短期系のみ」が36.4%となっています。「申請済み」では「訪問系を含む組み合わせ」が60.0%と高く、次いで「訪問系のみ」が23.3%となっています。

図表 1-13 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）<+>



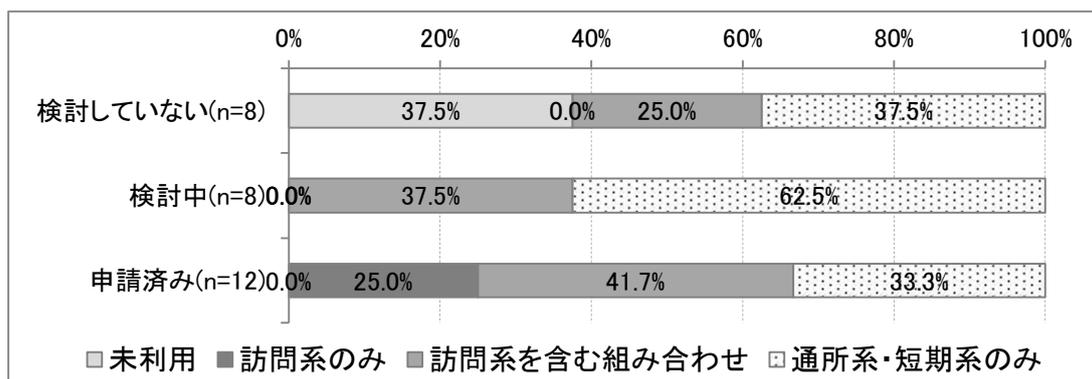
- 要介護4以上の方で、サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「訪問系を含む組み合わせ」が51.9%と高く、次いで「未利用」が22.2%となっています。「検討中」では「訪問系を含む組み合わせ」が61.5%と高く、次いで「通所系・短期系のみ」が23.1%となっています。「申請済み」では「訪問系を含む組み合わせ」が60.9%と高く、次いで「訪問系のみ」が30.4%となっています。

図表 1-14 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）



- 認知症Ⅲ以上の方で、サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「未利用」、「通所系・短期系のみ」が37.5%と高くなっています。「検討中」では「通所系・短期系のみ」が62.5%と高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が37.5%となっています。「申請済み」では「訪問系を含む組み合わせ」が41.7%と高く、次いで「通所系・短期系のみ」が33.3%となっています。

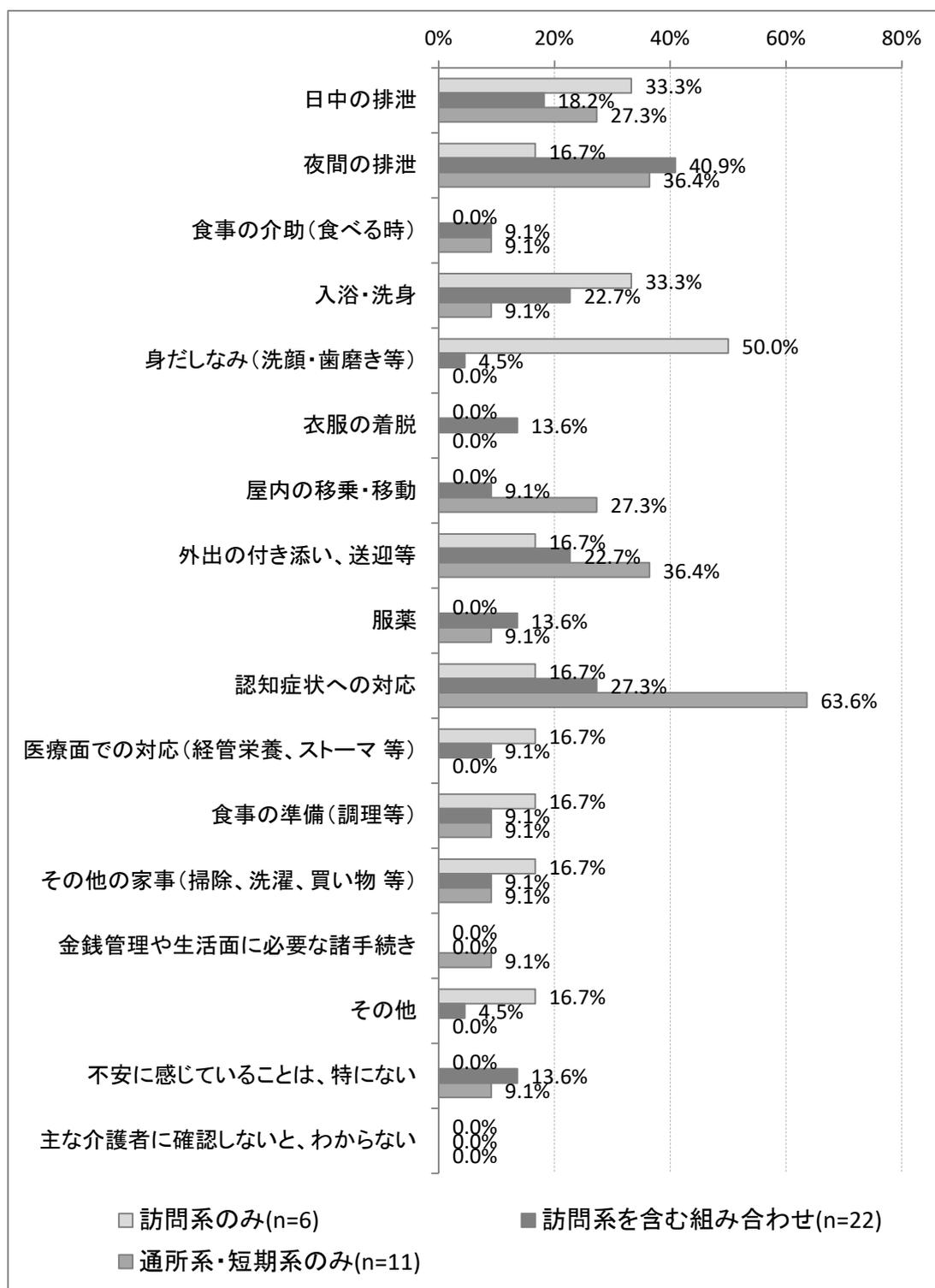
図表 1-15 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）



(5) 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安を感じる介護」の関係

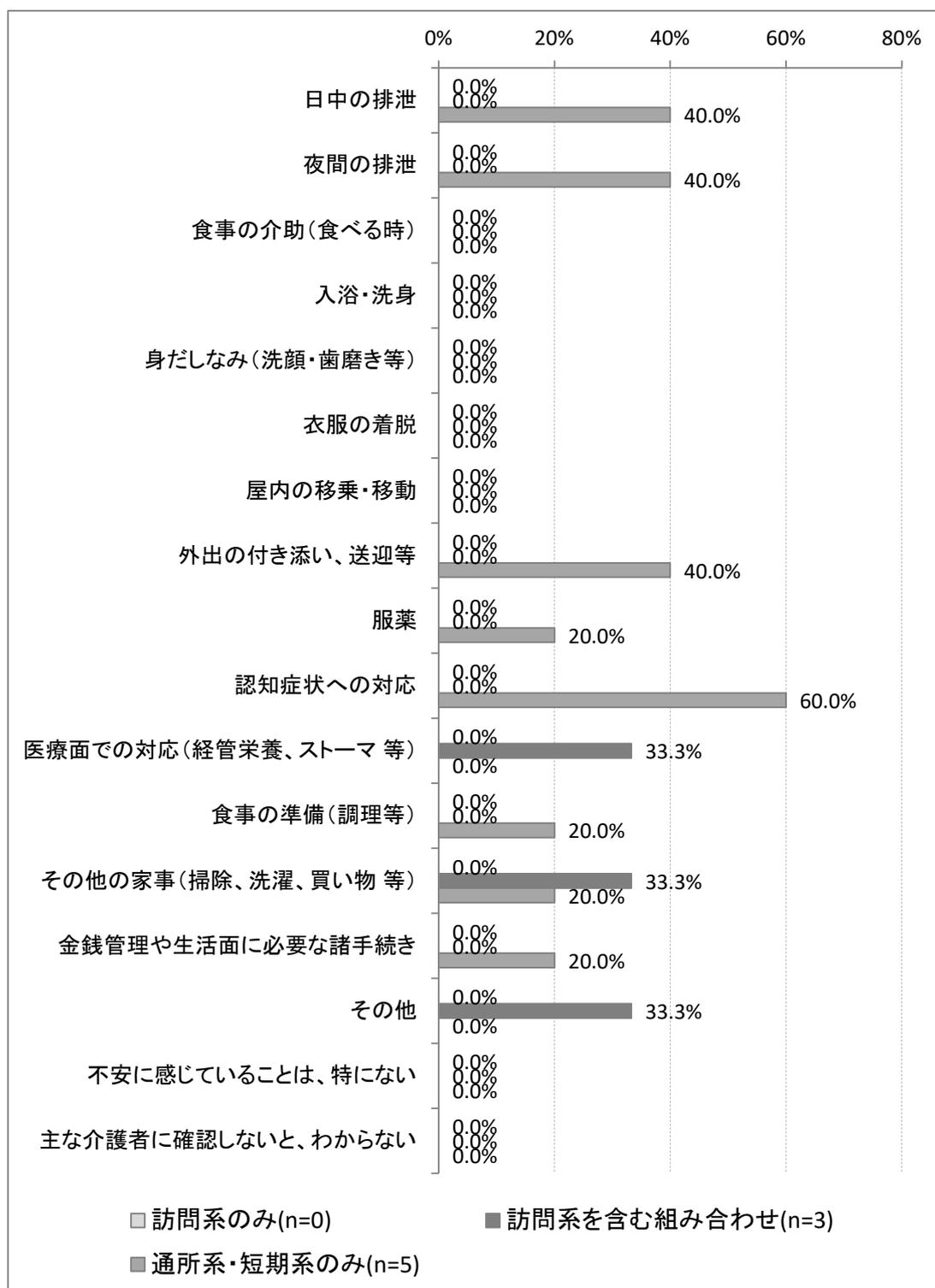
- 要介護3以上の方で、介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」が50.0%と高くなっています。「訪問系を含む組み合わせ」では「夜間の排泄」が40.9%と高くなっています。「通所系・短期系のみ」では「認知症状への対応」が63.6%と高くなっています。

図表 1-16 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）



- 認知症Ⅲ以上の方で、介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系を含む組み合わせ」では「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「その他」が 33.3%と高くなっています。「通所系・短期系のみ」では「認知症状への対応」が 60.0%と高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が 40.0%となっています。

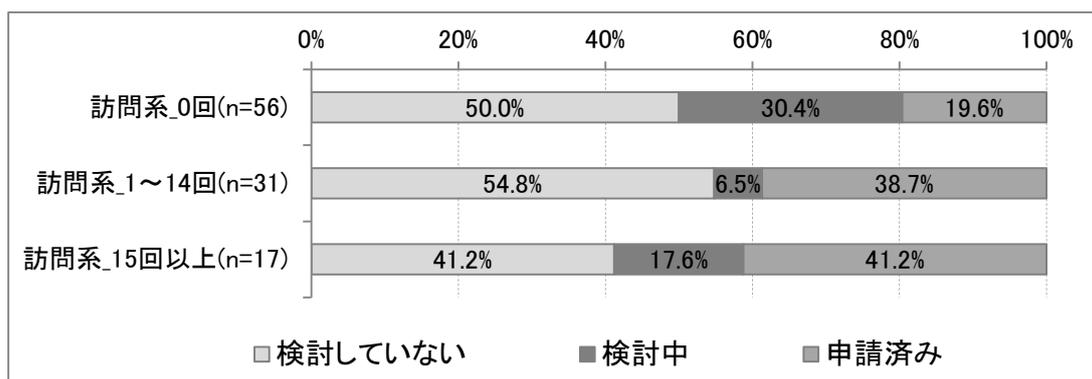
図表 1-17 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）



(6) 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係

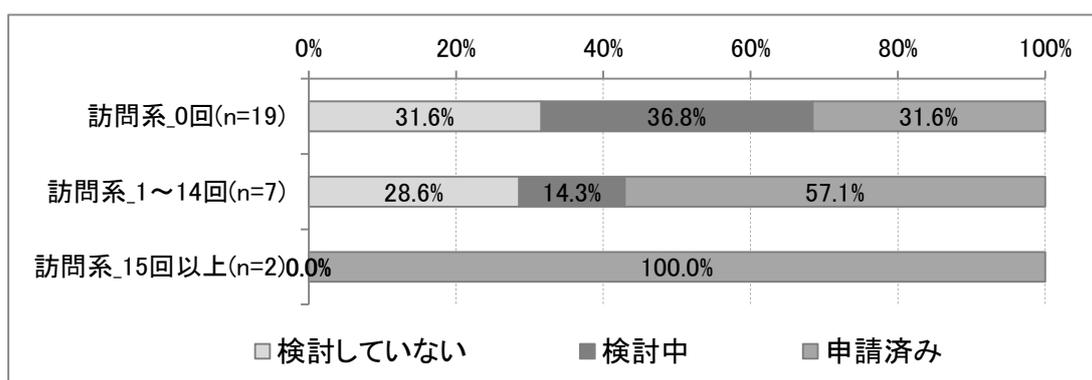
- 要介護3以上の方で、施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「検討していない」が50.0%と高く、次いで「検討中」が30.4%となっています。「訪問系_1～14回」では「検討していない」が54.8%と高く、次いで「申請済み」が38.7%となっています。「訪問系_15回以上」では「検討していない」、「申請済み」が41.2%と高くなっています。

図表 1-18 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）



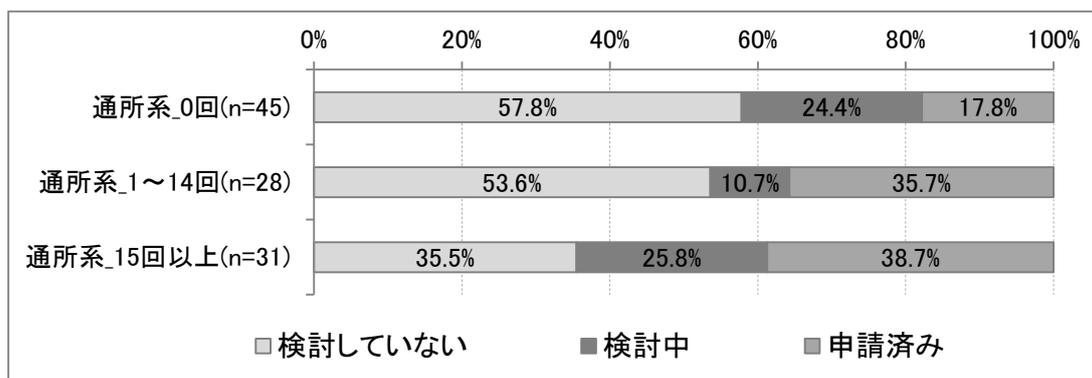
- 認知症Ⅲ以上の方で、施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「検討中」が36.8%と高く、次いで「検討していない」、「申請済み」が31.6%となっています。「訪問系_1～14回」では「申請済み」が57.1%と高く、次いで「検討していない」が28.6%となっています。「訪問系_15回以上」では「申請済み」が100.0%となっています。

図表 1-19 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）



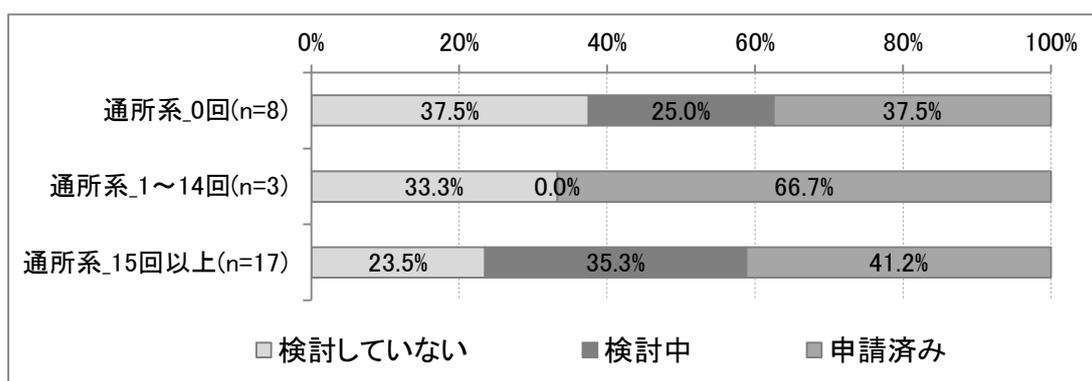
- 要介護3以上の方で、施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「検討していない」が57.8%と高く、次いで「検討中」が24.4%となっています。「通所系_1～14回」では「検討していない」が53.6%と高く、次いで「申請済み」が35.7%となっています。「通所系_15回以上」では「申請済み」が38.7%と高く、次いで「検討していない」が35.5%となっています。

図表 1-20 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護3以上）



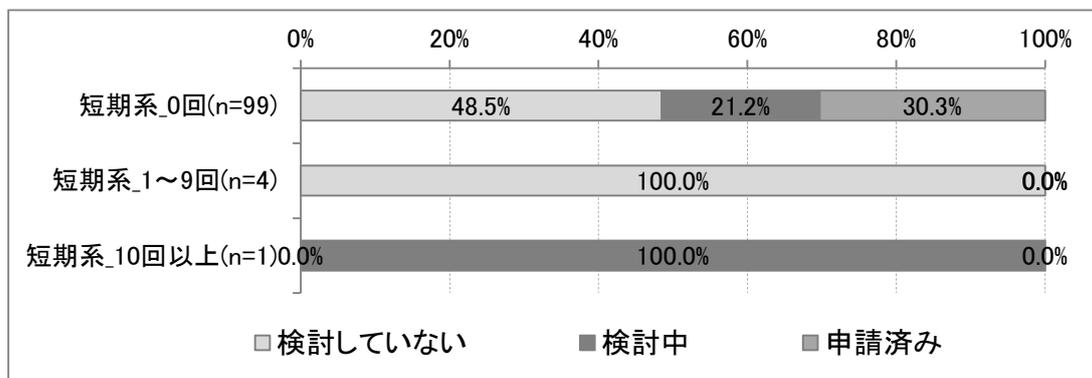
- 認知症Ⅲ以上の方で、施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「検討していない」、「申請済み」が37.5%と高くなっています。「通所系_1～14回」では「申請済み」が66.7%と高く、次いで「検討していない」が33.3%となっています。「通所系_15回以上」では「申請済み」が41.2%と高く、次いで「検討中」が35.3%となっています。

図表 1-21 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）



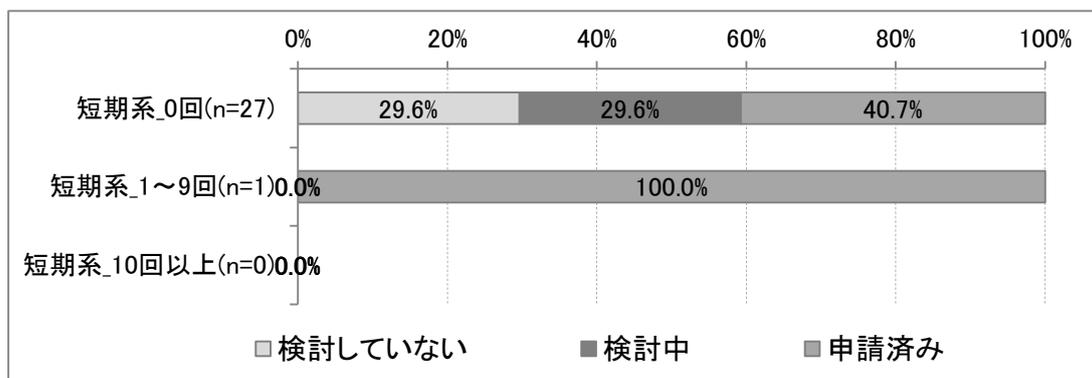
- 要介護3以上の方で、施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「検討していない」が48.5%と高く、次いで「申請済み」が30.3%となっています。「短期系_1～9回」では「検討していない」が100.0%となっています。「短期系_10回以上」では「検討中」が100.0%となっています。

図表 1-22 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護3以上）<+>



- 認知症Ⅲ以上の方で、施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「申請済み」が40.7%と高く、次いで「検討していない」、「検討中」が29.6%となっています。「短期系_1～9回」では「申請済み」が100.0%となっています。

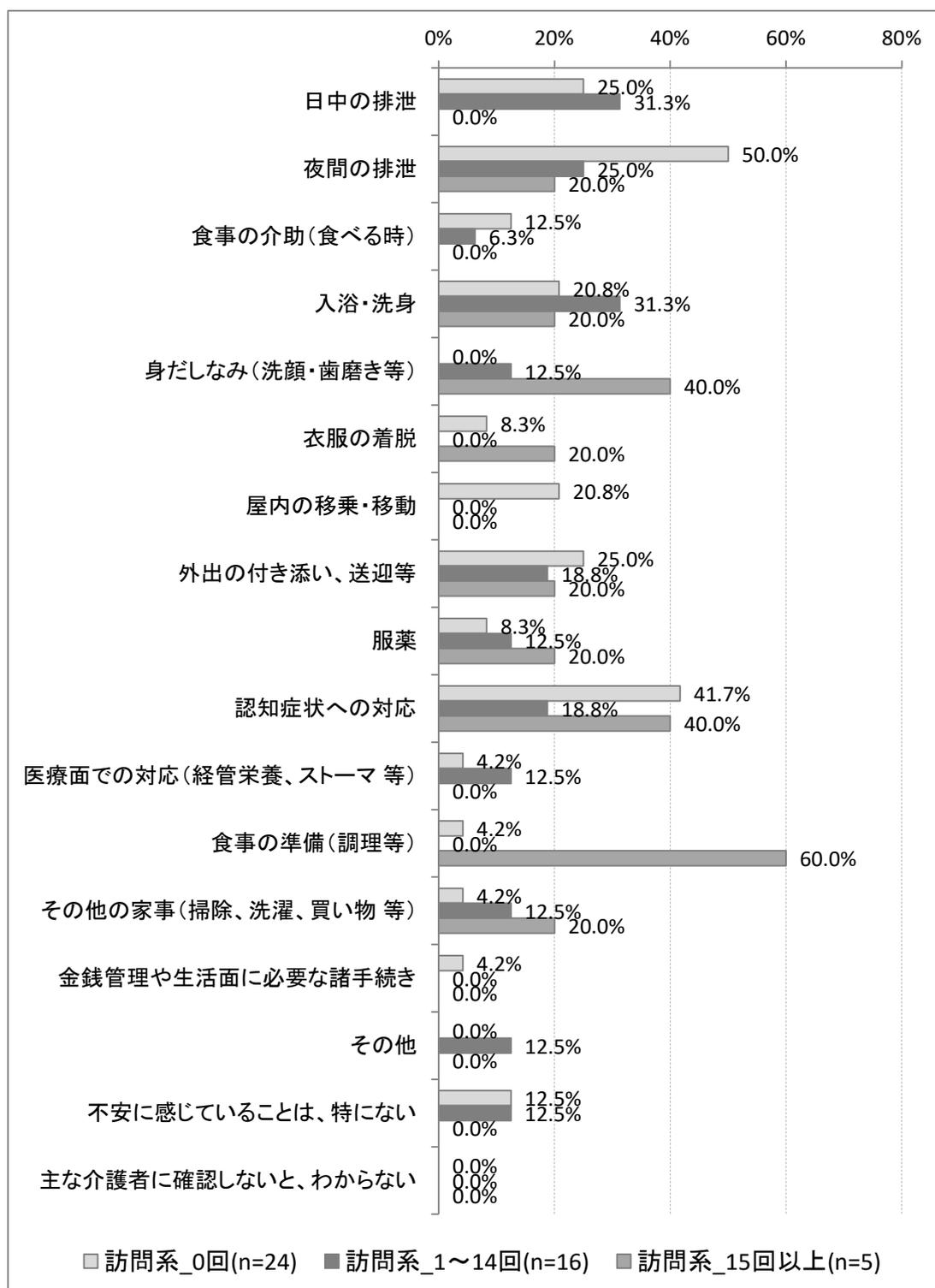
図表 1-23 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）



(7) 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安を感じる介護」の関係

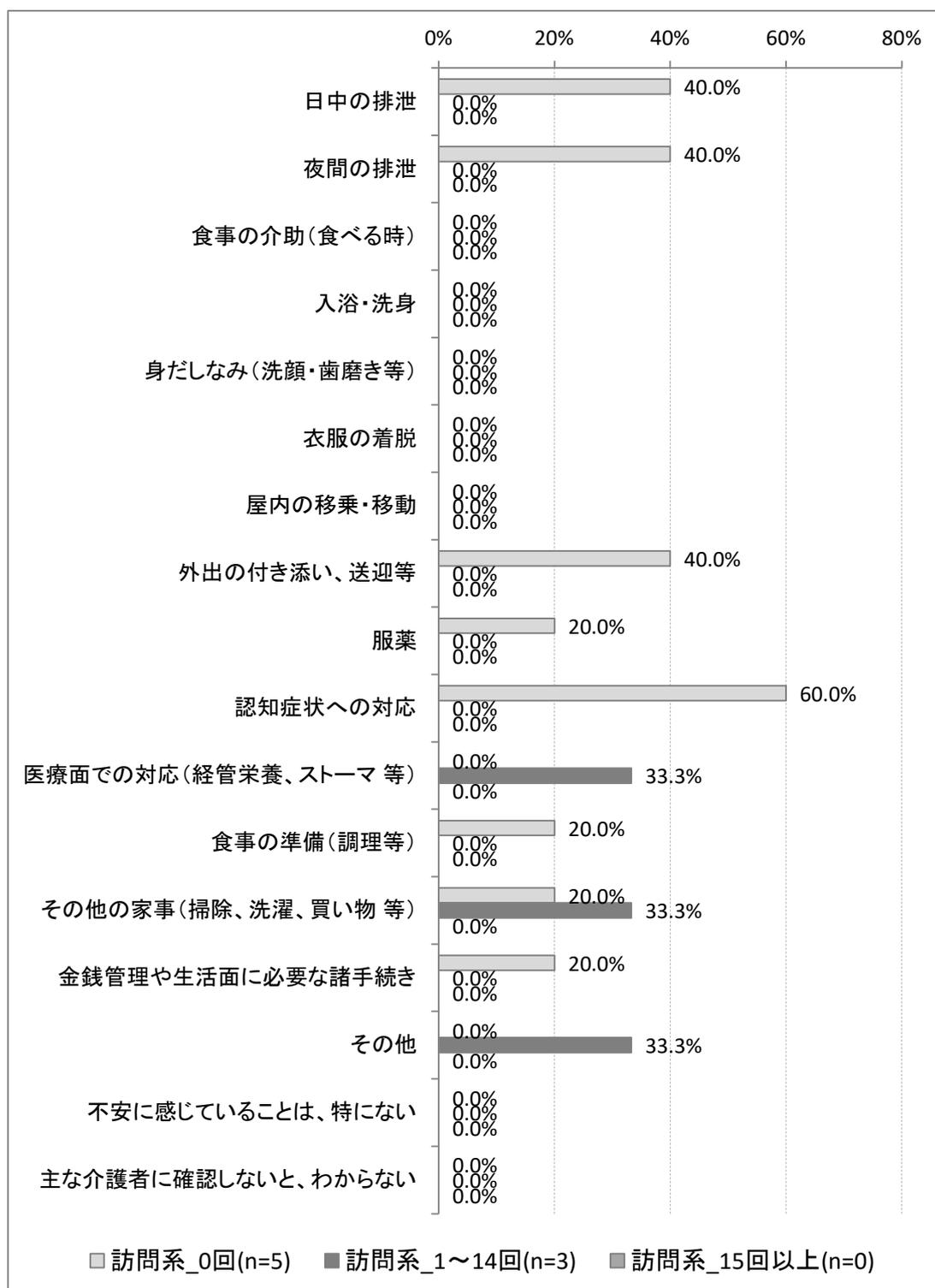
- 要介護3以上の方で、介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「夜間の排泄」が50.0%と高く、次いで「認知症状への対応」が41.7%となっています。「訪問系_1~14回」では「日中の排泄」、「入浴・洗身」が31.3%となっています。「訪問系_15回以上」では「食事の準備（調理等）」が60.0%となっています。

図表 1-24 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



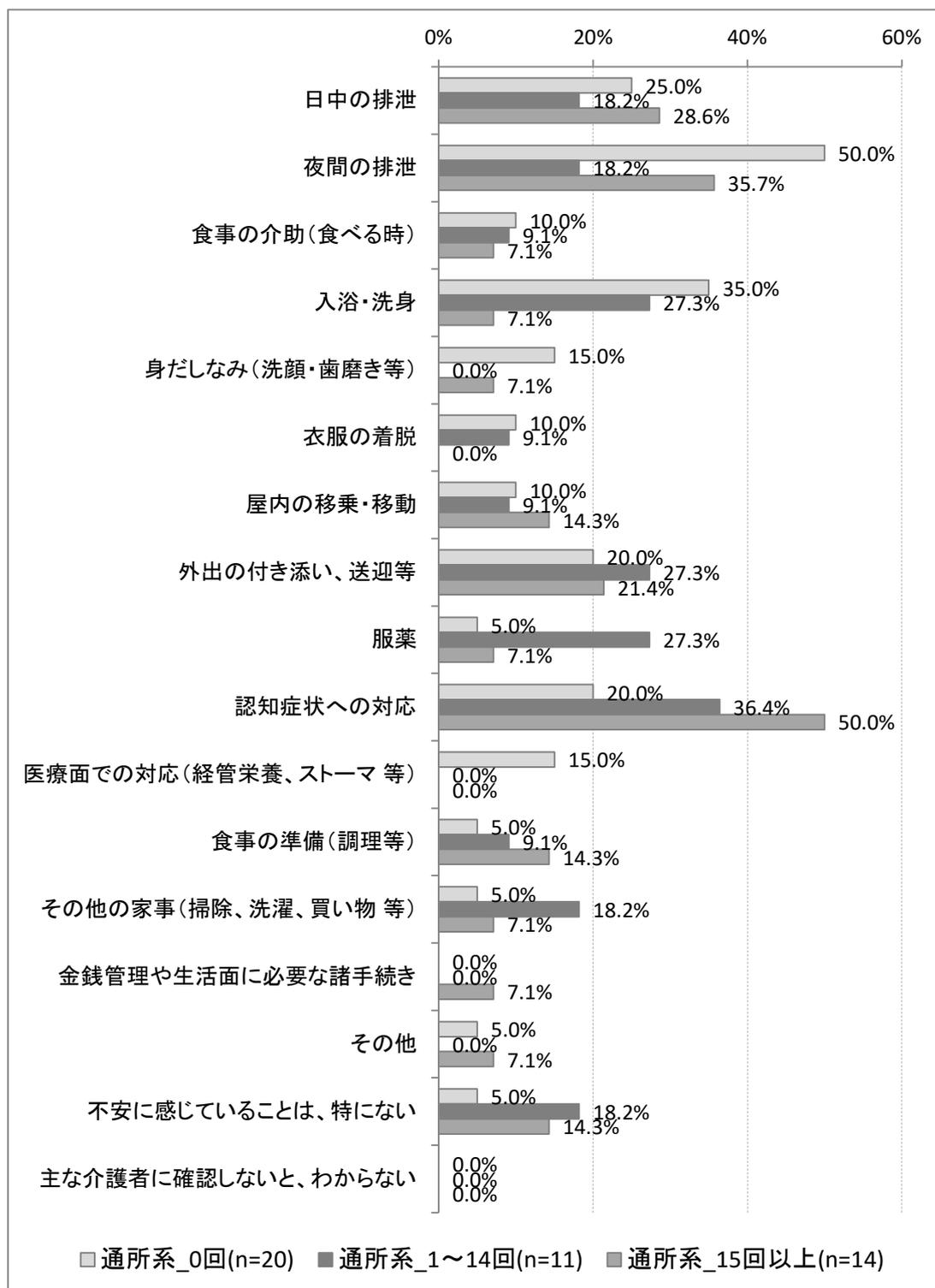
- 認知症Ⅲ以上の方で、介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「認知症状への対応」が60.0%と高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が40.0%となっています。「訪問系_1～14回」では「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「その他」が33.3%となっています。

図表 1-25 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）



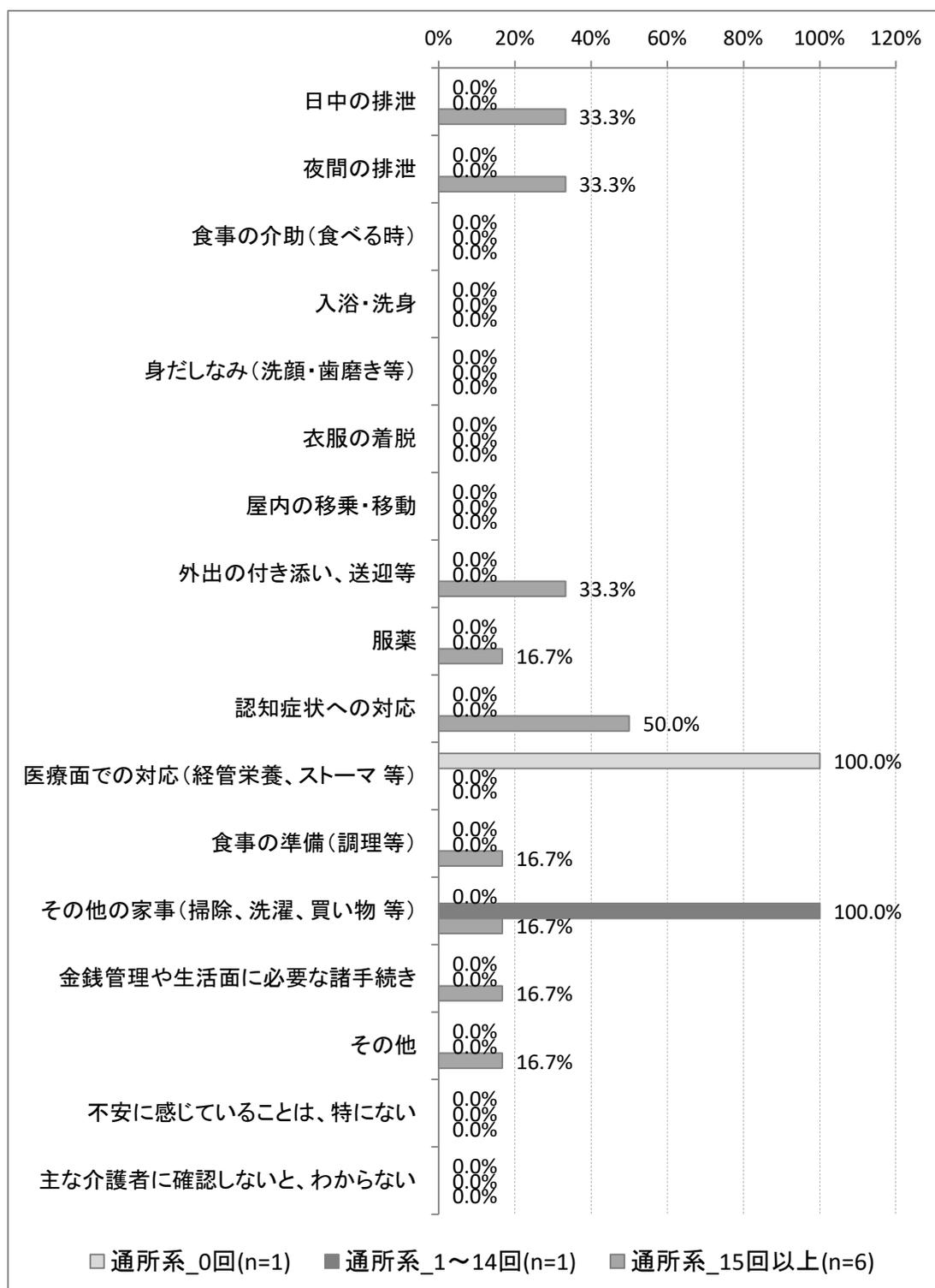
- 要介護3以上の方で、介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「夜間の排泄」が50.0%と高く、次いで「入浴・洗身」が35.0%となっています。「通所系_1～14回」では「認知症状への対応」が36.4%と高くなっています。「通所系_15回以上」では「認知症状への対応」が50.0%と高く、次いで「夜間の排泄」が35.7%、「日中の排泄」が28.6%となっています。

図表 1-26 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護3以上）



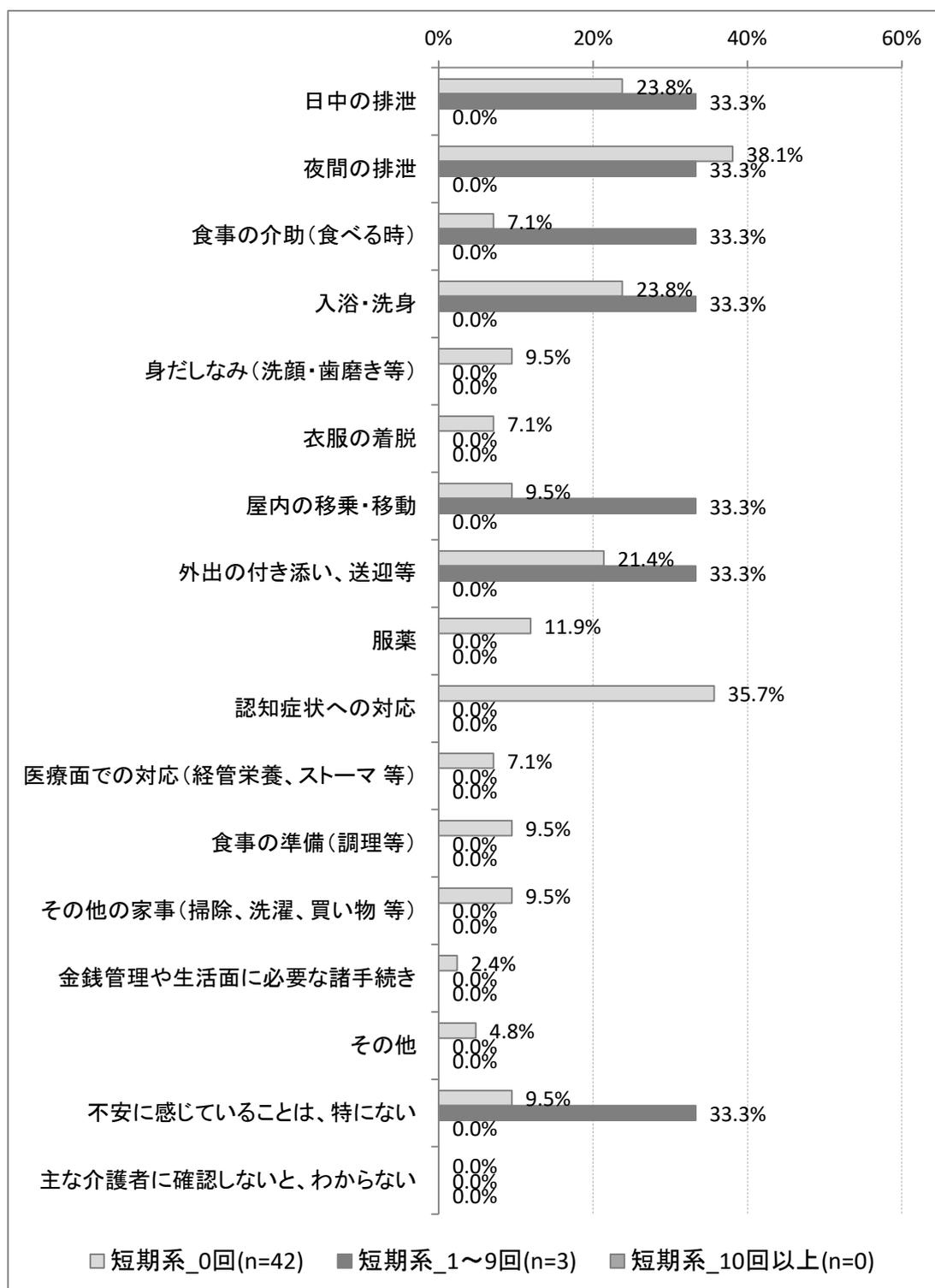
- 認知症Ⅲ以上の方で、介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が100.0%となっています。「通所系_1～14回」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が100.0%となっています。「通所系_15回以上」では「認知症状への対応」が50.0%と高く、次いで「日中の排泄」、
「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が33.3%となっています。

図表 1-27 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）



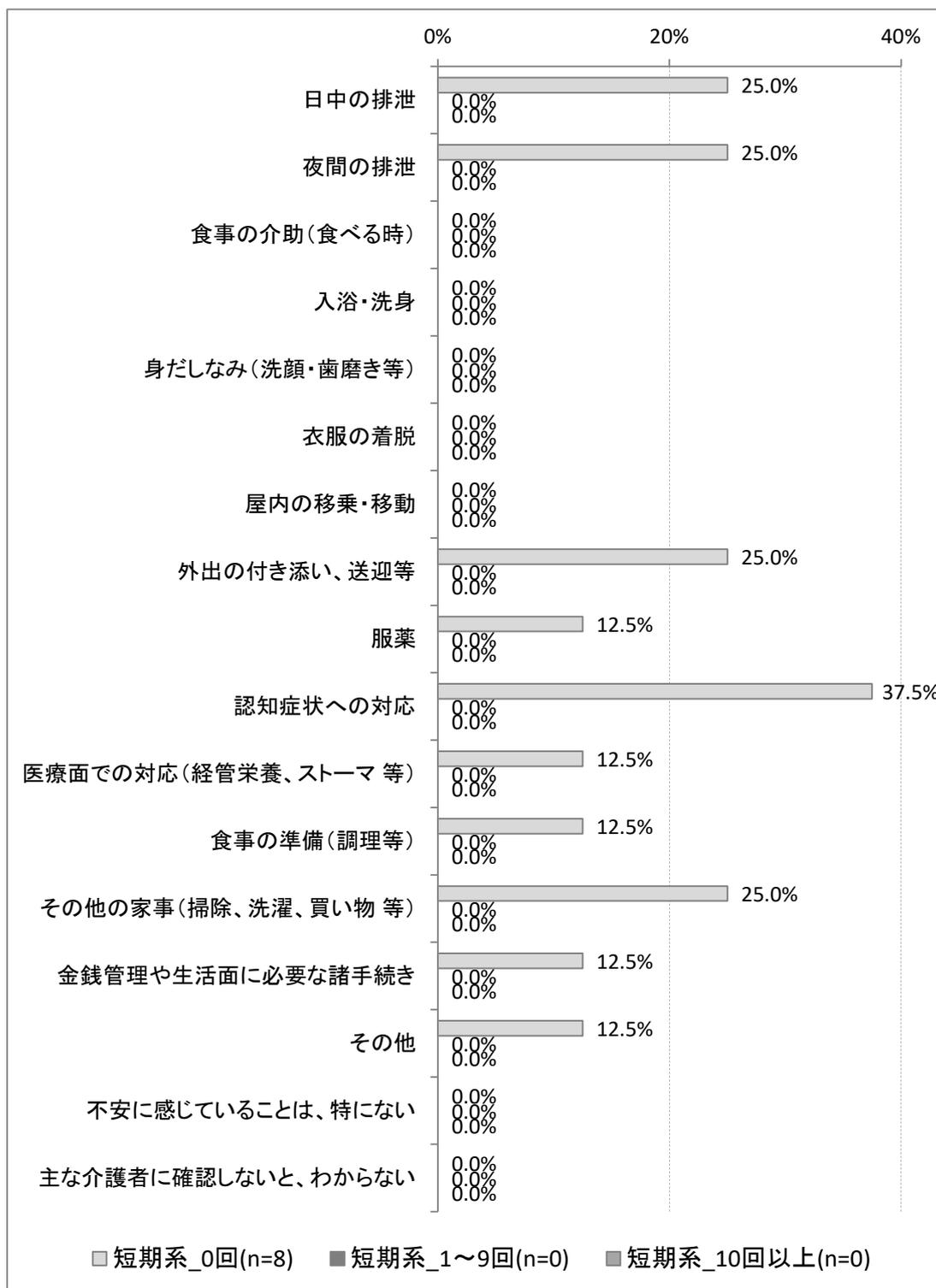
- 要介護3以上の方で、介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「夜間の排泄」が38.1%と高く、次いで「認知症状への対応」が35.7%となっています。「短期系_1～9回」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「不安を感じていることは、特にない」が33.3%となっています。

図表 1-28 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）



- 認知症Ⅲ以上の方で、介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「認知症状への対応」が37.5%と高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が25.0%となっています。

図表 1-29 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）



2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

2.1 集計・分析の狙い

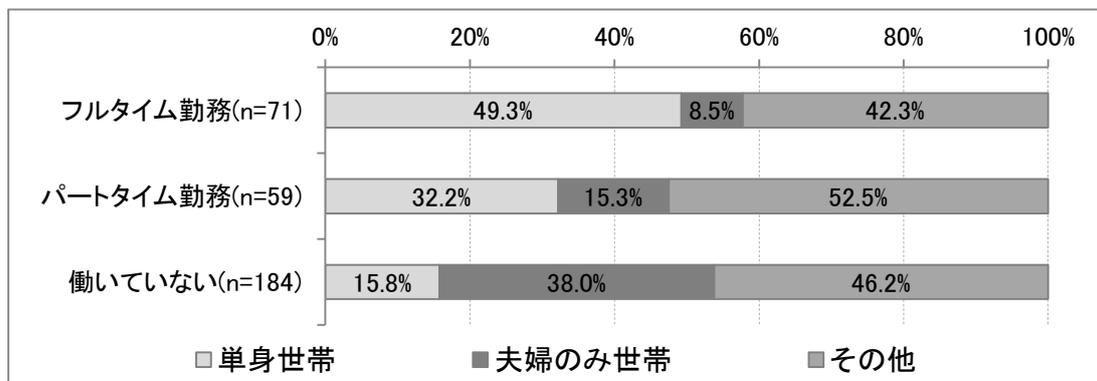
- ここでは、介護者の就労継続見込みの向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「主な介護者の就労状況」と「主な介護者の就労継続見込み」の2つの視点からの集計を行っています。
- 具体的には、「就労している介護者（フルタイム勤務、パートタイム勤務）」と「就労していない介護者」の違いに着目し、就労している介護者の属性や介護状況の特徴別に、必要な支援を集計・分析しています。
- さらに、「どのようなサービス利用」や「働き方の調整・職場の支援」を受けている場合に、「就労を継続することができる」という見込みを持つことができるのかを分析するために、主な介護者の「就労継続見込み」と、「主な介護者が行っている介護」や「介護保険サービスの利用の有無」、「介護のための働き方の調整」などとのクロス集計を行っています。
- 上記の視点からの分析では、要介護度や認知症高齢者の日常生活自立度といった要介護者の状態別の分析も加え、要介護者の自立度が重くなっても、在宅生活や就労を継続できる支援のあり方を検討しています。

2.2 集計結果と着目すべきポイント

(1) 基本集計

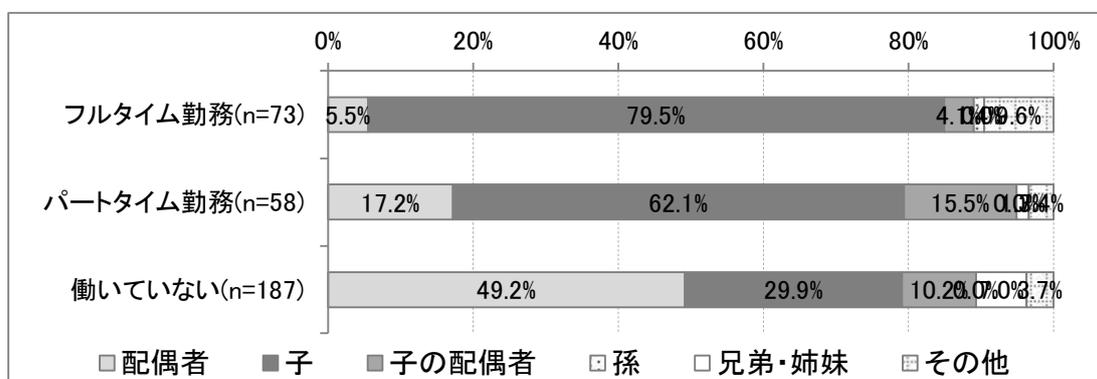
- 主な介護者の就労状況（フルタイム勤務・パートタイム勤務・働いていない）別に、世帯や介護者の特徴などの基礎的な集計を行っています。
- 世帯類型を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「単身世帯」が49.3%と高く、次いで「その他」が42.3%となっています。「パートタイム勤務」では「その他」が52.5%と高く、次いで「単身世帯」が32.2%となっています。「働いていない」では「その他」が46.2%と高く、次いで「夫婦のみ世帯」が38.0%となっています。

図表 2-1 就労状況別・世帯類型



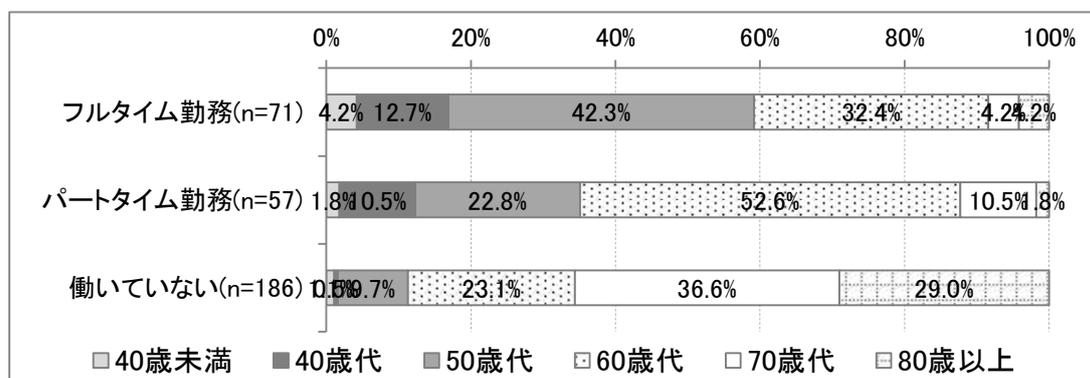
- 主な介護者を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「子」が79.5%と高く、次いで「その他」が9.6%となっています。「パートタイム勤務」では「子」が62.1%と高く、次いで「配偶者」が17.2%となっています。「働いていない」では「配偶者」が49.2%と高く、次いで「子」が29.9%となっています。

図表 2-2 就労状況別・★主な介護者の本人との関係



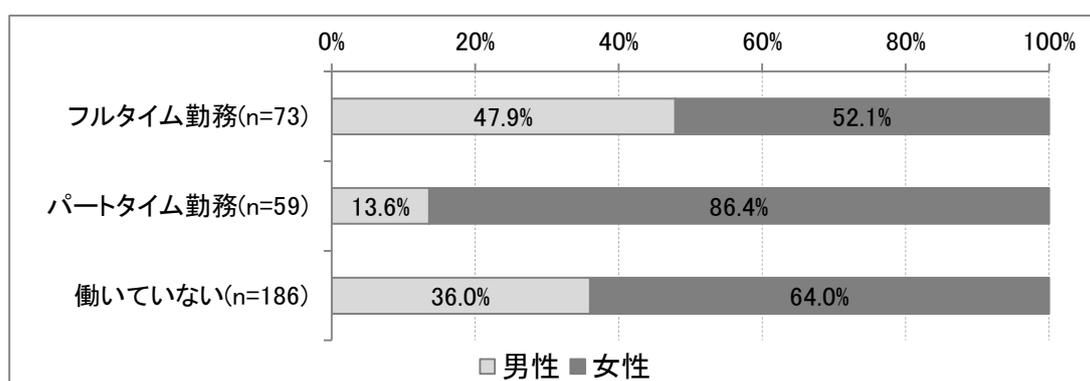
- 介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「50歳代」が42.3%と高く、次いで「60歳代」が32.4%となっています。「パートタイム勤務」では「60歳代」が52.6%と高く、次いで「50歳代」が22.8%となっています。「働いていない」では「70歳代」が36.6%と高く、次いで「80歳以上」が29.0%となっています。

図表 2-3 就労状況別・主な介護者の年齢



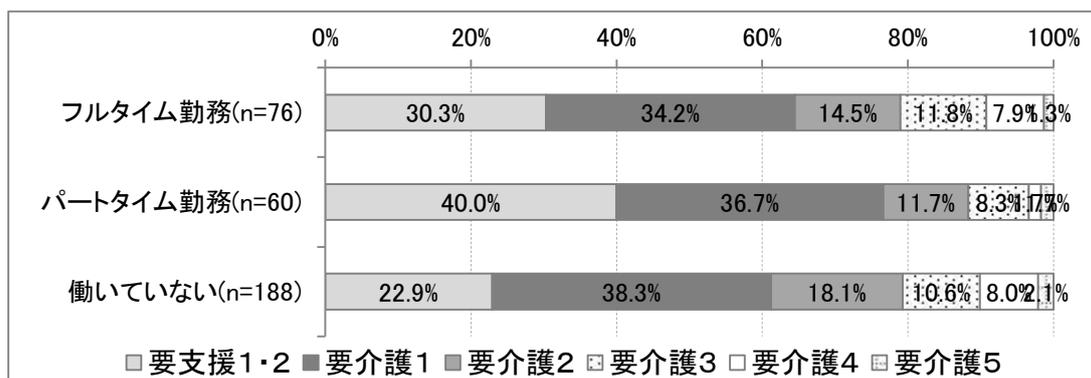
- 介護者の性別を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「女性」が52.1%と高く、次いで「男性」が47.9%となっています。「パートタイム勤務」では「女性」が86.4%と高く、次いで「男性」が13.6%となっています。「働いていない」では「女性」が64.0%と高く、次いで「男性」が36.0%となっています。

図表 2-4 就労状況別・主な介護者の性別



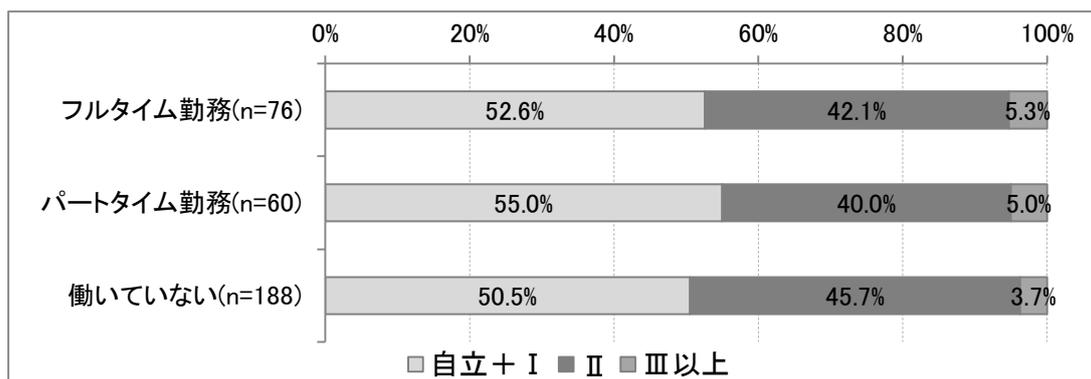
- 二次判定結果を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「要介護1」が34.2%と高く、次いで「要支援1・2」が30.3%、「要介護2」が14.5%となっています。「パートタイム勤務」では「要支援1・2」が40.0%と高く、次いで「要介護1」が36.7%、「要介護2」が11.7%となっています。「働いていない」では「要介護1」が38.3%と高く、次いで「要支援1・2」が22.9%、「要介護2」が18.1%となっています。

図表 2-5 就労状況別・要介護度



- 認知症高齢者自立度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「自立+I」が52.6%と高く、次いで「II」が42.1%、「III以上」が5.3%となっています。「パートタイム勤務」では「自立+I」が55.0%と高く、次いで「II」が40.0%、「III以上」が5.0%となっています。「働いていない」では「自立+I」が50.5%と高く、次いで「II」が45.7%、「III以上」が3.7%となっています。

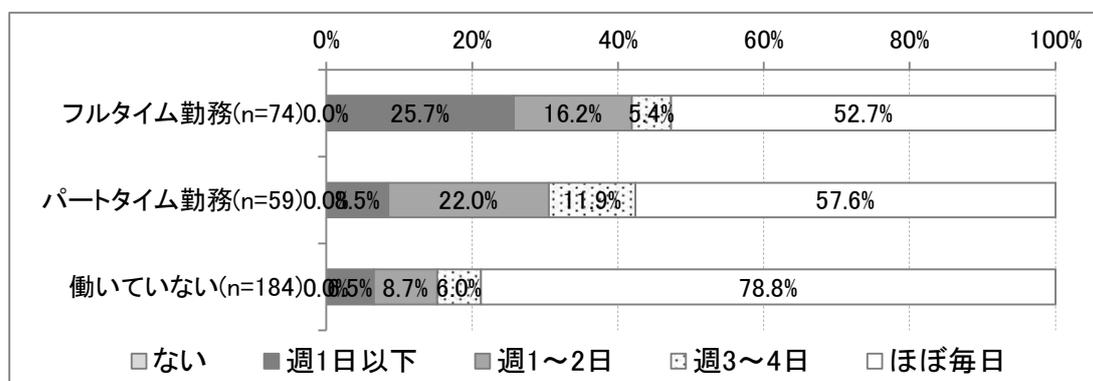
図表 2-6 就労状況別・認知症自立度



(2) 就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

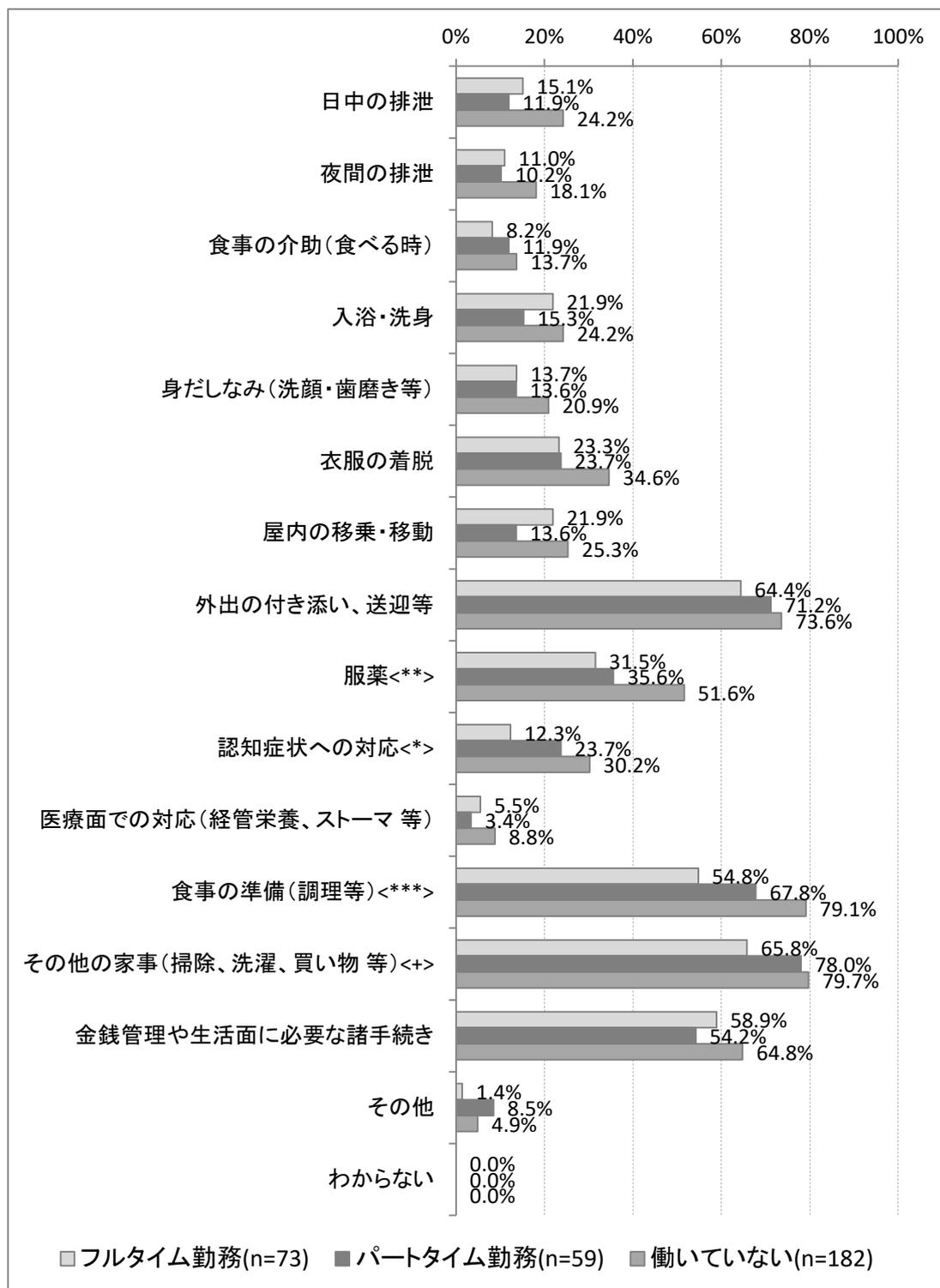
- ここでは、「主な介護者が行っている介護」と「今後の就労継続見込み」について、主な介護者の就労状況別に集計分析をしています（図表 2-8、図表 2-9）。
- 「主な介護者が行っている介護」について、例えば、「働いていない」と比較して、「フルタイム勤務」や「パートタイム勤務」で少ない介護は、働いている介護者が、他の介護者や介護サービスの支援を必要としているものと考えられます。
- 「今後の就労継続見込み」については、「就労状況」との関係に加え、「要介護度」や「認知症自立度」別についても、集計分析を行っています。これにより、要介護者の重度化に伴って就労継続見込みを困難と考える人が増加するかどうかを把握することができます。
- なお、就労継続見込みの分析においては、「問題なく、続けていける」の割合と、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」をあわせた「続けていける」と考えている人の割合の2つの指標に着目しています（図表 2-10、図表 2-11）。
- ご家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「ほぼ毎日」が 52.7%と高く、次いで「週1日以下」が 25.7%、「週1～2日」が 16.2%となっています。「パートタイム勤務」では「ほぼ毎日」が 57.6%と高く、次いで「週1～2日」が 22.0%、「週3～4日」が 11.9%となっています。「働いていない」では「ほぼ毎日」が 78.8%と高く、次いで「週1～2日」が 8.7%、「週1日以下」が 6.5%となっています。

図表 2-7 就労状況別・家族等による介護の頻度



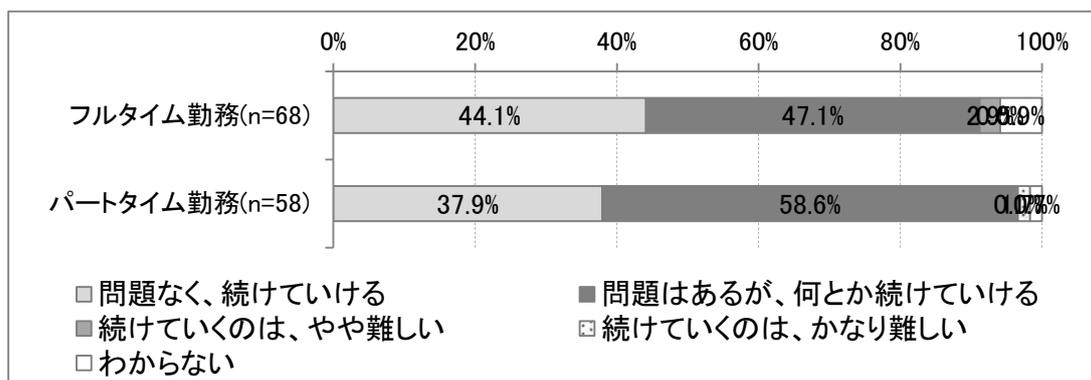
- 介護者が行っている介護を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」及び「パートタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」がもっとも高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が高くとなっています。「働いていない」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が79.7%と高く、次いで「食事の準備（調理等）」が79.1%、「外出の付き添い、送迎等」が73.6%となっています。

図表 2-8 就労状況別・★主な介護者が行っている介護



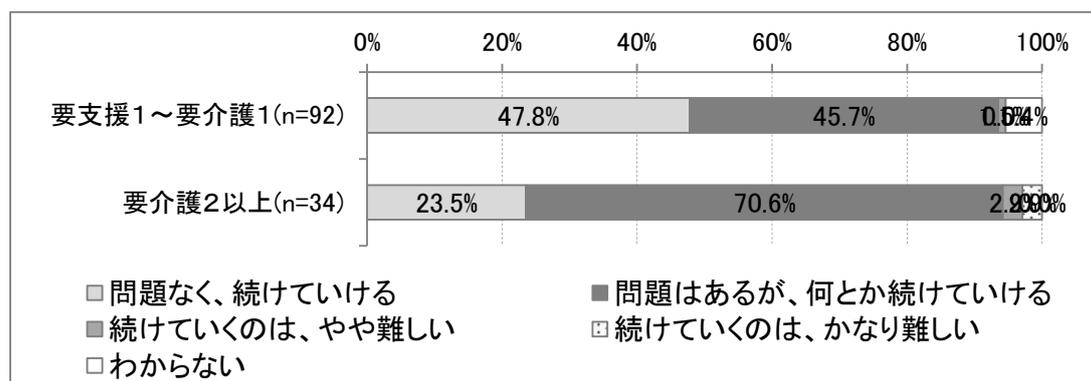
- 介護者の就労継続の可否に係る意識を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が47.1%と高く、次いで「問題なく、続けていける」が44.1%、「わからない」が5.9%となっています。「パートタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が58.6%と高く、次いで「問題なく、続けていける」が37.9%、「続けていくのは、かなり難しい」、「わからない」が1.7%となっています。

図表 2-9 就労状況別・就労継続見込み



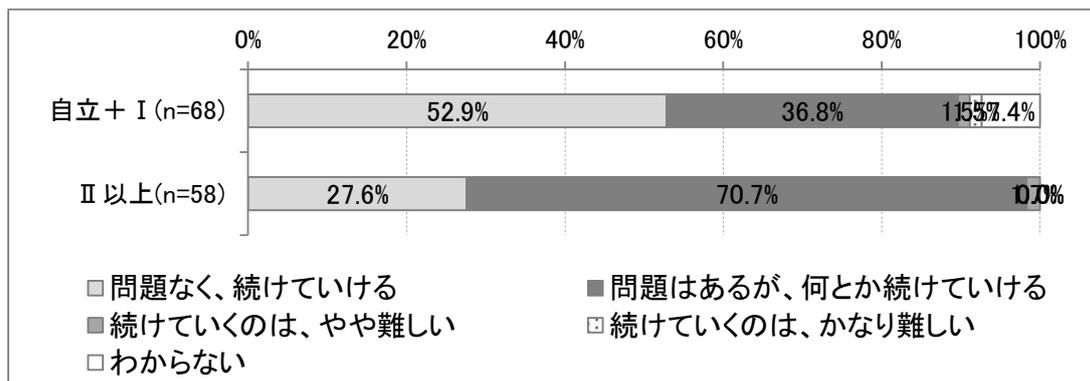
- 介護者の就労継続の可否に係る意識を二次判定結果別にみると、「要支援1～要介護1」では「問題なく、続けていける」が47.8%と高く、次いで「問題はあるが、何とか続けていける」が45.7%、「わからない」が5.4%となっています。「要介護2以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が70.6%と高く、次いで「問題なく、続けていける」が23.5%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」が2.9%となっています。

図表 2-10 要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



- 介護者の就労継続の可否に係る意識を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「問題なく、続けていける」が52.9%と高く、次いで「問題はあるが、何とか続けていける」が36.8%、「わからない」が7.4%となっています。「II以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が70.7%と高く、次いで「問題なく、続けていける」が27.6%、「続けていくのは、やや難しい」が1.7%となっています。

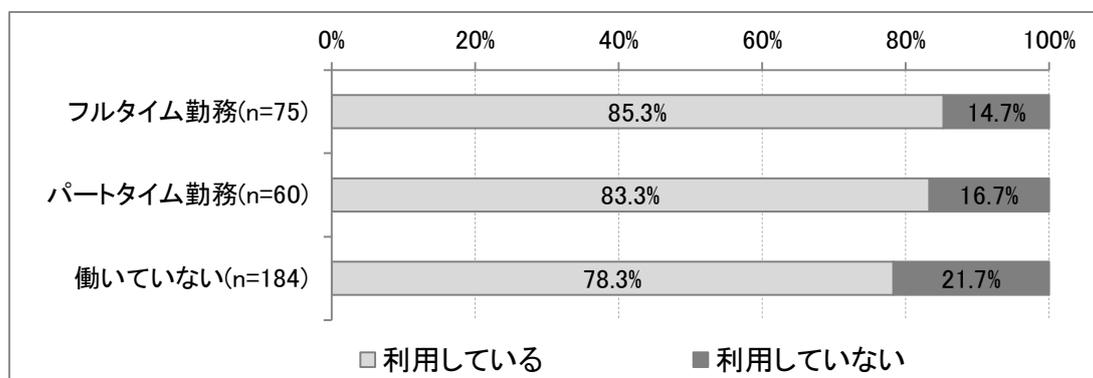
図表 2-11 認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



(3) 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

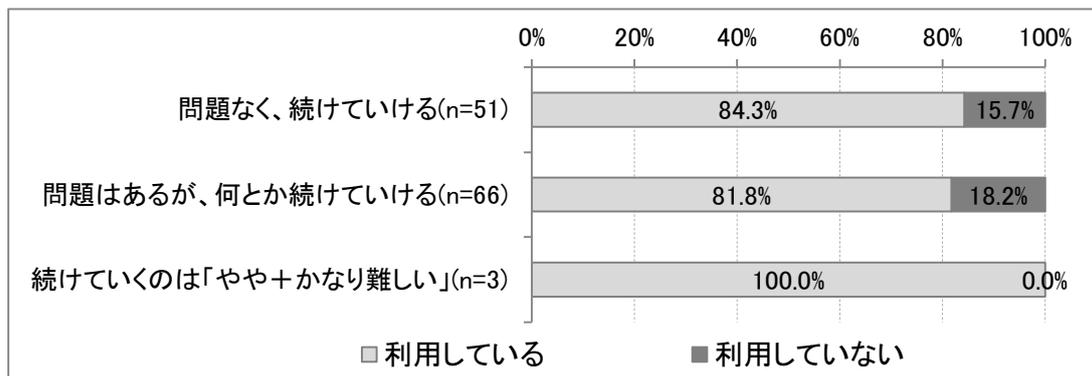
- ここでは、「介護保険サービスの利用状況」と「主な介護者が不安に感じる介護」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-12～図表 2-15）。
- 「介護保険サービスの利用状況」と「就労継続見込み」の関係についての集計分析から、サービス利用による就労継続見込みへの影響を把握することができます。さらに、サービスを利用していない人の「サービス未利用の理由」について、就労継続が困難と考える人が、そうでない人と比較して特徴がみられる理由に着目することで、必要なサービス利用がなされているかどうかを推測することができます。
- 例えば、就労継続が困難と考える人において、サービスを「利用していない」割合が高く、かつサービスを利用していない理由として、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が低い割合にとどまっている場合には、サービス利用の必要性が低くないにも関わらず、サービスの利用がなされていないこととなります（図表 2-13、図表 2-14）。
- 「主な介護者が不安に感じる介護」については、就労継続見込みの困難化に伴い、どのような介護等で不安が増加しているかに着目することで、在宅生活を継続しながらの就労継続について、介護者がその可否を判断するポイントとなる可能性がある介護等を把握することができます。
- 介護保険サービスの利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用している」が 85.3%と高く、次いで「利用していない」が 14.7%となっています。「パートタイム勤務」では「利用している」が 83.3%と高く、次いで「利用していない」が 16.7%となっています。「働いていない」では「利用している」が 78.3%と高く、次いで「利用していない」が 21.7%となっています。

図表 2-12 就労状況別・★介護保険サービス利用の有無



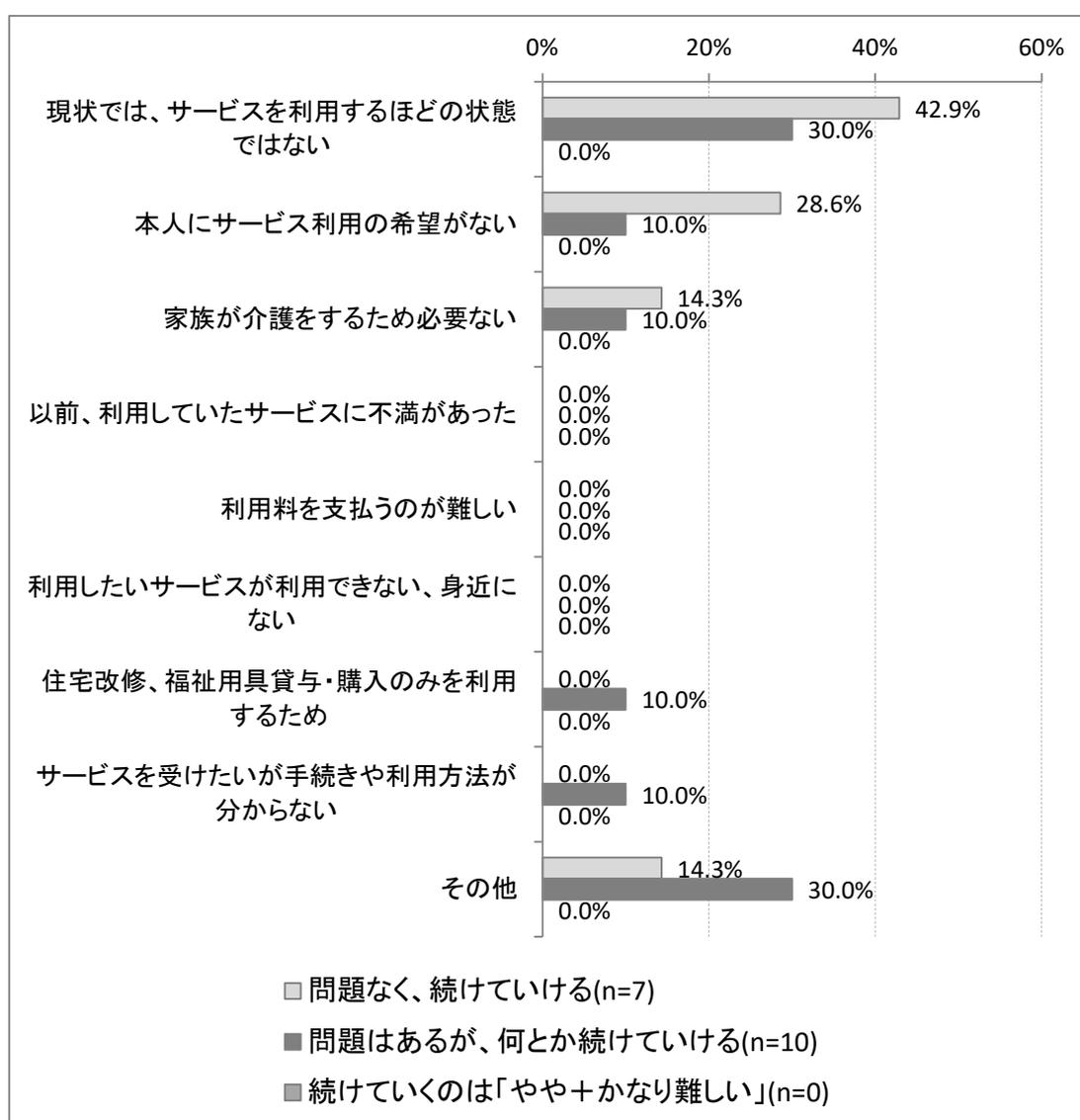
- 介護保険サービスの利用の有無を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「利用している」が84.3%と高く、次いで「利用していない」が15.7%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「利用している」が81.8%と高く、次いで「利用していない」が18.2%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「利用している」が100.0%となっています。

図表 2-13 就労継続見込み別・★介護保険サービス利用の有無
(フルタイム勤務＋パートタイム勤務)



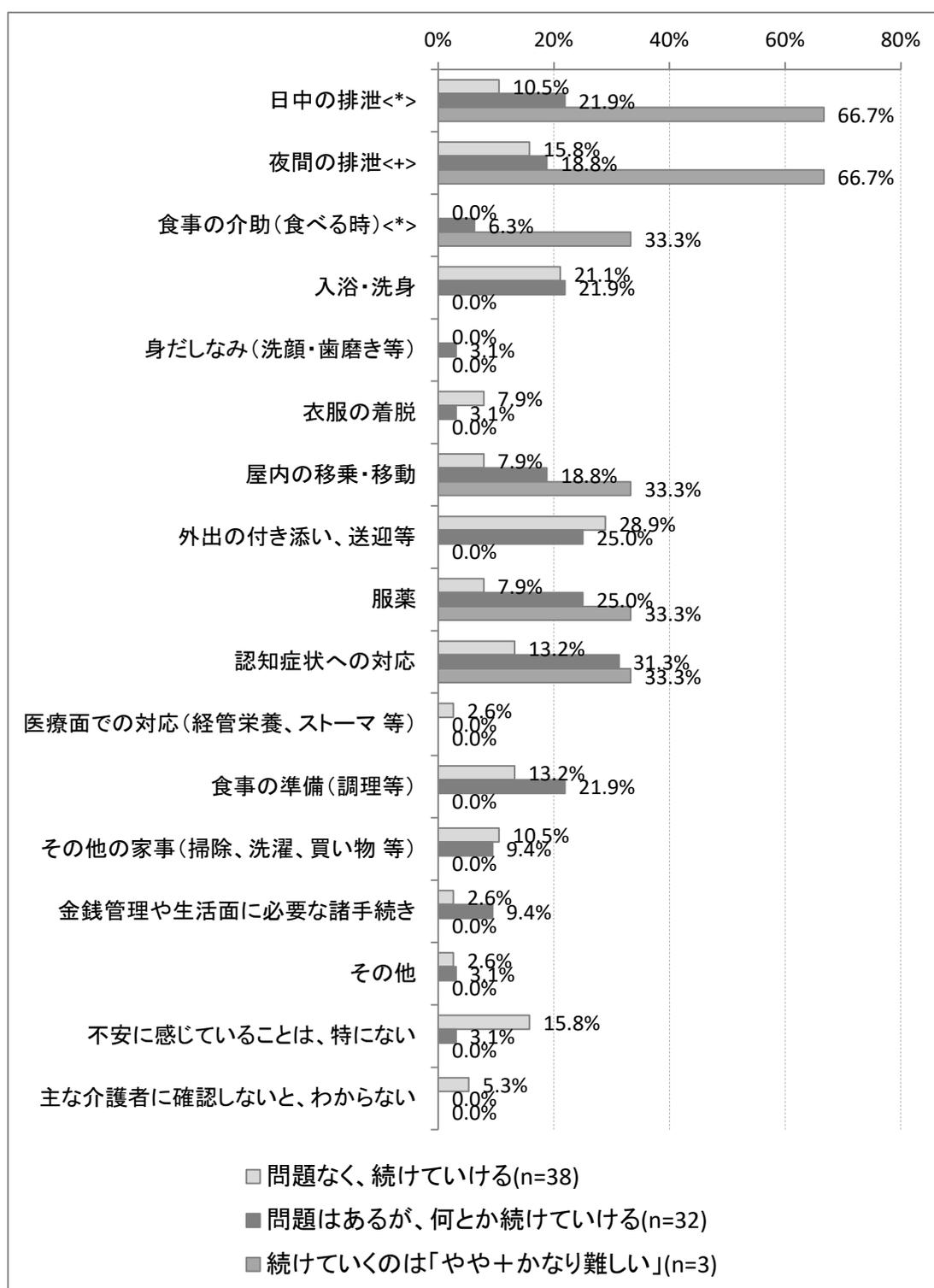
- 未利用の理由を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 42.9%と高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 28.6%、「家族が介護をするため必要ない」、「その他」が 14.3%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「その他」が 30.0%と高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が 10.0%となっています。

図表 2-14 就労継続見込み別・★サービス未利用の理由
(フルタイム勤務+パート勤務)



- 介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「外出の付き添い、送迎等」が28.9%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「認知症状への対応」が31.3%となっています。「続けていくのはやや+かなり難しい」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」が66.7%となっています。

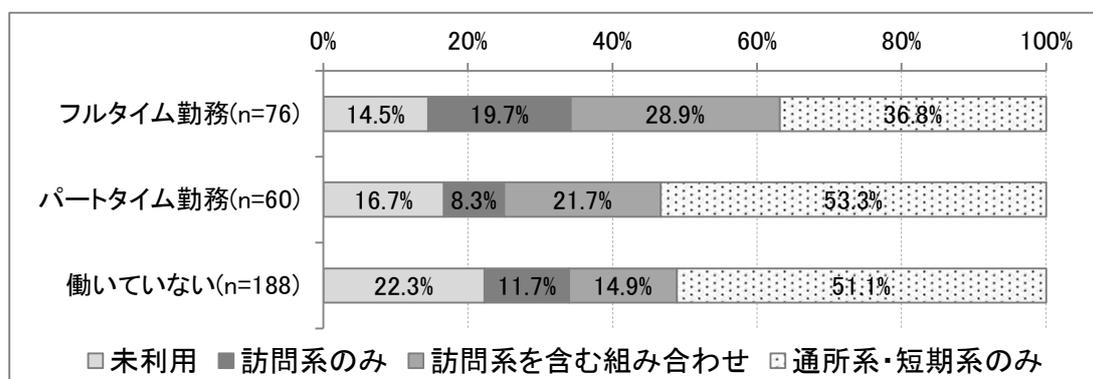
図表 2-15 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護
(フルタイム勤務+パートタイム勤務)



(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

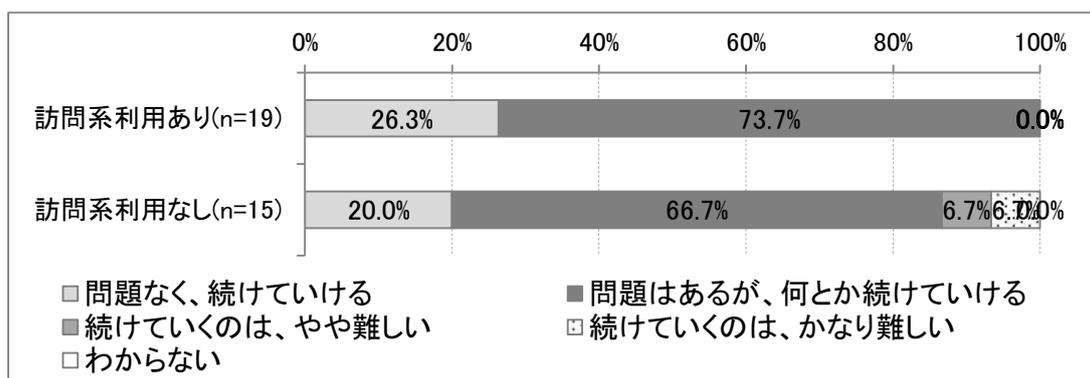
- ここでは、「サービス利用の組み合わせ」について、組み合わせのパターンを簡略化し、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています。さらに、訪問系サービスについては、要介護2以上、認知症自立度Ⅱ以上に分けて集計分析を行っています（図表2-16～図表2-18）。
- ここから、主な介護者の就労状況によって、「サービス利用の組み合わせ」に差がみられるかどうかを把握することができます。
- また、「訪問系サービスの利用の有無」と「就労継続見込み」の関係を集計分析することで、訪問系サービスの利用が、就労継続見込みの「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」の割合に影響を与えているかどうかを推測することが可能です。
- サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が36.8%と高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が28.9%、「訪問系のみ」が19.7%となっています。「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が53.3%と高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が21.7%、「未利用」が16.7%となっています。「働いていない」では「通所系・短期系のみ」が51.1%と高く、次いで「未利用」が22.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が14.9%となっています。

図表 2-16 就労状況別・サービス利用の組み合わせ



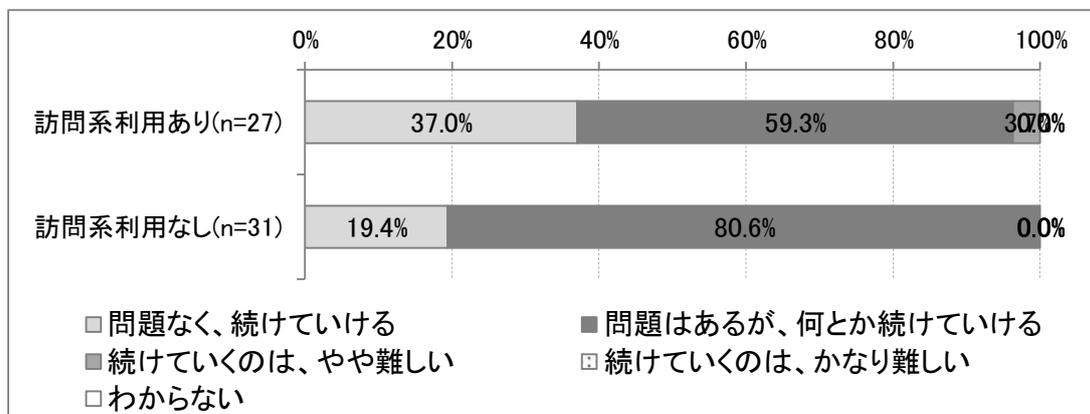
- 介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が73.7%と高く、次いで「問題なく、続けていける」が26.3%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」、「わからない」が0.0%となっています。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が66.7%と高く、次いで「問題なく、続けていける」が20.0%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」が6.7%となっています。

図表 2-17 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み
(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)



- 介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が59.3%と高く、次いで「問題なく、続けていける」が37.0%、「続けていくのは、やや難しい」が3.7%となっています。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が80.6%と高く、次いで「問題なく、続けていける」が19.4%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」、「わからない」が0.0%となっています。

図表 2-18 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み
(認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)

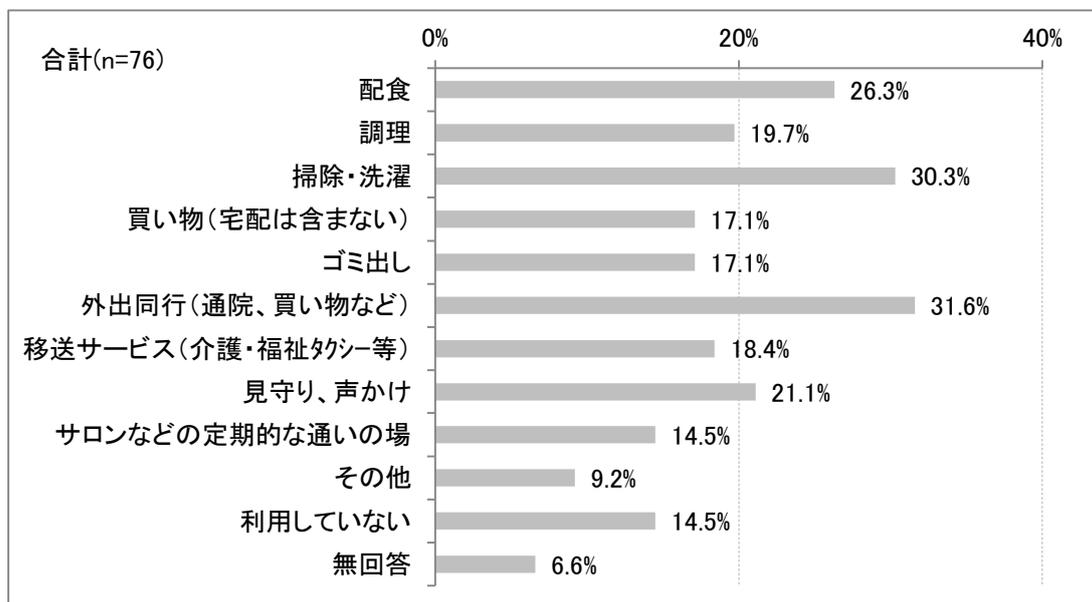


(5) 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況

- ここでは、「保険外の支援・サービスの利用状況」、「訪問診療の利用の有無」、「施設等検討の状況」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-19～図表 2-21）。
- 「利用している保険外の支援・サービス」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」の差をみることにより、働いている介護者が必要と感じているが、実際には利用されていない生活支援サービスを把握することができます。
- また、「訪問診療の利用の有無」と就労状況との関係を集計分析することで、訪問診療の利用が就労状況により異なるかどうかを把握することができます。
- 「施設等検討の状況」については、働いていない介護者に比べて、働いている介護者では、施設入所を必要と感じているかどうか分析することを目的としています。
- さらに、要介護2以上の中重度者については、就労継続見込みについて「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」と考える人のうち、どの程度の人が施設を検討しているかに着目しています。これにより、在宅での仕事と介護の両立が困難となった場合の対応として、施設対応の必要性と、在宅サービスや働き方の調整による対応の必要性のそれぞれについて、把握することができます。
- ここでの「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」とは、保険外の支援・サービスに限定されるものではありません。必要となる支援・サービスの整備方法については、必ずしも保険外のサービスに限定せず、幅広い視点から検討を進めることが重要です。
- アンケート調査の中で「必要な支援・サービス」を回答して頂くと、「無くても大丈夫であるが、無いよりはあった方が良い」といった回答も含まれることが想定されることから、回答結果は実際のニーズよりもやや過大となる可能性があります。

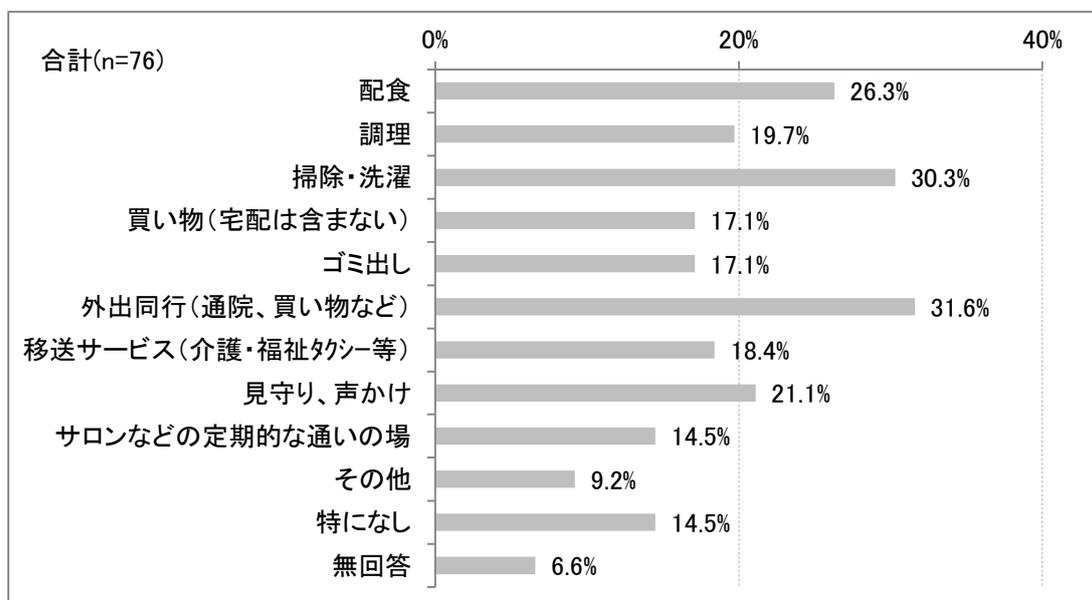
- 「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く 31.6%となっています。次いで、「掃除・洗濯（30.3%）」、「配食（26.3%）」となっています。

図表 2-19_1 ★利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）



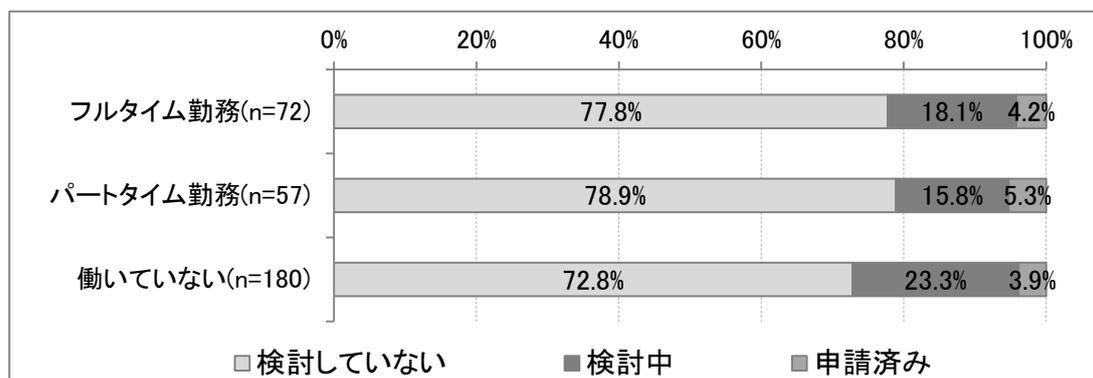
- 「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く 31.6%となっています。次いで、「掃除・洗濯（30.3%）」、「配食（26.3%）」となっています。

図表 2-19_2 ★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）



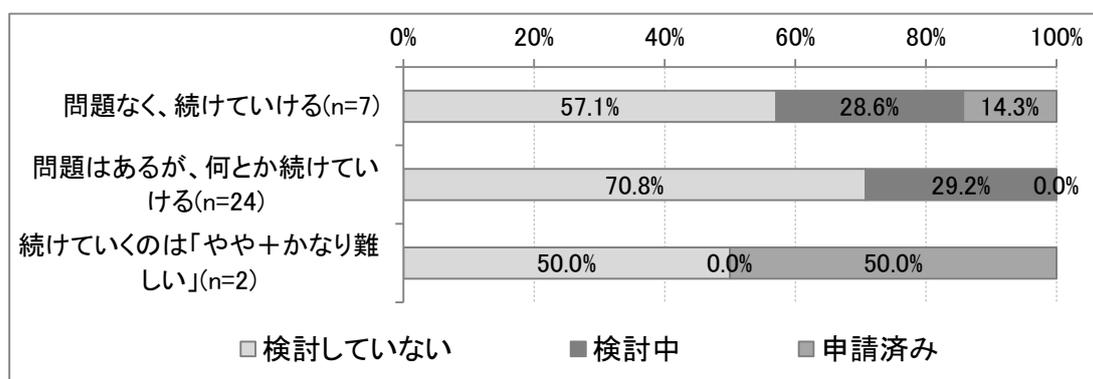
- 施設等の検討状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「検討していない」が77.8%と高く、次いで「検討中」が18.1%、「申請済み」が4.2%となっています。「パートタイム勤務」では「検討していない」が78.9%と高く、次いで「検討中」が15.8%、「申請済み」が5.3%となっています。「働いていない」では「検討していない」が72.8%と高く、次いで「検討中」が23.3%、「申請済み」が3.9%となっています。

図表 2-20 就労状況別・施設等検討の状況



- 施設等の検討状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「検討していない」が57.1%と高く、次いで「検討中」が28.6%、「申請済み」が14.3%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「検討していない」が70.8%と高く、次いで「検討中」が29.2%、「申請済み」が0.0%となっています。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「検討していない」、「申請済み」が50.0%となっています。

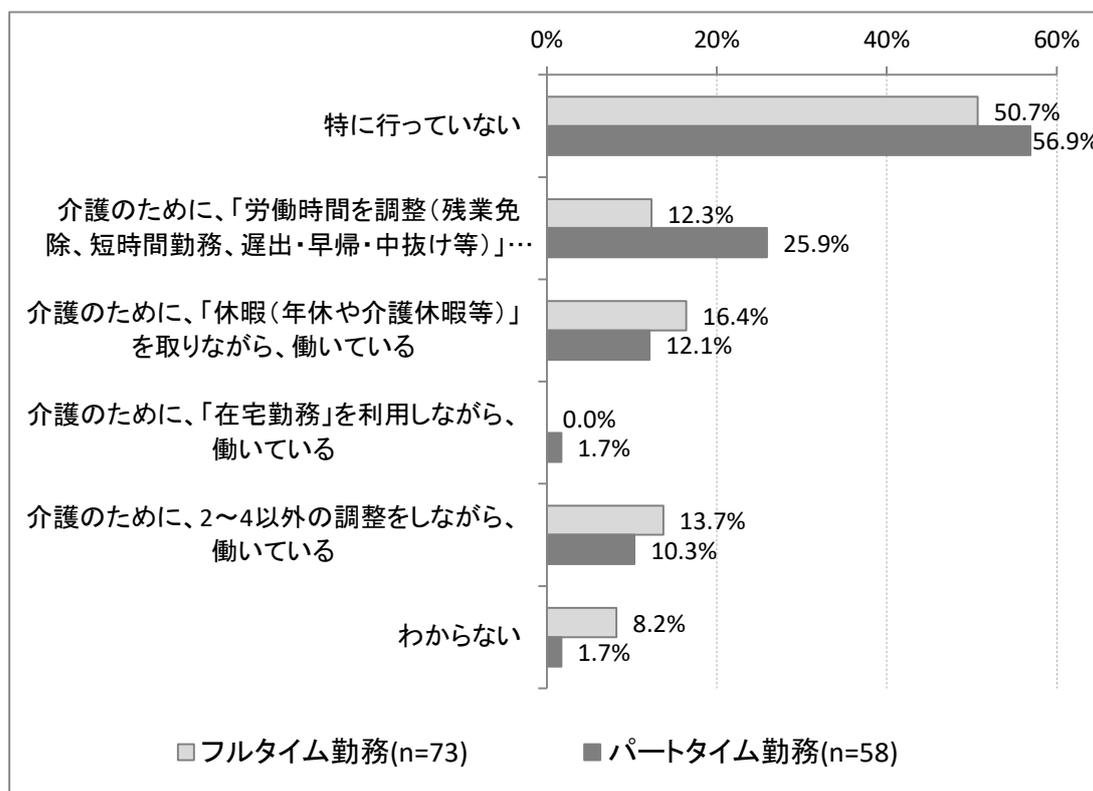
図表 2-21 就労継続見込み別・施設等検討の状況
(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)



(6) 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

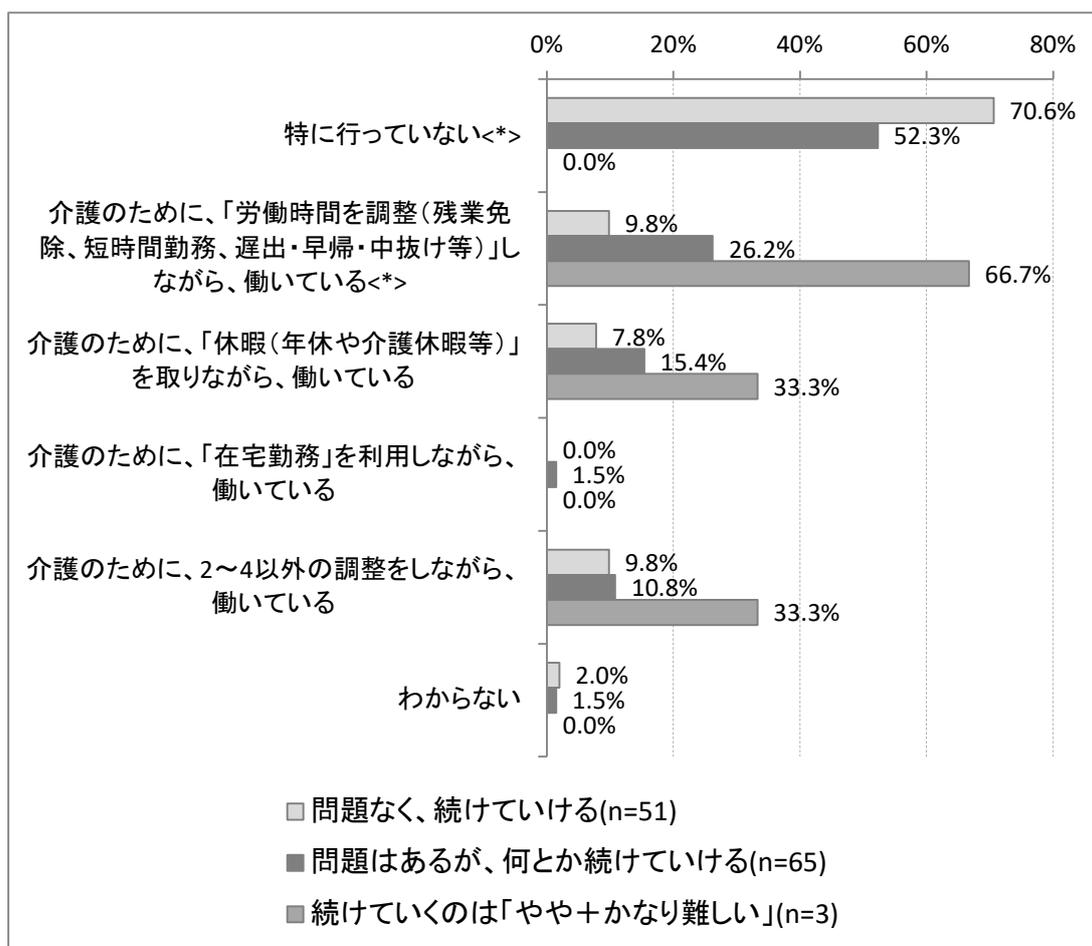
- ここでは、「介護のための働き方の調整」と、「効果的な勤め先からの支援」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-22～図表 2-23）。
- 就労継続見込みによって、介護のために働き方を調整している割合や、効果的と考える勤め先の支援内容がどのように変化するかに着目して集計分析をしています。
- ただし、「問題なく、続けていける」とする人において、働き方の調整を「特に行っていない」割合、もしくは効果的な勤め先の支援として「特にない」が高いケースは、職場が恒常的な長時間労働や、休暇取得が困難といった状況にはなく、介護のために特段働き方の調整や勤め先からの支援を行わなくても、両立可能な職場であることが考えられます。
- このように、職場の状況や業務の内容によっても、必要な調整や支援の内容が異なることに留意することが必要です。
- 介護者の働き方の調整の状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「特に行っていない」が 50.7%と高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 16.4%、「介護のために、2～4 以外の調整をしながら、働いている」が 13.7%となっています。「パートタイム勤務」では「特に行っていない」が 56.9%と高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 25.9%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 12.1%となっています。

図表 2-22 就労状況別・介護のための働き方の調整



- 介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特に行っていない」が70.6%と高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が9.8%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が7.8%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「特に行っていない」が52.3%と高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が26.2%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が15.4%となっています。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が66.7%と高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が33.3%となっています。

図表 2-23 就労継続見込み別・介護のための働き方の調整
（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

3.1 集計・分析の狙い

- ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、特に「保険外の支援・サービス」に焦点を当てた集計を行っています。ここで把握された現状やニーズは、生活支援体制整備事業の推進のために活用していくことなどが考えられます。
- 具体的には、「現在利用している保険外の支援・サービス」と「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）」について、要介護度別や世帯類型別のクロス集計を行い、現在の利用状況の把握と今後さらに充実が必要となる支援・サービスについての分析を行います。
- なお、調査の中では、総合事業に基づく支援・サービスは介護保険サービスに含めるとともに、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、介護保険サービスか保険外の支援・サービスであるかは区別していません。

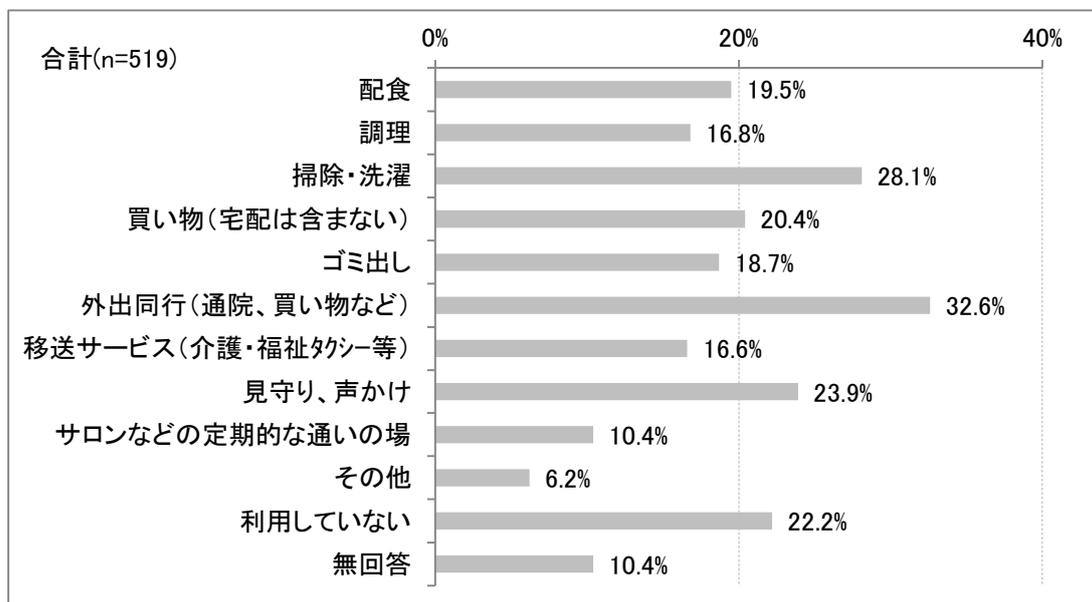
3.2 集計結果と着目すべきポイント

(1) 基礎集計

- 「保険外の支援・サービスの利用状況」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-1、図表 3-2）。
- 例えば、「保険外の支援・サービスの利用状況」については、現状の把握のみでなく、保険外の支援・サービスの利用促進の取組に係るアウトプットとして、その「利用割合」を設定することで、経年的にその成果をモニタリングしていくことも可能になると考えられます。
- さらに、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」からは、在宅限界点の向上という地域目標の達成に向けて、その地域において特に重要となる支援・サービスの種類を把握することができます。
- ここでの「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」とは、保険外の支援・サービスに限定されるものではありません。必要となる支援・サービスの整備方法については、必ずしも保険外のサービスに限定せず、幅広い視点から検討を進めることが重要です。

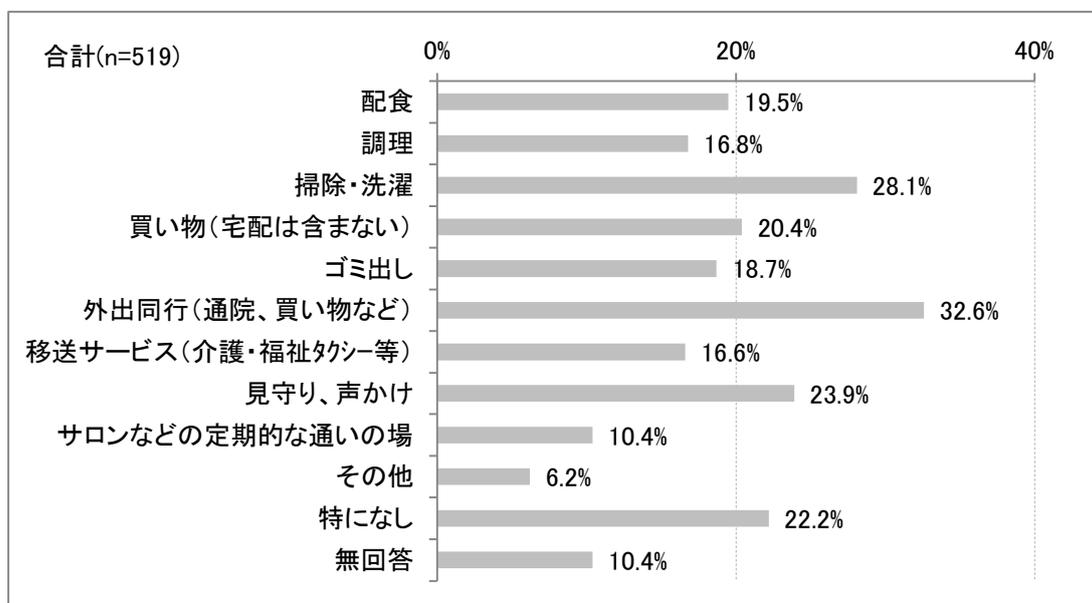
- 「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く 32.6%となっています。次いで、「掃除・洗濯（28.1%）」、「見守り、声かけ（23.9%）」となっています。

図表 3-1 ★保険外の支援・サービスの利用状況



- 「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く 32.6%となっています。次いで、「掃除・洗濯（28.1%）」、「見守り、声かけ（23.9%）」となっています。

図表 3-2 ★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

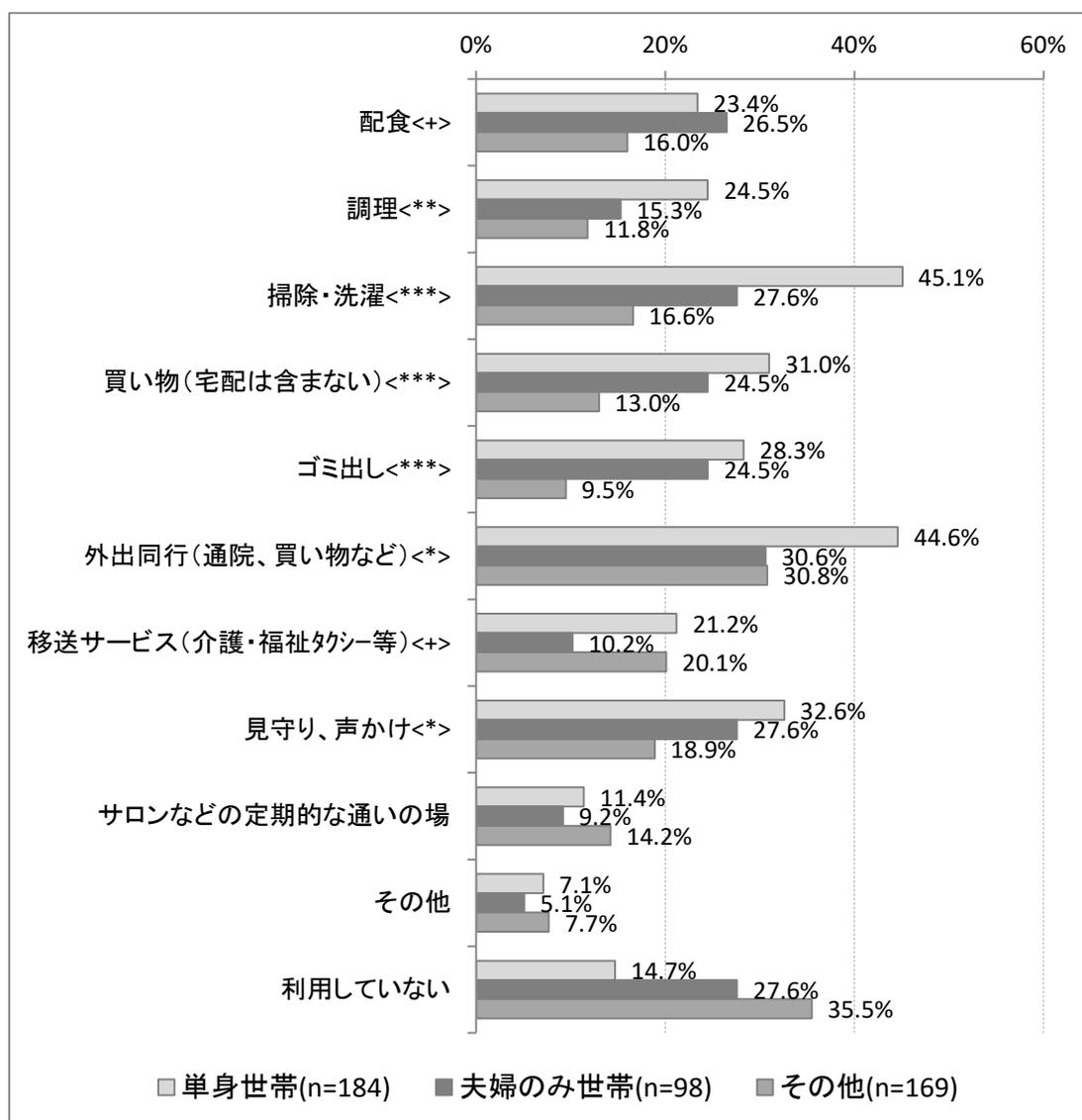


(2) 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

- 世帯類型別に「保険外の支援・サービスの利用状況」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-3、図表 3-4）。
- 「保険外の支援・サービスの利用割合」については、世帯類型別の割合をアウトプット指標としてモニタリングしていくも考えられます。
- また、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、世帯類型別に異なる傾向がみられた場合は、世帯類型に応じたアプローチを検討していくことが重要になると考えられます。
- アンケート調査の中で「必要な支援・サービス」を回答して頂くと、「無くても大丈夫であるが、無いよりはあった方が良い」といった回答も含まれることが想定されることから、回答結果は実際のニーズよりもやや過大となる可能性があります。
- 「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、特に「複数の支援・サービスを比較して、より優先順位の高い支援・サービスを明らかにする」といった視点でみることが重要です。

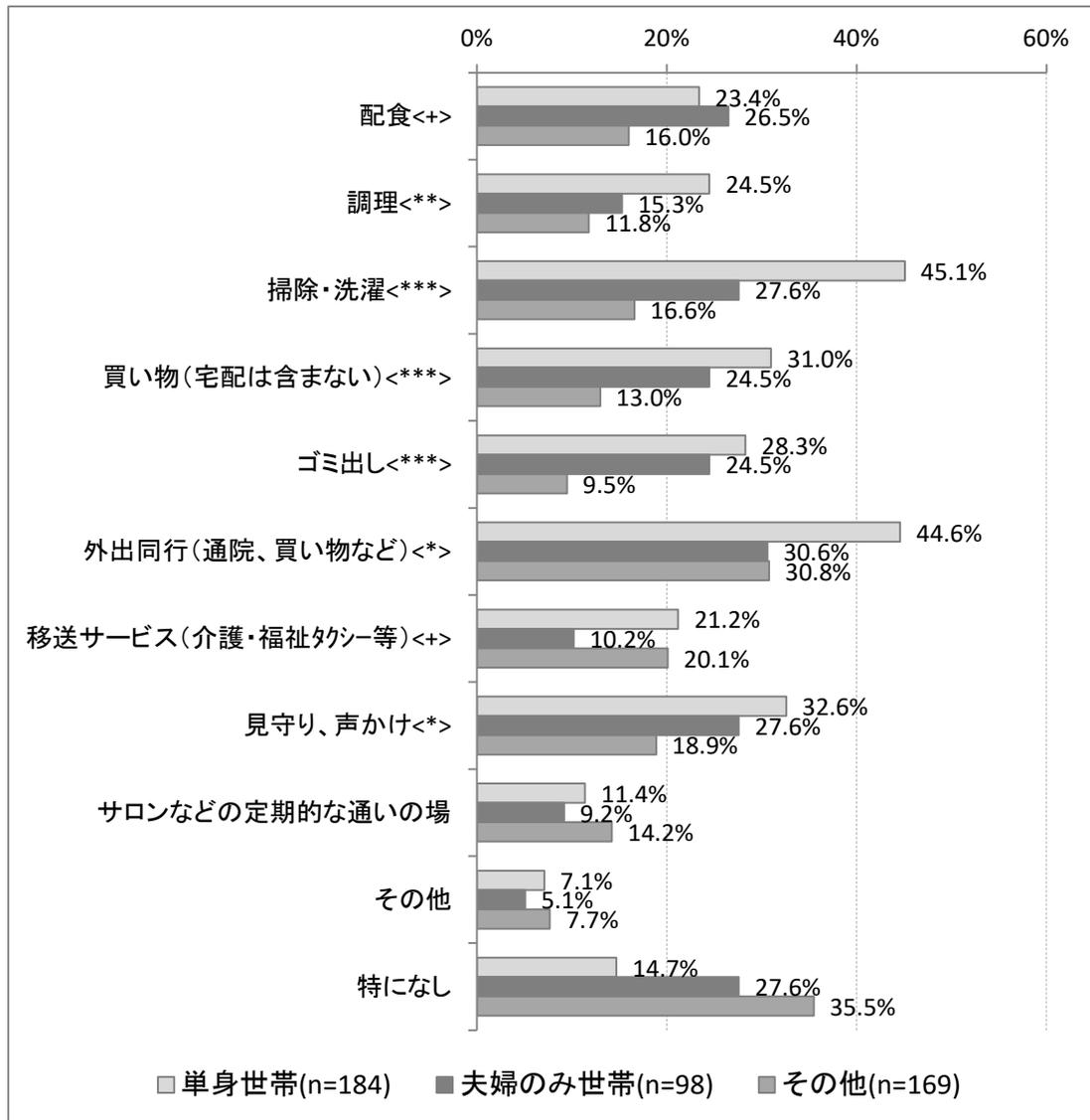
- 保険外の支援・サービスの利用状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「掃除・洗濯」が45.1%と高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が44.6%、「見守り、声かけ」が32.6%となっています。「夫婦のみ世帯」では「外出同行（通院、買い物など）」が30.6%と高く、次いで「掃除・洗濯」、「見守り、声かけ」、「利用していない」が27.6%、「配食」が26.5%となっています。「その他」では「利用していない」が35.5%と高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が30.8%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.1%となっています。

図表 3-3 世帯類型別・★保険外の支援・サービスの利用状況



- 保険外の支援・サービスの必要性を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「掃除・洗濯」が45.1%と高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が44.6%、「見守り、声かけ」が32.6%となっています。「夫婦のみ世帯」では「外出同行（通院、買い物など）」が30.6%と高く、次いで「掃除・洗濯」、「見守り、声かけ」、「特になし」が27.6%、「配食」が26.5%となっています。「その他」では「特になし」が35.5%と高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が30.8%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.1%となっています。

図表 3-4 世帯類型別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

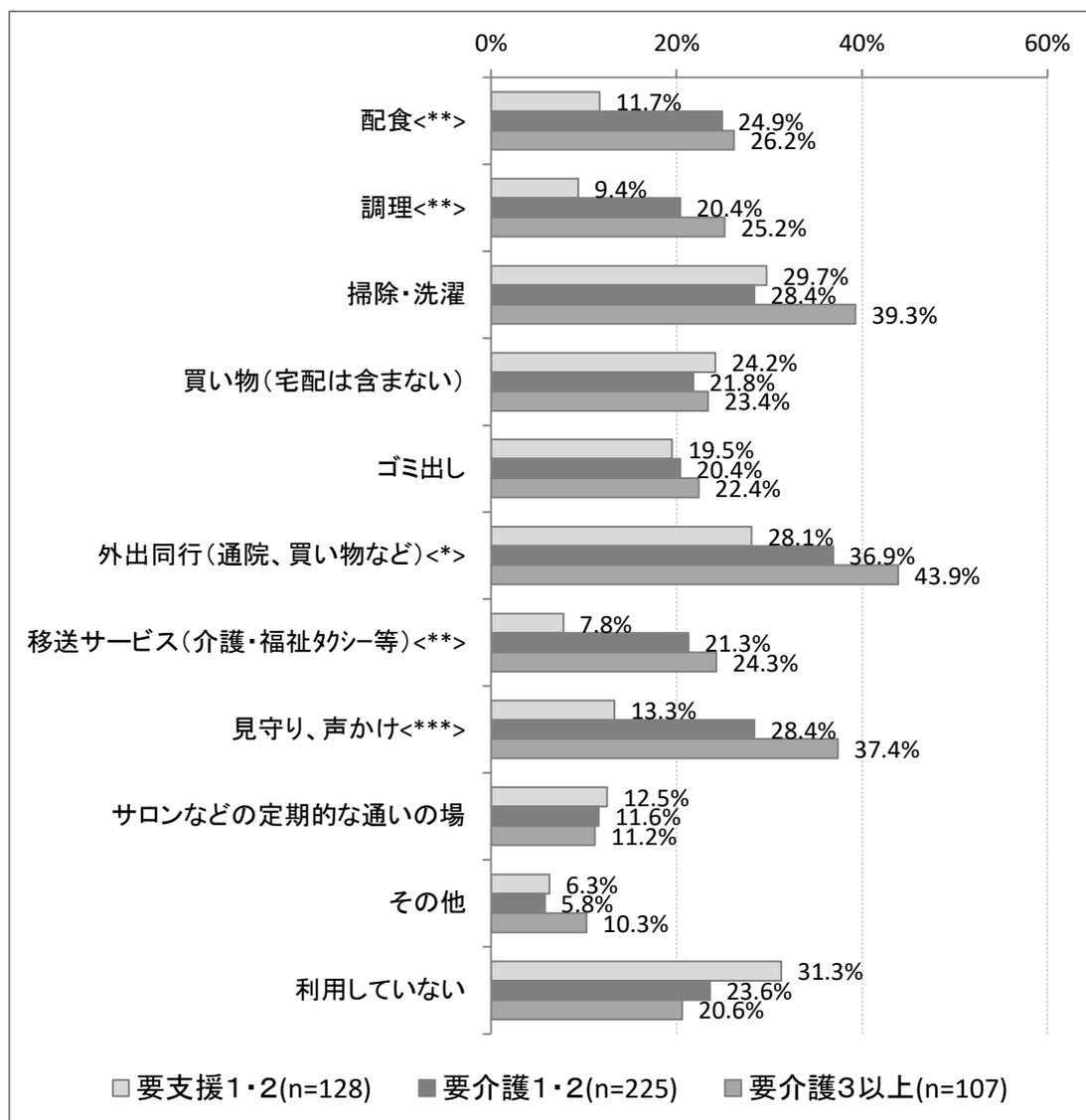


(3) 「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」

- 世帯類型別・要介護度別に「保険外の支援・サービスの利用状況」について、集計分析をしています（図表 3-5～図表 3-8）。
- 利用割合の低い世帯類型であっても、要介護度の重度化に伴い利用割合が増加している支援・サービスがあることも考えられます。
- 介護保険サービスと同様、重度化に伴い、どのような支援・サービスの利用割合が増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような支援・サービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握することができます。

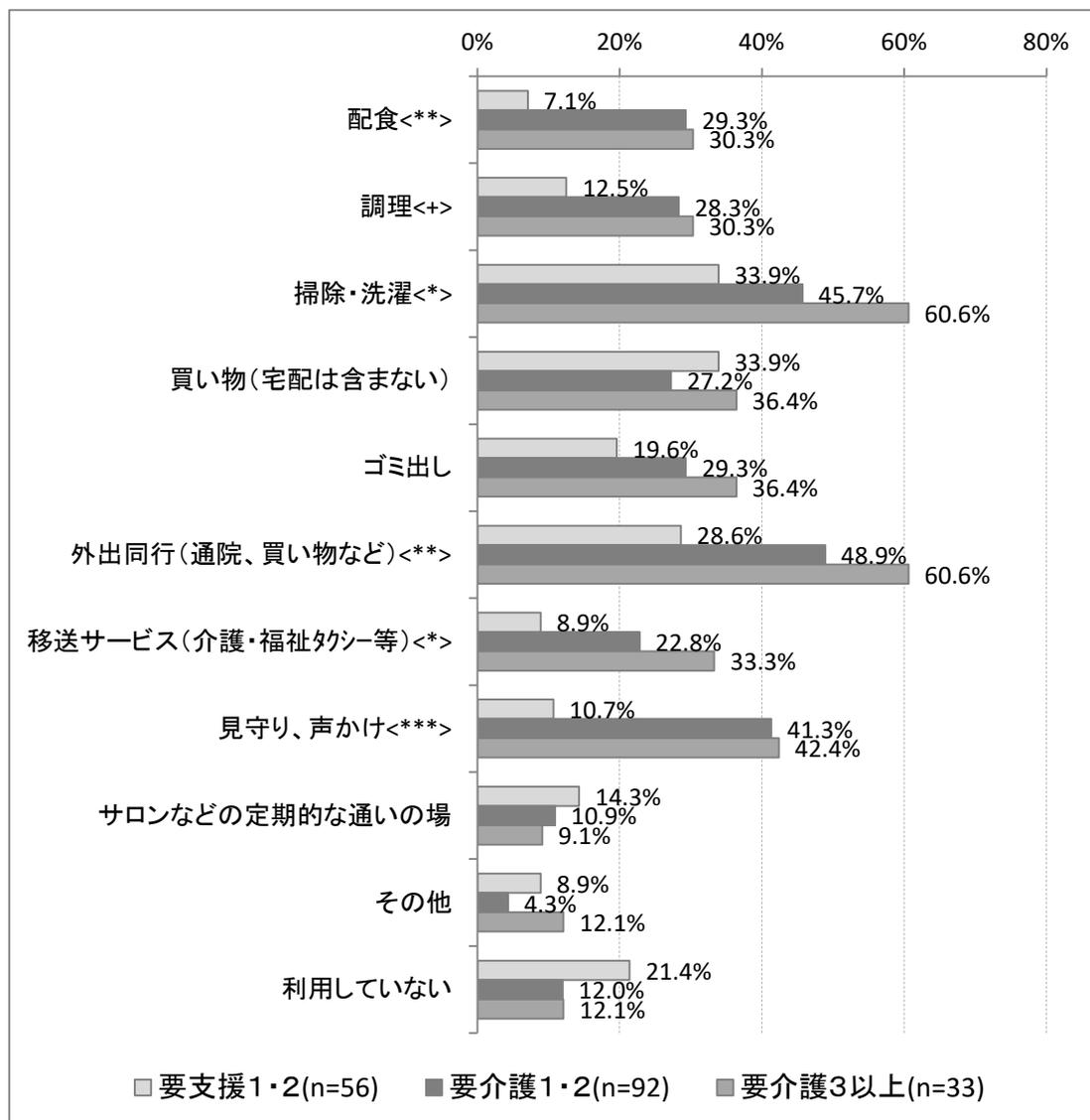
- 保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が31.3%と高く、次いで「掃除・洗濯」が29.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が28.1%となっています。「要介護1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が36.9%と高く、次いで「掃除・洗濯」、「見守り、声かけ」が28.4%、「配食」が24.9%となっています。「要介護3以上」では「外出同行（通院、買い物など）」が43.9%と高く、次いで「掃除・洗濯」が39.3%、「見守り、声かけ」が37.4%となっています。

図表 3-5 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況



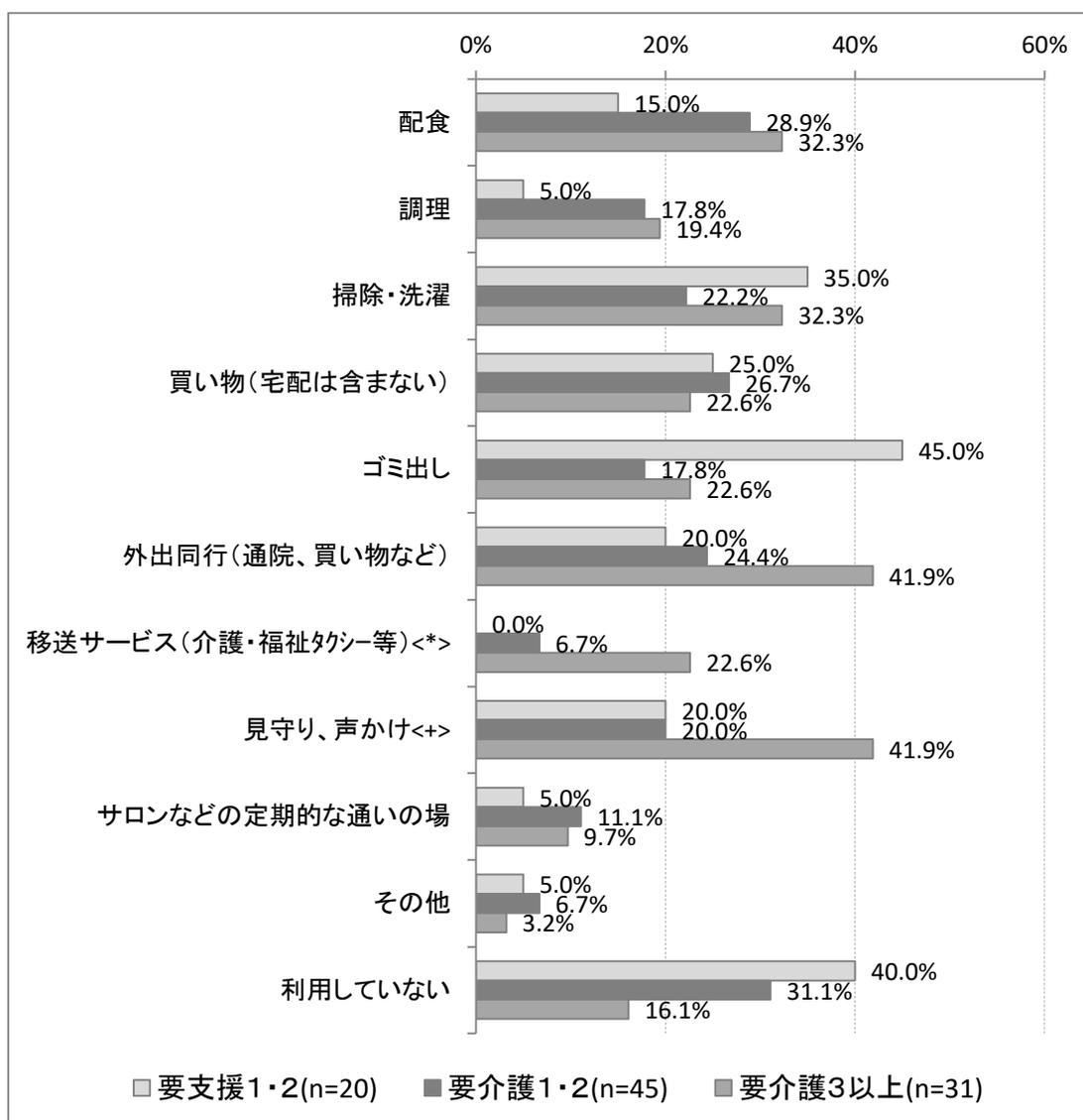
- 単身世帯で、保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」が33.9%と高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が28.6%、「利用していない」が21.4%となっています。「要介護1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が48.9%と高く、次いで「掃除・洗濯」が45.7%、「見守り、声かけ」が41.3%となっています。「要介護3以上」では「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」が60.6%と高く、次いで「見守り、声かけ」が42.4%、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」が36.4%となっています。

図表 3-6 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）



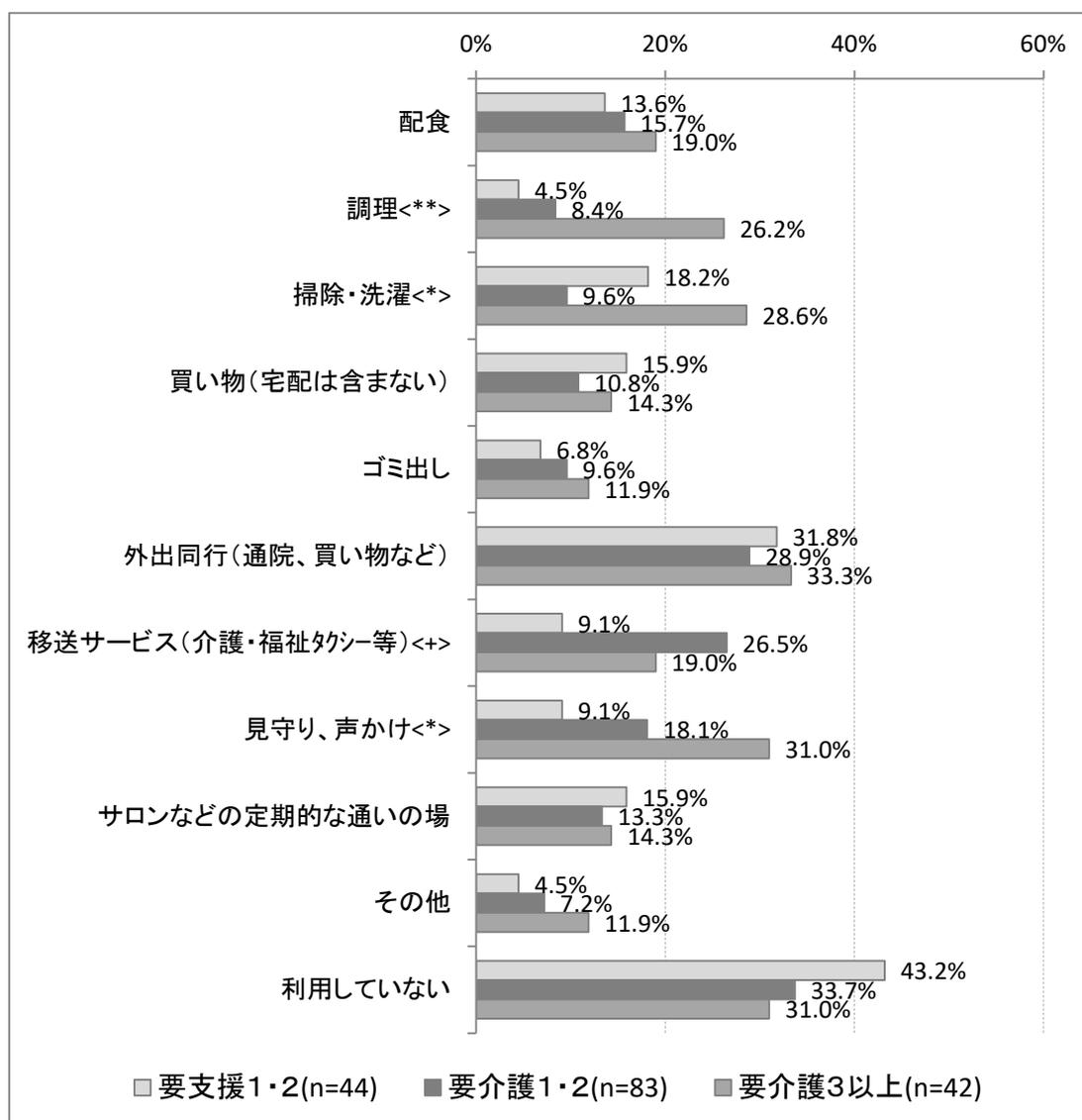
- 夫婦のみ世帯で、保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ゴミ出し」が45.0%と高く、次いで「利用していない」が40.0%、「掃除・洗濯」が35.0%となっています。「要介護1・2」では「利用していない」が31.1%と高く、次いで「配食」が28.9%、「買い物（宅配は含まない）」が26.7%となっています。「要介護3以上」では「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」が41.9%と高く、次いで「配食」、「掃除・洗濯」が32.3%、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が22.6%となっています。

図表 3-7 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）



- その他世帯で、保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が43.2%と高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が31.8%、「掃除・洗濯」が18.2%となっています。「要介護1・2」では「利用していない」が33.7%と高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が28.9%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が26.5%となっています。「要介護3以上」では「外出同行（通院、買い物など）」が33.3%と高く、次いで「見守り、声かけ」、「利用していない」が31.0%、「掃除・洗濯」が28.6%となっています。

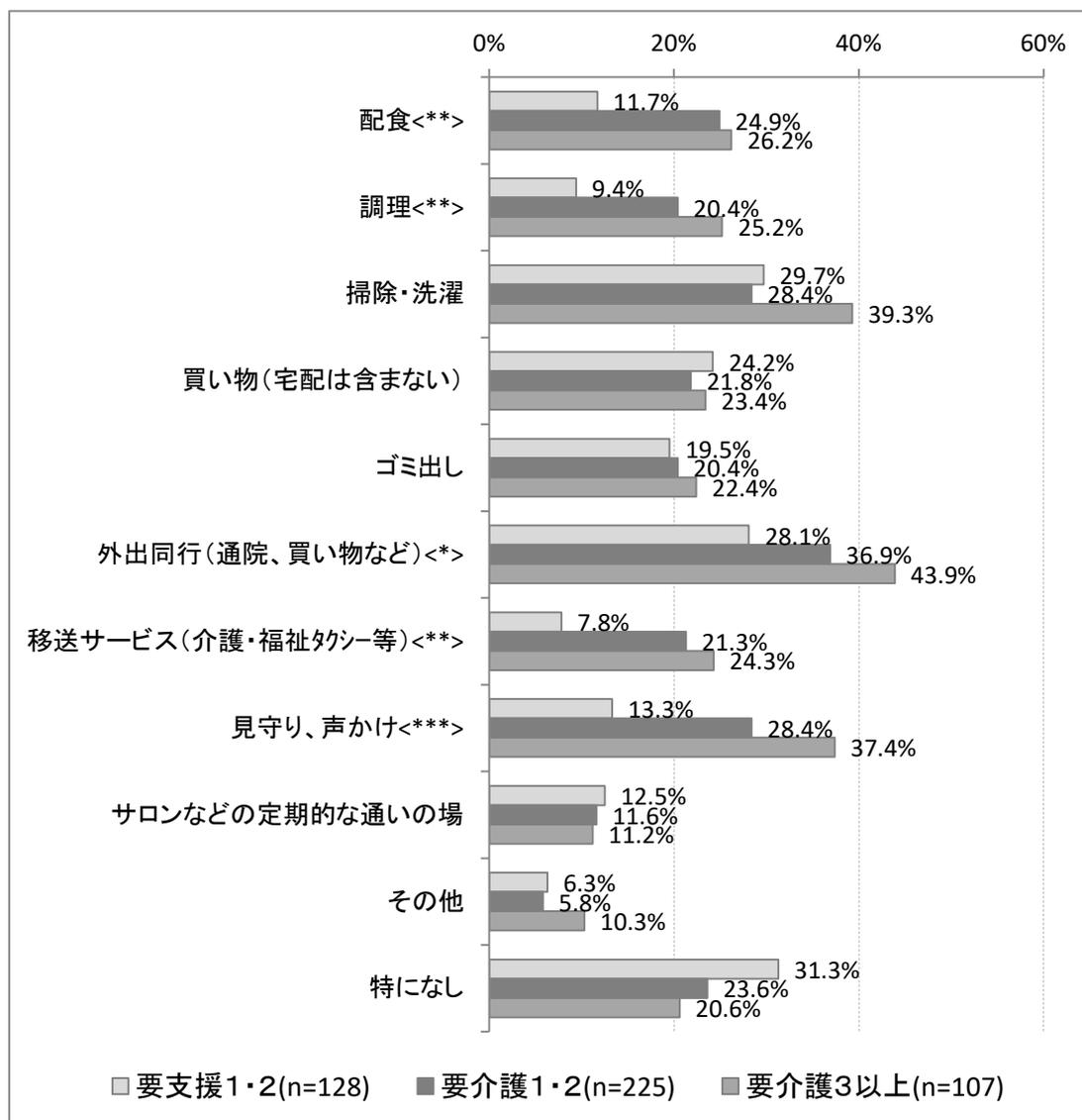
図表 3-8 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）



(4) 「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」

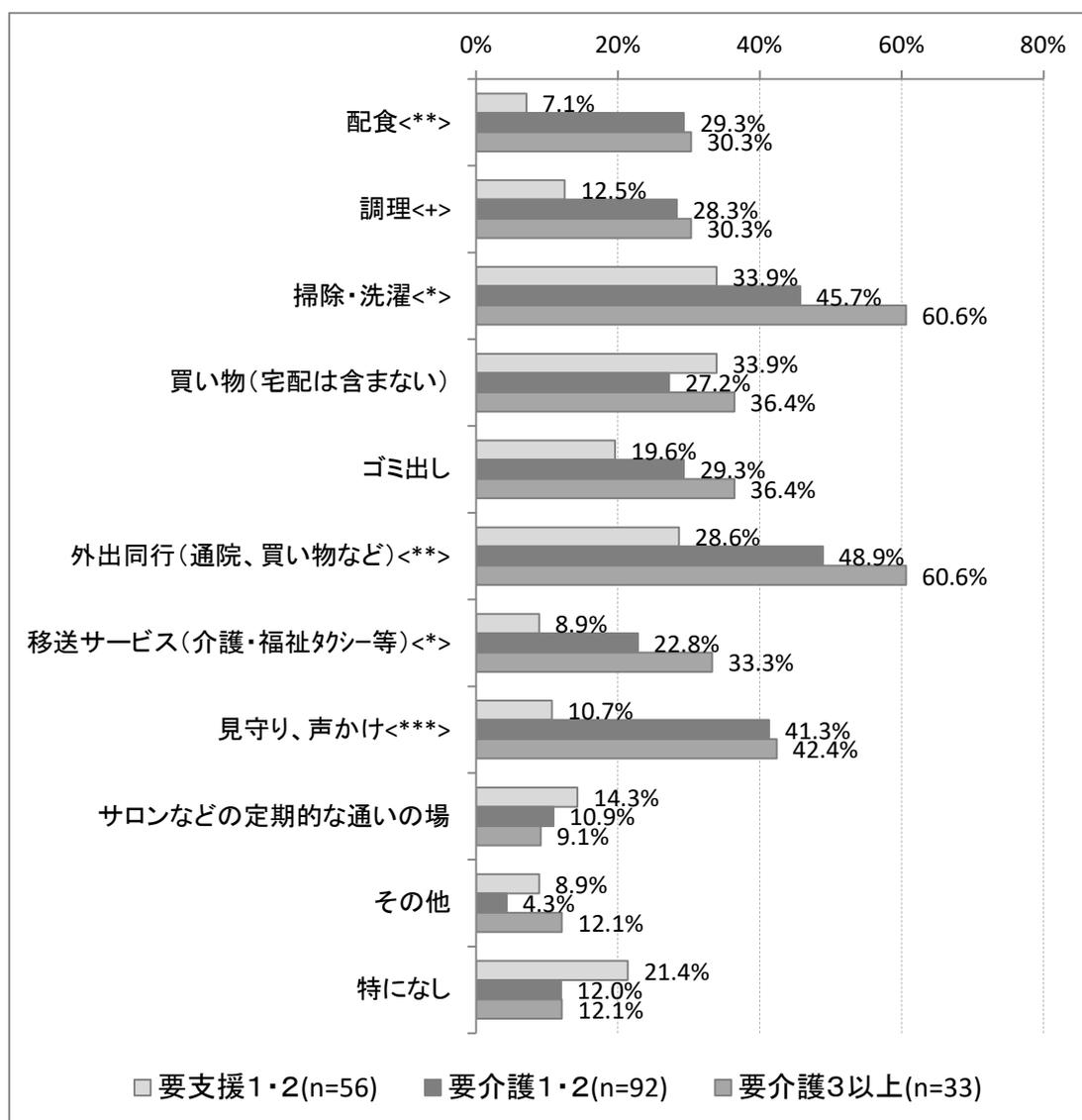
- 世帯類型別・要介護度別に「必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-9～図表 3-12）。
- 特に、各世帯類型の要介護度別のニーズに着目しながら、各地域の実情に応じた取組を推進していくことが必要です。
- 保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援 1・2」では「特になし」が 31.3%と高く、次いで「掃除・洗濯」が 29.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が 28.1%となっています。「要介護 1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が 36.9%と高く、次いで「掃除・洗濯」、「見守り、声かけ」が 28.4%、「配食」が 24.9%となっています。「要介護 3 以上」では「外出同行（通院、買い物など）」が 43.9%と高く、次いで「掃除・洗濯」が 39.3%、「見守り、声かけ」が 37.4%となっています。

図表 3-9 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



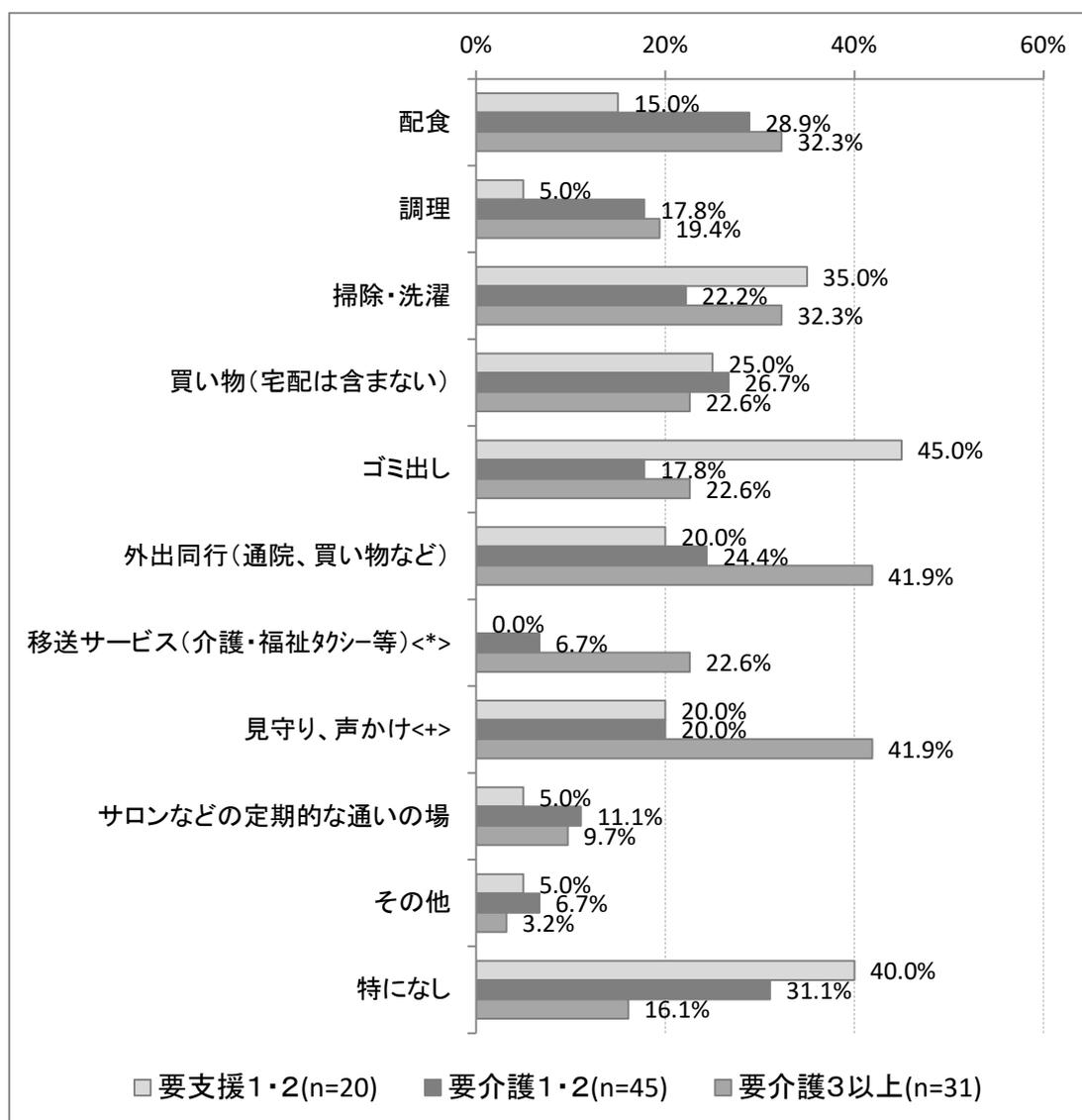
- 単身世帯で、保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」が33.9%と高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が28.6%、「特になし」が21.4%となっています。「要介護1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が48.9%と高く、次いで「掃除・洗濯」が45.7%、「見守り、声かけ」が41.3%となっています。「要介護3以上」では「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」が60.6%と高く、次いで「見守り、声かけ」が42.4%、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」が36.4%となっています。

図表 3-10 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



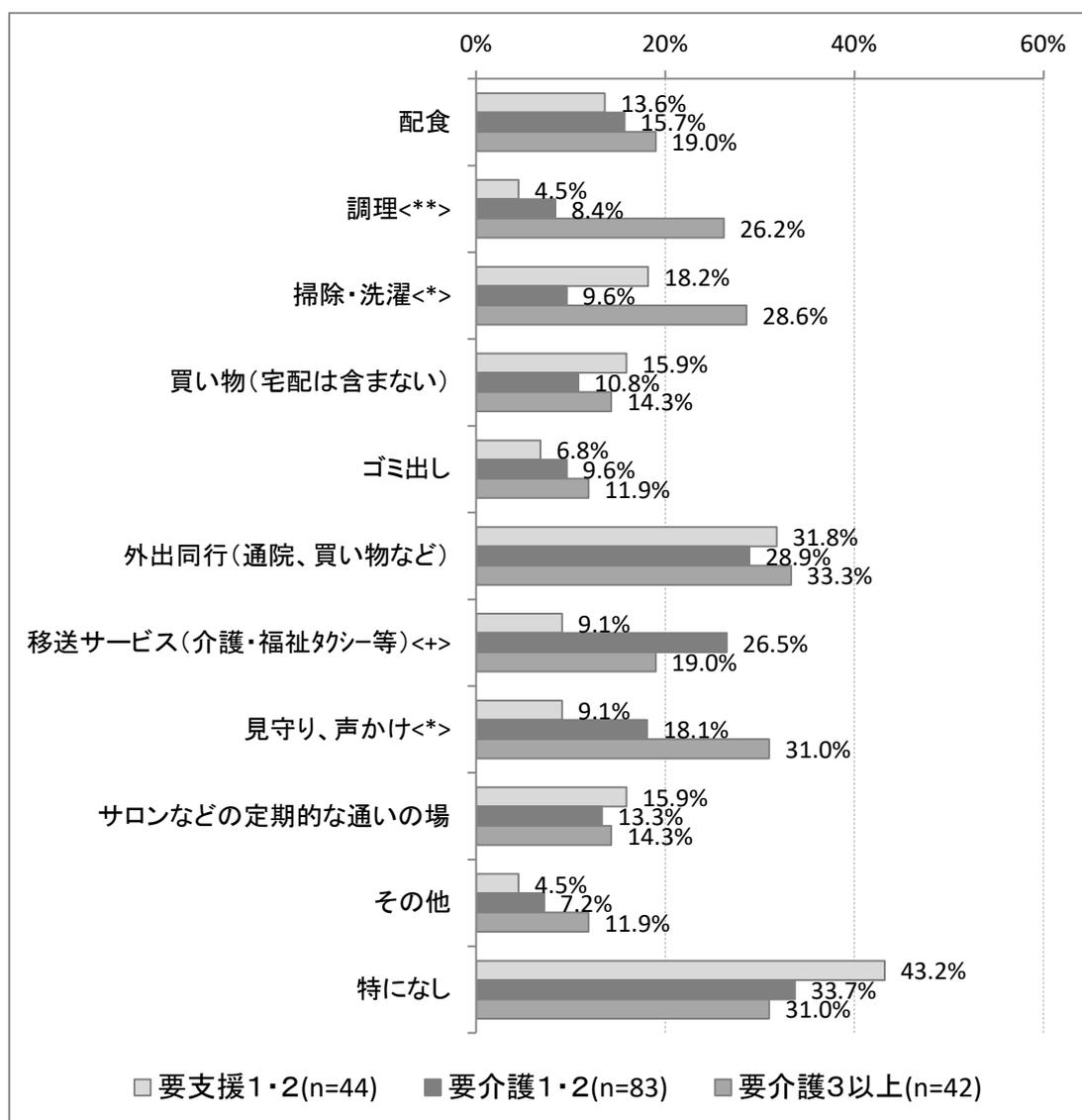
- 夫婦のみ世帯で、保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ゴミ出し」が45.0%と高く、次いで「特になし」が40.0%、「掃除・洗濯」が35.0%となっています。「要介護1・2」では「特になし」が31.1%と高く、次いで「配食」が28.9%、「買い物（宅配は含まない）」が26.7%となっています。「要介護3以上」では「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」が41.9%と高く、次いで「配食」、「掃除・洗濯」が32.3%、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が22.6%となっています。

図表 3-11 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



- その他世帯で、保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「特になし」が43.2%と高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が31.8%、「掃除・洗濯」が18.2%となっています。「要介護1・2」では「特になし」が33.7%と高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が28.9%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が26.5%となっています。「要介護3以上」では「外出同行（通院、買い物など）」が33.3%と高く、次いで「見守り、声かけ」、「特になし」が31.0%、「掃除・洗濯」が28.6%となっています。

図表 3-12 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）



4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

4.1 集計・分析の狙い

- ここでは、在宅限界点の向上のための、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討につなげるため、特に世帯類型別の「サービス利用の特徴」や「施設等検討の状況」に焦点を当てた集計を行っています。
- 具体的には、世帯類型別の「家族等による介護の頻度」、「サービス利用の組み合わせ」、「施設等検討の状況」などの分析を行います。
- 将来の高齢世帯の世帯類型の構成は、地域ごとに異なりますので、それぞれ地域の実情に応じた支援・サービスの検討につなげていくことが重要となります。

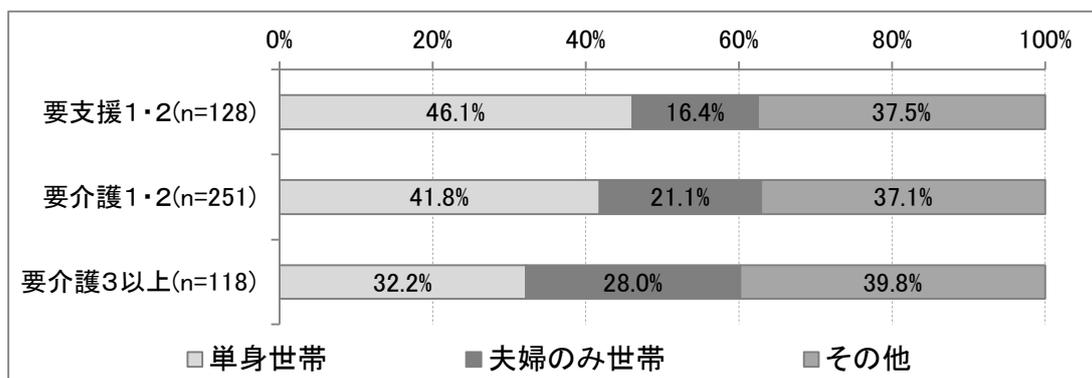
4.2 集計結果と着目すべきポイント

(1) 基礎集計

- 「要介護度別の世帯類型の割合」および「世帯類型別の要介護度の割合」を集計しています（図表 4-1、図表 4-2）。
- 要介護度の重度化に伴う、世帯類型の変化などを確認します。

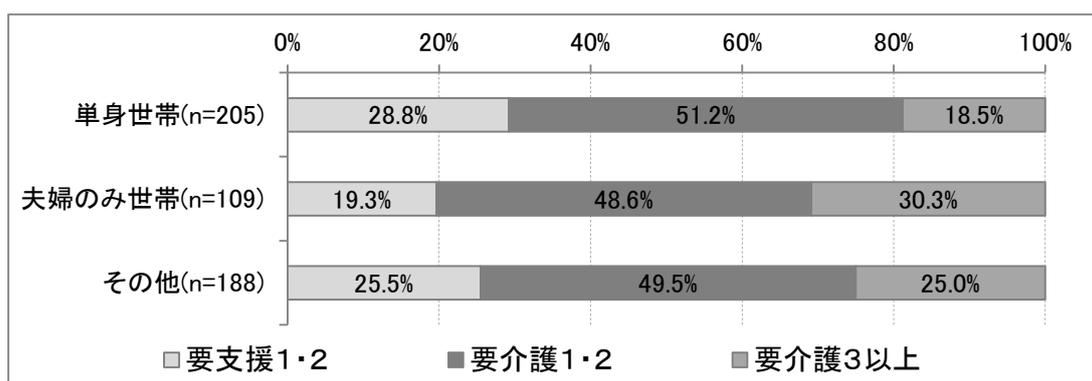
- 世帯類型を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「単身世帯」が46.1%と高く、次いで「その他」が37.5%、「夫婦のみ世帯」が16.4%となっています。「要介護1・2」では「単身世帯」が41.8%と高く、次いで「その他」が37.1%、「夫婦のみ世帯」が21.1%となっています。「要介護3以上」では「その他」が39.8%と高く、次いで「単身世帯」が32.2%、「夫婦のみ世帯」が28.0%となっています。

図表 4-1 要介護度別・世帯類型



- 二次判定結果を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「要介護1・2」が51.2%と高く、次いで「要支援1・2」が28.8%、「要介護3以上」が18.5%となっています。「夫婦のみ世帯」では「要介護1・2」が48.6%と高く、次いで「要介護3以上」が30.3%、「要支援1・2」が19.3%となっています。「その他」では「要介護1・2」が49.5%と高く、次いで「要支援1・2」が25.5%、「要介護3以上」が25.0%となっています。

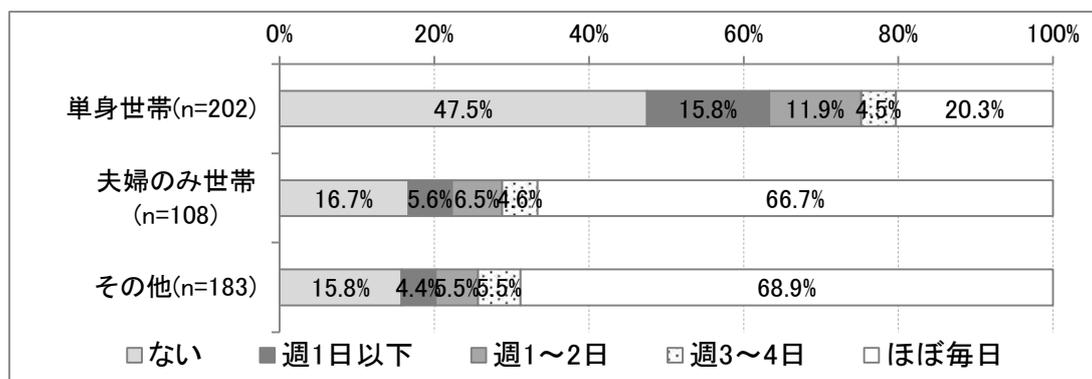
図表 4-2 世帯類型別・要介護度



(2) 「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」

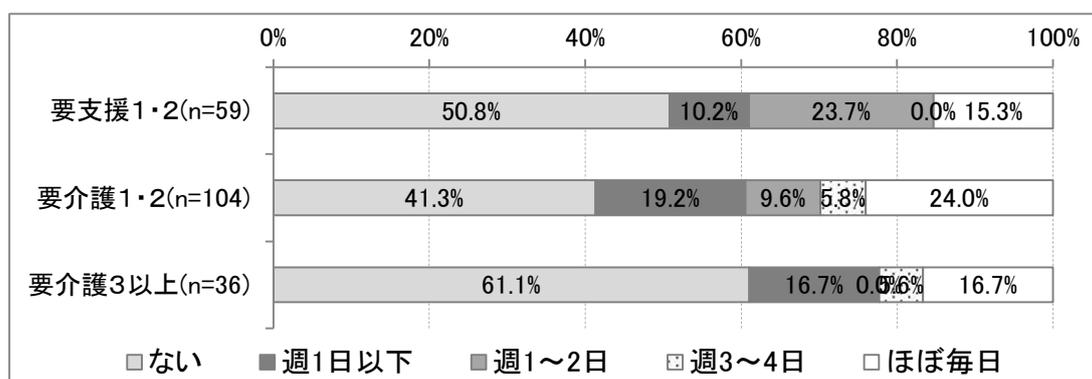
- 図表 4-3 では、「世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」の割合を集計しています。また、図表 4-4～図表 4-6 では、世帯類型別に「要介護度別」の「家族等による介護の頻度」を集計しています。
- 「単身世帯」については、同居の家族等はいなくても、近居の家族等による介護が行われているケースも多いと考えられます。中重度の単身世帯のうち、家族等の介護がない中で在宅生活を送っているケースがどの程度あるかなど、現状について確認します。
- ご家族等の介護の頻度を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「ない」が 47.5%と高く、次いで「ほぼ毎日」が 20.3%、「週 1 日以下」が 15.8%となっています。「夫婦のみ世帯」では「ほぼ毎日」が 66.7%と高く、次いで「ない」が 16.7%となっています。「その他」では「ほぼ毎日」が 68.9%と高く、次いで「ない」が 15.8%となっています。

図表 4-3 世帯類型別・家族等による介護の頻度



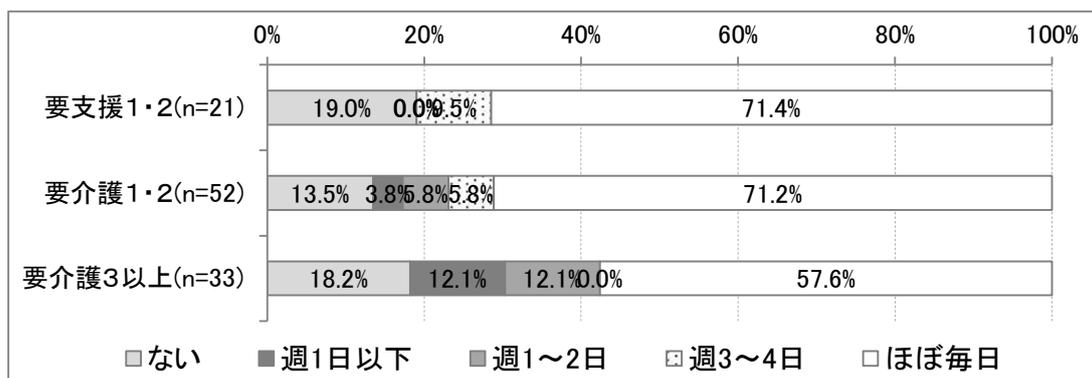
- 単身世帯で、ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援 1・2」では「ない」が 50.8%と高く、次いで「週 1~2 日」が 23.7%、「ほぼ毎日」が 15.3%となっています。「要介護 1・2」では「ない」が 41.3%と高く、次いで「ほぼ毎日」が 24.0%、「週 1 日以下」が 19.2%となっています。「要介護 3 以上」では「ない」が 61.1%と高く、次いで「週 1 日以下」、「ほぼ毎日」が 16.7%、「週 3~4 日」が 5.6%となっています。

図表 4-4 要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）



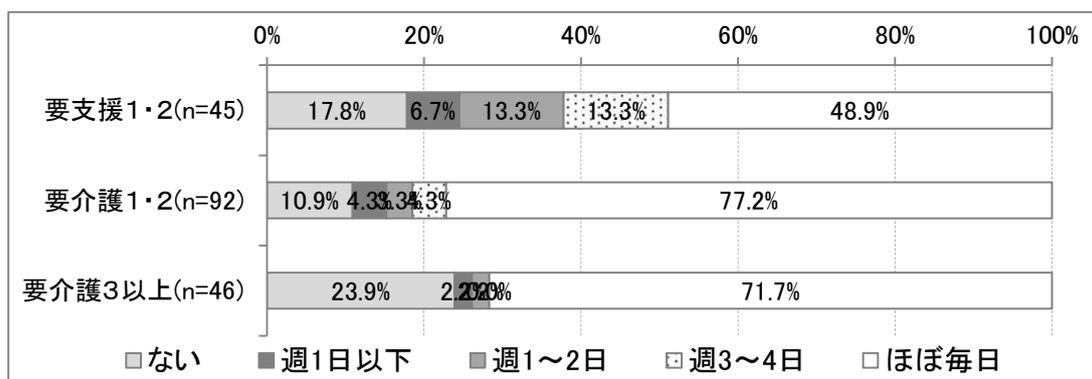
- 夫婦のみ世帯で、ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ほぼ毎日」が71.4%と高く、次いで「ない」が19.0%、「週3～4日」が9.5%となっています。「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が71.2%と高く、次いで「ない」が13.5%、「週1～2日」、「週3～4日」が5.8%となっています。「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が57.6%と高く、次いで「ない」が18.2%、「週1日以下」、「週1～2日」が12.1%となっています。

図表 4-5 要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）



- その他世帯で、ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ほぼ毎日」が48.9%と高く、次いで「ない」が17.8%、「週1～2日」、「週3～4日」が13.3%となっています。「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が77.2%と高く、次いで「ない」が10.9%、「週1日以下」、「週3～4日」が4.3%となっています。「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が71.7%と高く、次いで「ない」が23.9%、「週1日以下」、「週1～2日」が2.2%となっています。

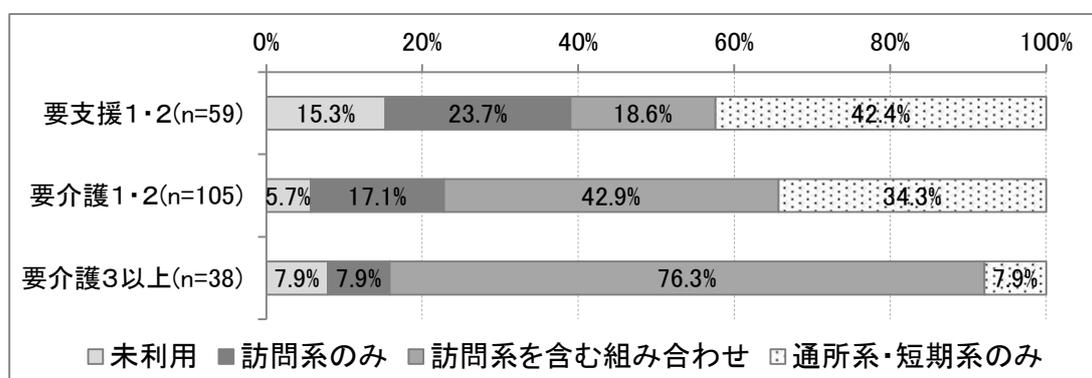
図表 4-6 要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）



(3) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

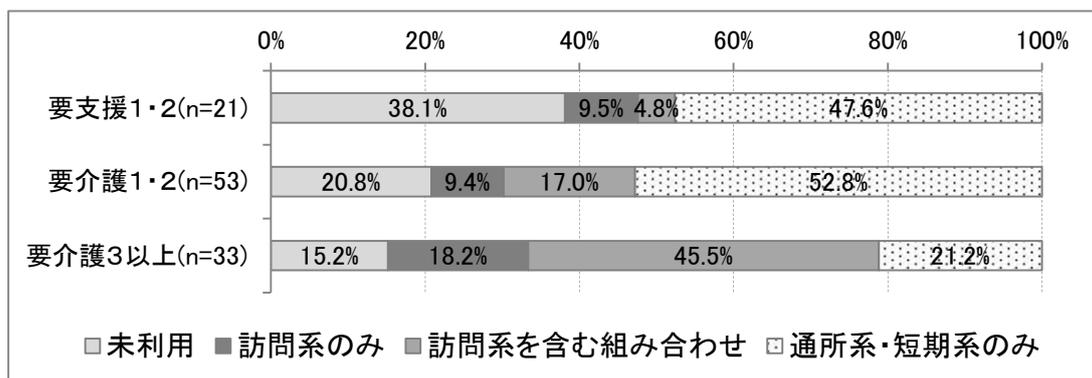
- 要介護度別・認知症自立度別の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」について、集計分析をしています（図表 4-7～図表 4-12）。
- サービス利用の組み合わせは、「訪問系のみ」のサービス利用と、レスパイト機能をもつ「通所系」および「短期系」のみのサービス利用、さらにその2つを組み合わせた「訪問系を含むサービス利用」の3種類（未利用除く）に簡略化したものを使用しています。
- 重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを、世帯類型別に把握することができます。
- また、世帯類型別の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測することも可能になります。
- 例えば、特に今後「要介護度が中重度の単身世帯」が増加すると見込まれる場合は、単身世帯の要介護者が要介護度の重度化に伴いどのようなサービス利用の組み合わせを増加させているかに着目し、推測することなどが考えられます。
- ただし、現在利用しているサービスが「地域目標を達成するためのサービス」であるとは限らない点には注意が必要です。
- 単身世帯で、サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「通所系・短期系のみ」が42.4%と高く、次いで「訪問系のみ」が23.7%、「訪問系を含む組み合わせ」が18.6%となっています。「要介護1・2」では「訪問系を含む組み合わせ」が42.9%と高く、次いで「通所系・短期系のみ」が34.3%、「訪問系のみ」が17.1%となっています。「要介護3以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が76.3%と高く、次いで「未利用」、「訪問系のみ」、「通所系・短期系のみ」が7.9%となっています。

図表 4-7 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



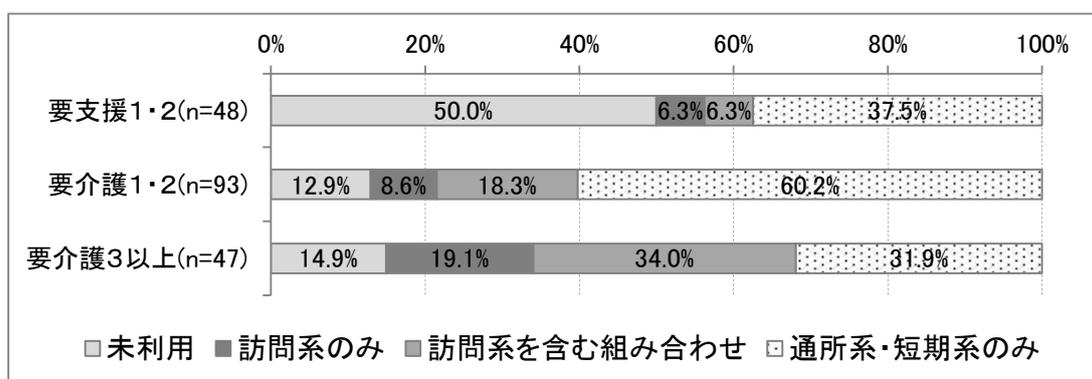
- 夫婦のみ世帯で、サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「通所系・短期系のみ」が47.6%と高く、次いで「未利用」が38.1%、「訪問系のみ」が9.5%となっています。「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が52.8%と高く、次いで「未利用」が20.8%、「訪問系を含む組み合わせ」が17.0%となっています。「要介護3以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が45.5%と高く、次いで「通所系・短期系のみ」が21.2%、「訪問系のみ」が18.2%となっています。

図表 4-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



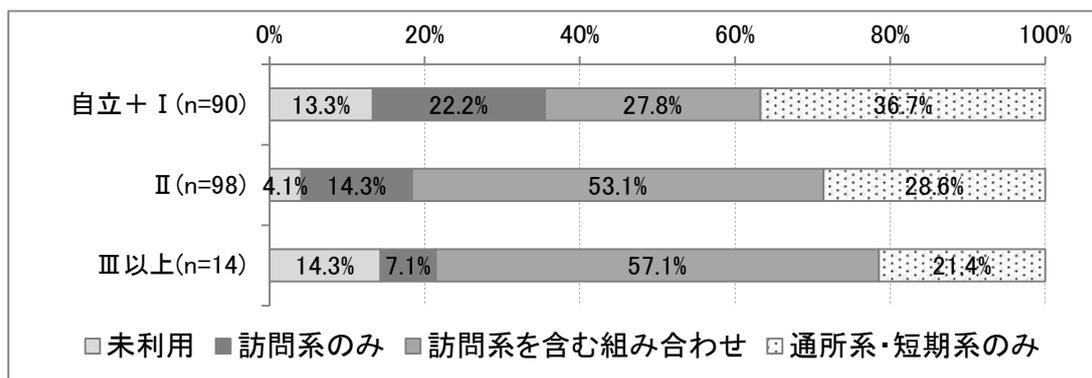
- その他世帯で、サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が50.0%と高く、次いで「通所系・短期系のみ」が37.5%、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が6.3%となっています。「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が60.2%と高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が18.3%、「未利用」が12.9%となっています。「要介護3以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が34.0%と高く、次いで「通所系・短期系のみ」が31.9%、「訪問系のみ」が19.1%となっています。

図表 4-9 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）



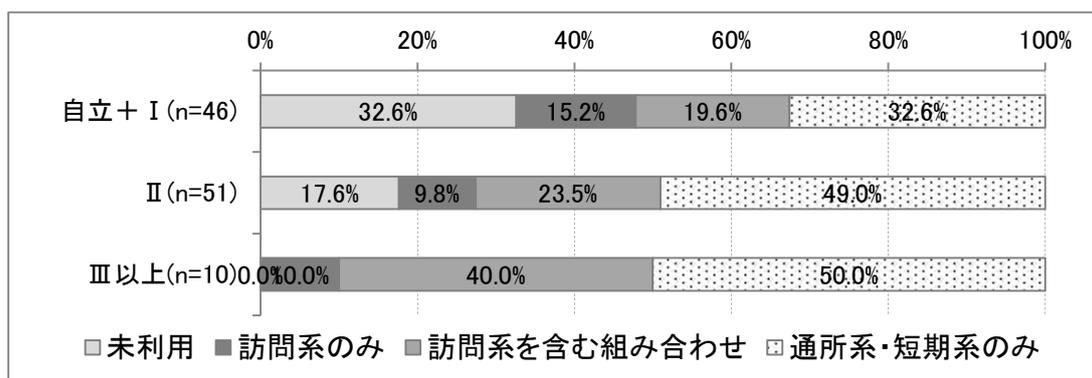
- 単身世帯で、サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「通所系・短期系のみ」が36.7%と高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が27.8%、「訪問系のみ」が22.2%となっています。「Ⅱ」では「訪問系を含む組み合わせ」が53.1%と高く、次いで「通所系・短期系のみ」が28.6%、「訪問系のみ」が14.3%となっています。「Ⅲ以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が57.1%と高く、次いで「通所系・短期系のみ」が21.4%、「未利用」が14.3%となっています。

図表 4-10 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



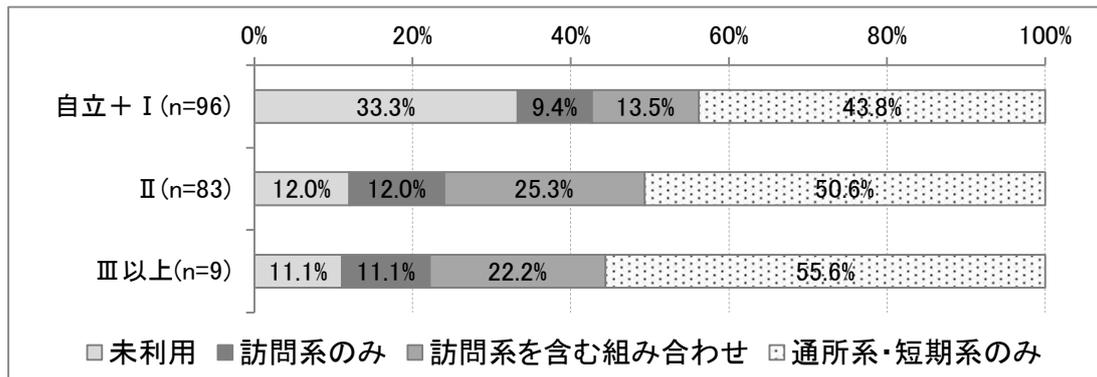
- 夫婦のみ世帯で、サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「未利用」、「通所系・短期系のみ」が32.6%と高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が19.6%、「訪問系のみ」が15.2%となっています。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が49.0%と高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が23.5%、「未利用」が17.6%となっています。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が50.0%と高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が40.0%、「訪問系のみ」が10.0%となっています。

図表 4-11 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



- その他世帯で、サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「通所系・短期系のみ」が43.8%と高く、次いで「未利用」が33.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が13.5%となっています。「II」では「通所系・短期系のみ」が50.6%と高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が25.3%、「未利用」、「訪問系のみ」が12.0%となっています。「III以上」では「通所系・短期系のみ」が55.6%と高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が22.2%、「未利用」、「訪問系のみ」が11.1%となっています。

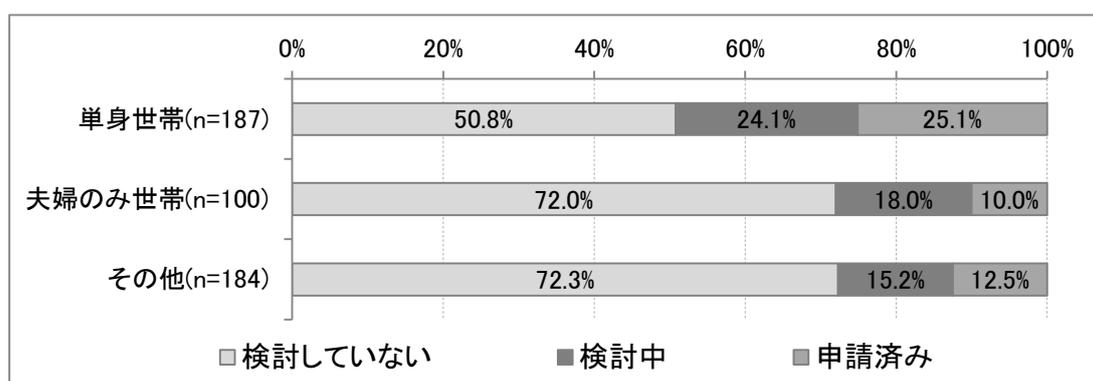
図表 4-12 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）



(4) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」

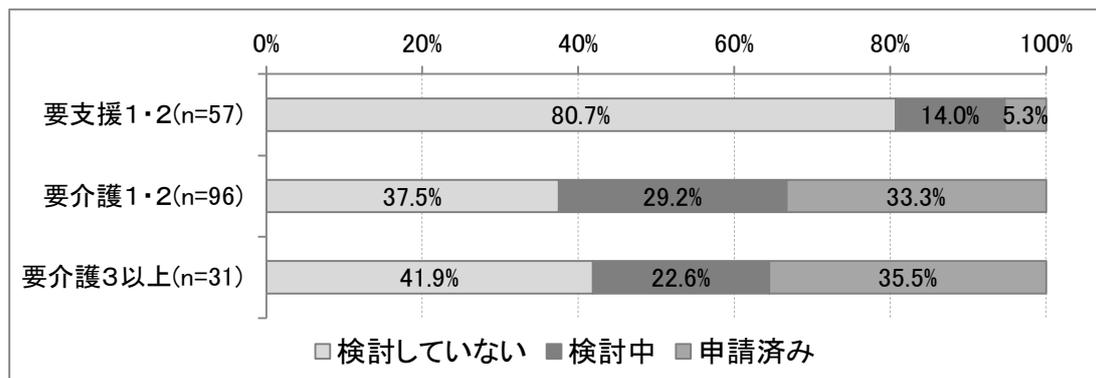
- ここでは、「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」について、集計分析をしています（図表 4-13～図表 4-19）。
- 「施設等検討の状況」について「入所・入居は検討していない」の割合を高めることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の1つです。
- ここでは「世帯類型」ごとの特徴を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。
- 施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が50.8%と高く、次いで「申請済み」が25.1%となっています。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が72.0%と高く、次いで「検討中」が18.0%となっています。「その他」では「検討していない」が72.3%と高く、次いで「検討中」が15.2%となっています。

図表 4-13 世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）



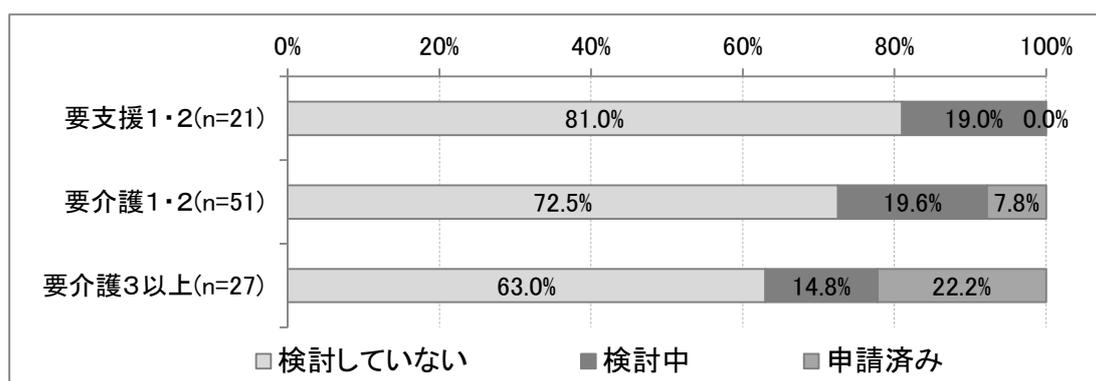
- 単身世帯で、施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が80.7%と高く、次いで「検討中」が14.0%、「申請済み」が5.3%となっています。「要介護1・2」では「検討していない」が37.5%と高く、次いで「申請済み」が33.3%、「検討中」が29.2%となっています。「要介護3以上」では「検討していない」が41.9%と高く、次いで「申請済み」が35.5%、「検討中」が22.6%となっています。

図表 4-14 要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）



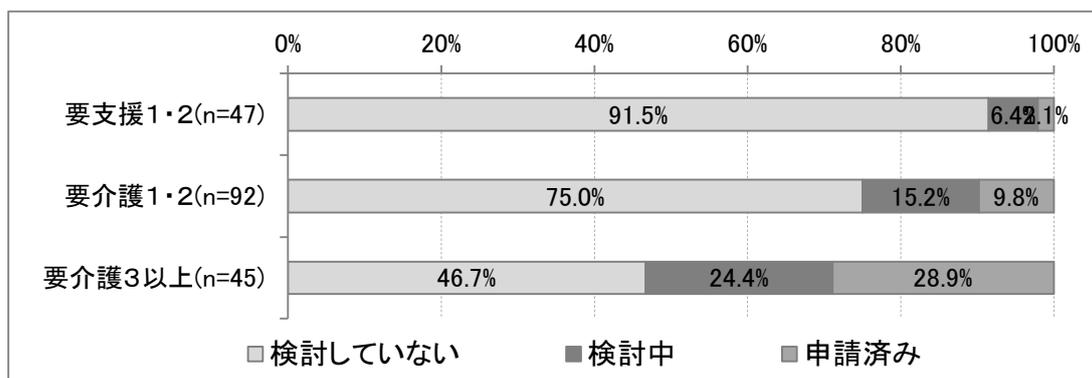
- 夫婦のみ世帯で、施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が81.0%と高く、次いで「検討中」が19.0%、「申請済み」が0.0%となっています。「要介護1・2」では「検討していない」が72.5%と高く、次いで「検討中」が19.6%、「申請済み」が7.8%となっています。「要介護3以上」では「検討していない」が63.0%と高く、次いで「申請済み」が22.2%、「検討中」が14.8%となっています。

図表 4-15 要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）



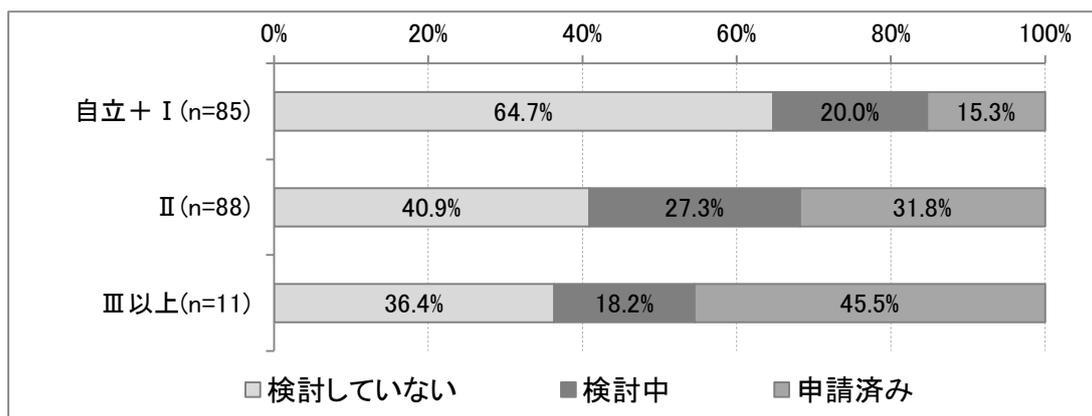
- その他世帯で、施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が91.5%と高く、次いで「検討中」が6.4%、「申請済み」が2.1%となっています。「要介護1・2」では「検討していない」が75.0%と高く、次いで「検討中」が15.2%、「申請済み」が9.8%となっています。「要介護3以上」では「検討していない」が46.7%と高く、次いで「申請済み」が28.9%、「検討中」が24.4%となっています。

図表 4-16 要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）



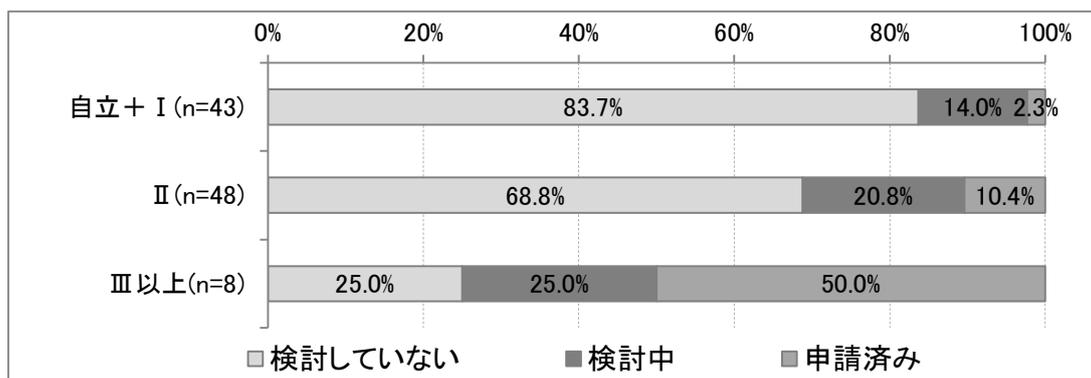
- 単身世帯で、施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+I」では「検討していない」が64.7%と高く、次いで「検討中」が20.0%、「申請済み」が15.3%となっています。「II」では「検討していない」が40.9%と高く、次いで「申請済み」が31.8%、「検討中」が27.3%となっています。「III以上」では「申請済み」が45.5%と高く、次いで「検討していない」が36.4%、「検討中」が18.2%となっています。

図表 4-17 認知症自立度別・施設等検討の状況（単身世帯）



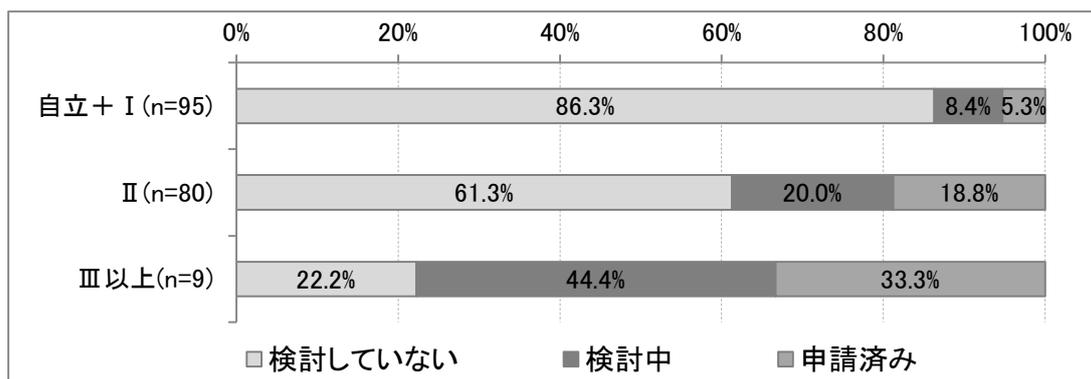
- 夫婦のみ世帯で、施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「検討していない」が83.7%と高く、次いで「検討中」が14.0%、「申請済み」が2.3%となっています。「Ⅱ」では「検討していない」が68.8%と高く、次いで「検討中」が20.8%、「申請済み」が10.4%となっています。「Ⅲ以上」では「申請済み」が50.0%と高く、次いで「検討していない」、「検討中」が25.0%となっています。

図表 4-18 認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）



- その他の世帯で、施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「検討していない」が86.3%と高く、次いで「検討中」が8.4%、「申請済み」が5.3%となっています。「Ⅱ」では「検討していない」が61.3%と高く、次いで「検討中」が20.0%、「申請済み」が18.8%となっています。「Ⅲ以上」では「検討中」が44.4%と高く、次いで「申請済み」が33.3%、「検討していない」が22.2%となっています。

図表 4-19 認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）



5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

5.1 集計・分析の狙い

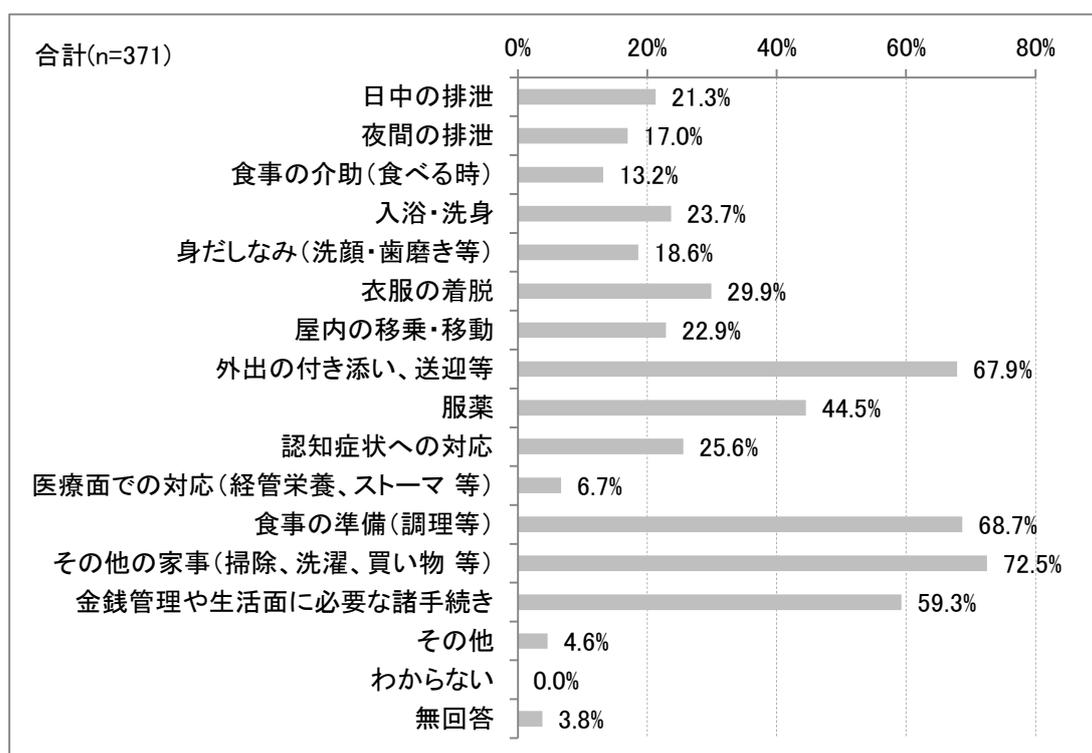
- ここでは、医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの検討につなげるための集計を行います。
- 具体的には、世帯類型別・要介護度別の「主な介護者が行っている介護」や「訪問診療の利用の有無」、「訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ」などの分析を行います。

5.2 集計結果と着目すべきポイント

(1) 基礎集計

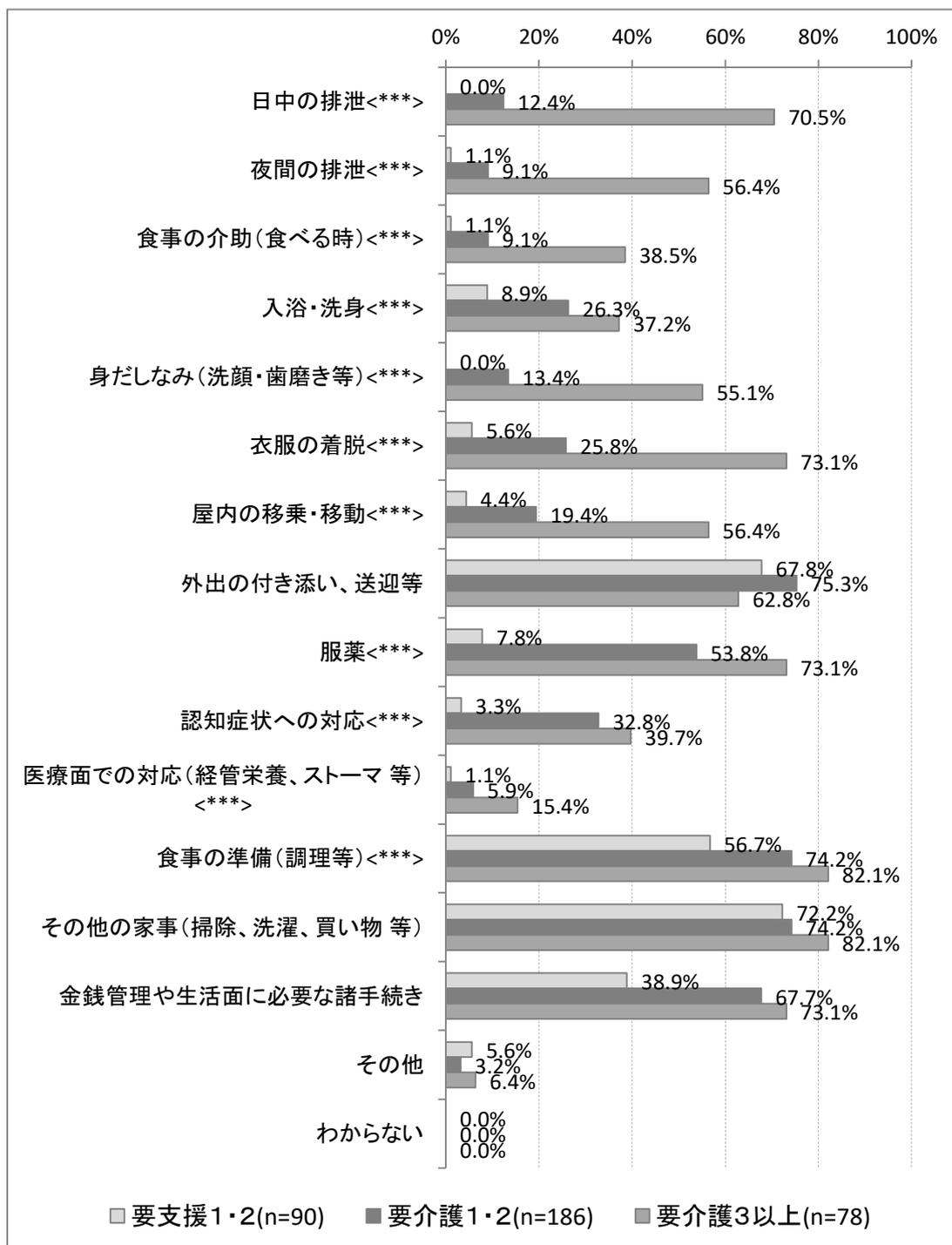
- 「主な介護者が行っている介護」について、要介護度別・世帯類型別の集計を行っています（図表 5-1～図表 5-3）。
- ここでは、特に「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」に着目し、家族等の主な介護者が「医療面での対応」を行っている割合を把握することができます。
- 「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が 72.5%と最も高く次いで、「食事の準備（調理等）（68.7%）」、「外出の付き添い、送迎等（67.9%）」となっています。

図表 5-1 ★主な介護者が行っている介護



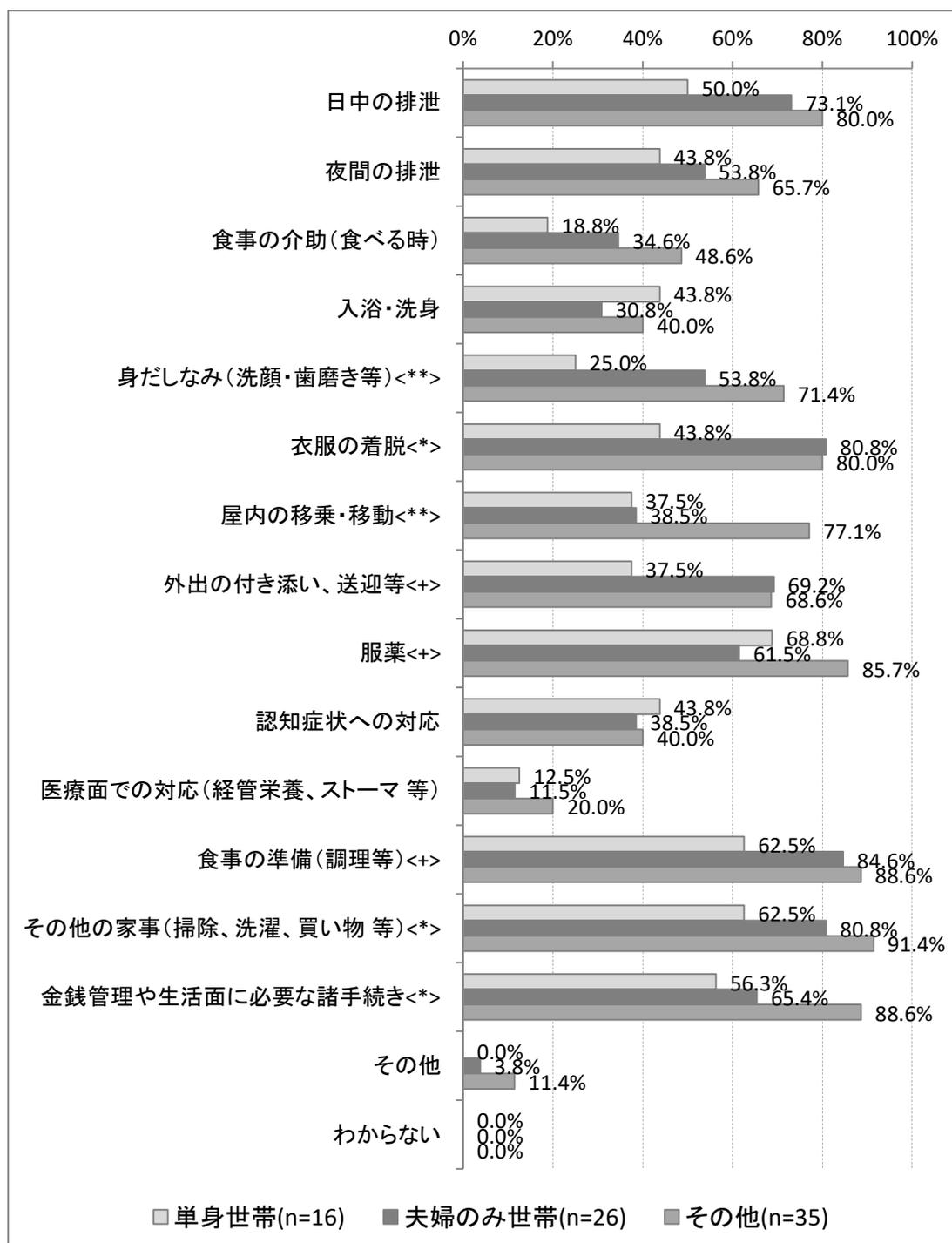
- 介護者が行っている介護を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が72.2%と高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が67.8%となっています。「要介護1・2」では「外出の付き添い、送迎等」が75.3%と高く、次いで「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が74.2%となっています。「要介護3以上」では「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が82.1%と高く、次いで「衣服の着脱」、「服薬」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が73.1%、「日中の排泄」が70.5%となっています。

図表 5-2 要介護度別・★主な介護者が行っている介護



- 要介護3以上の方で、介護者が行っている介護を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「服薬」が68.8%と高く、次いで「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が62.5%となっています。「夫婦のみ世帯」では「食事の準備（調理等）」が84.6%と高く、次いで「衣服の着脱」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が80.8%、「日中の排泄」が73.1%となっています。「その他」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が91.4%と高く、次いで「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が88.6%、「服薬」が85.7%となっています。

図表 5-3 世帯類型別・★主な介護者が行っている介護（要介護3以上）



6 サービス未利用の理由など

6.1 集計・分析の狙い

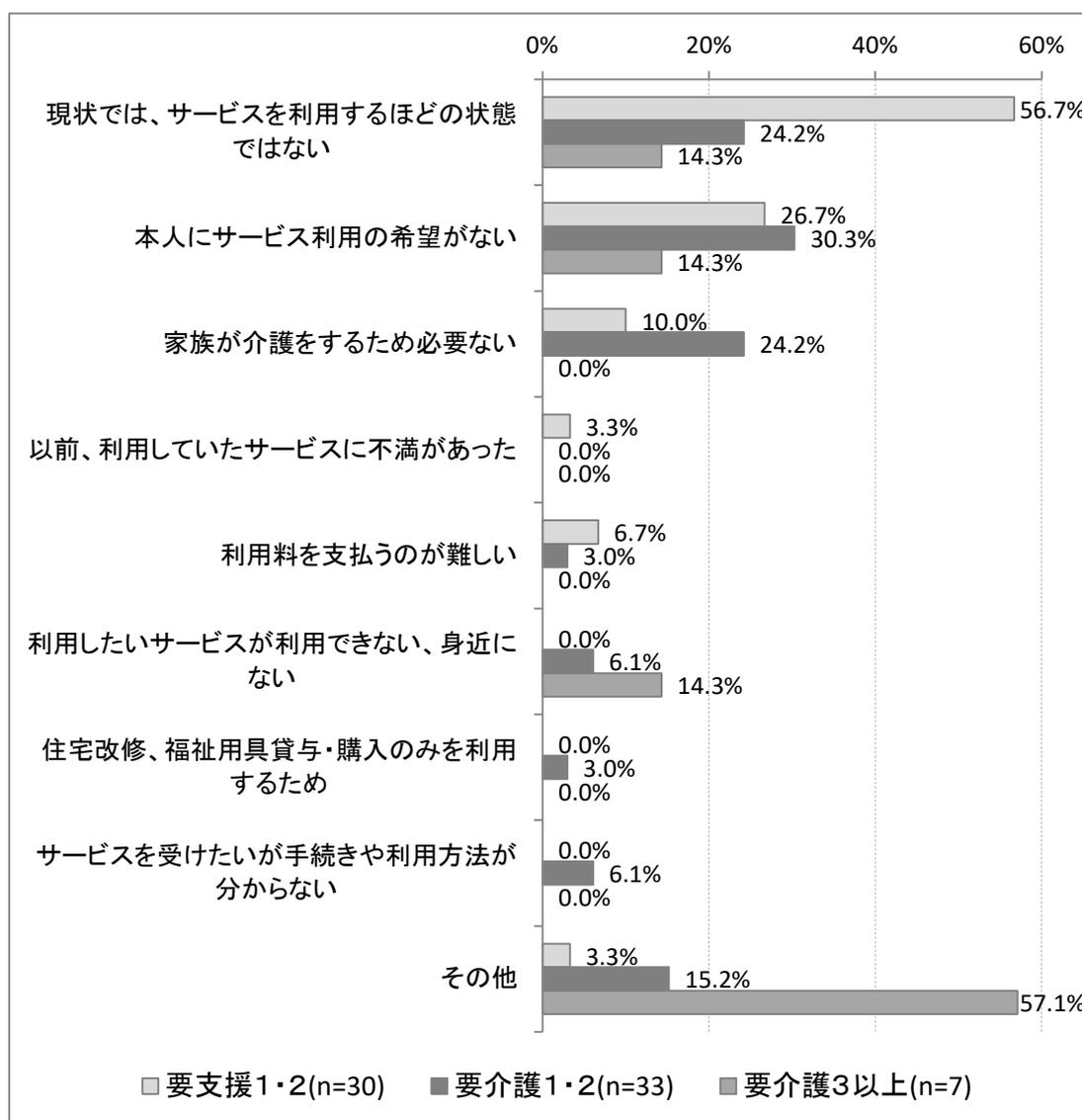
- ここでは、各地域において支援・サービスの提供体制の構築を含む各種の取組を検討する際に、参考になると考えられるいくつかの集計結果を整理しています。
- 主要なデータは、テーマ1～テーマ5において整理をしていますが、ここで整理する集計結果も必要に応じてご活用ください。

6.2 集計結果（参考）

(1) 要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

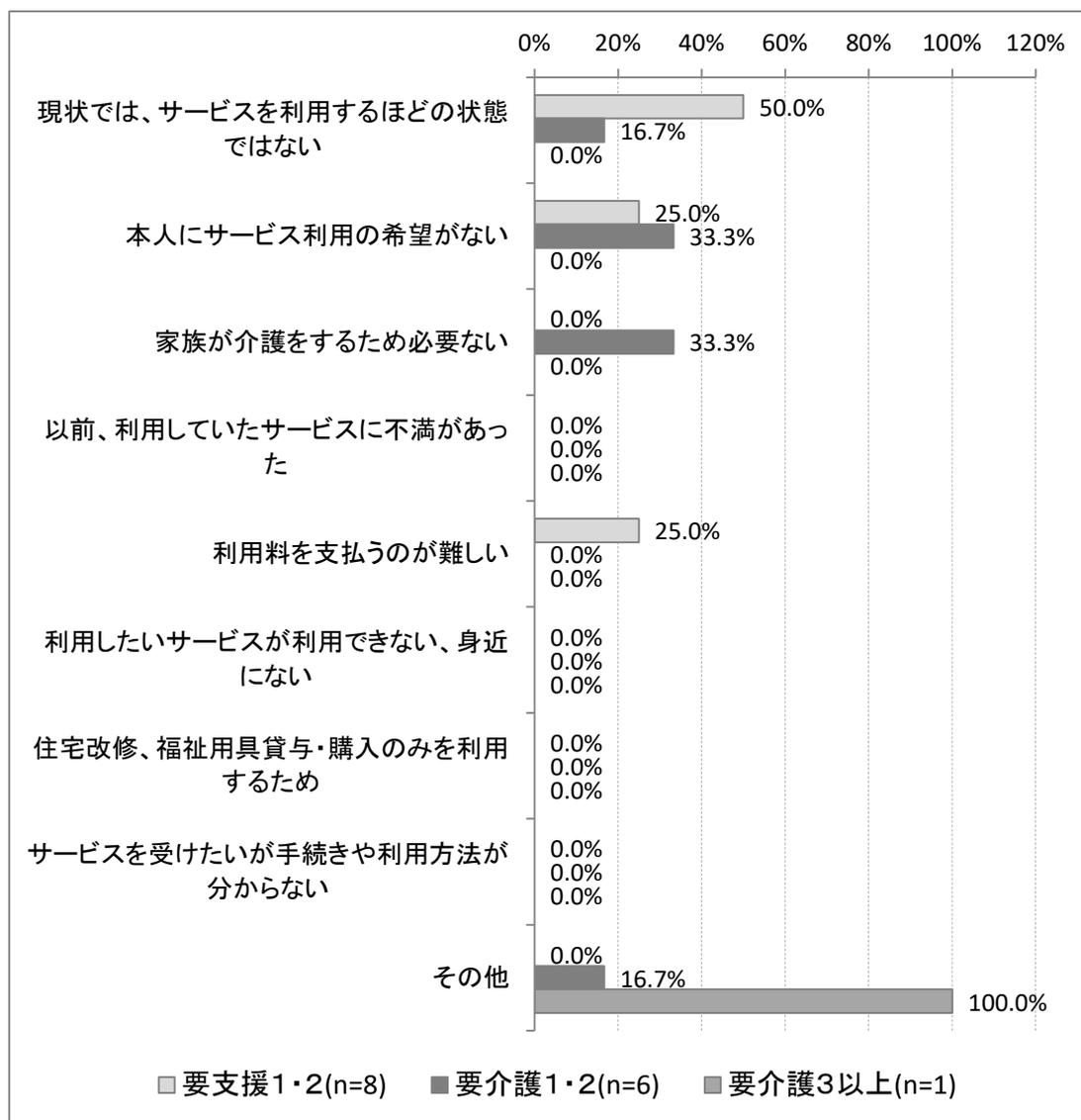
- 要介護度別のサービス未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が56.7%と高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が26.7%、「家族が介護をするため必要ない」が10.0%となっています。「要介護1・2」では「本人にサービス利用の希望がない」が30.3%と高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」が24.2%、「その他」が15.2%となっています。「要介護3以上」では「その他」が57.1%と高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」が14.3%、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が0.0%となっています。

図表 6-1 要介護度別の★サービス未利用の理由



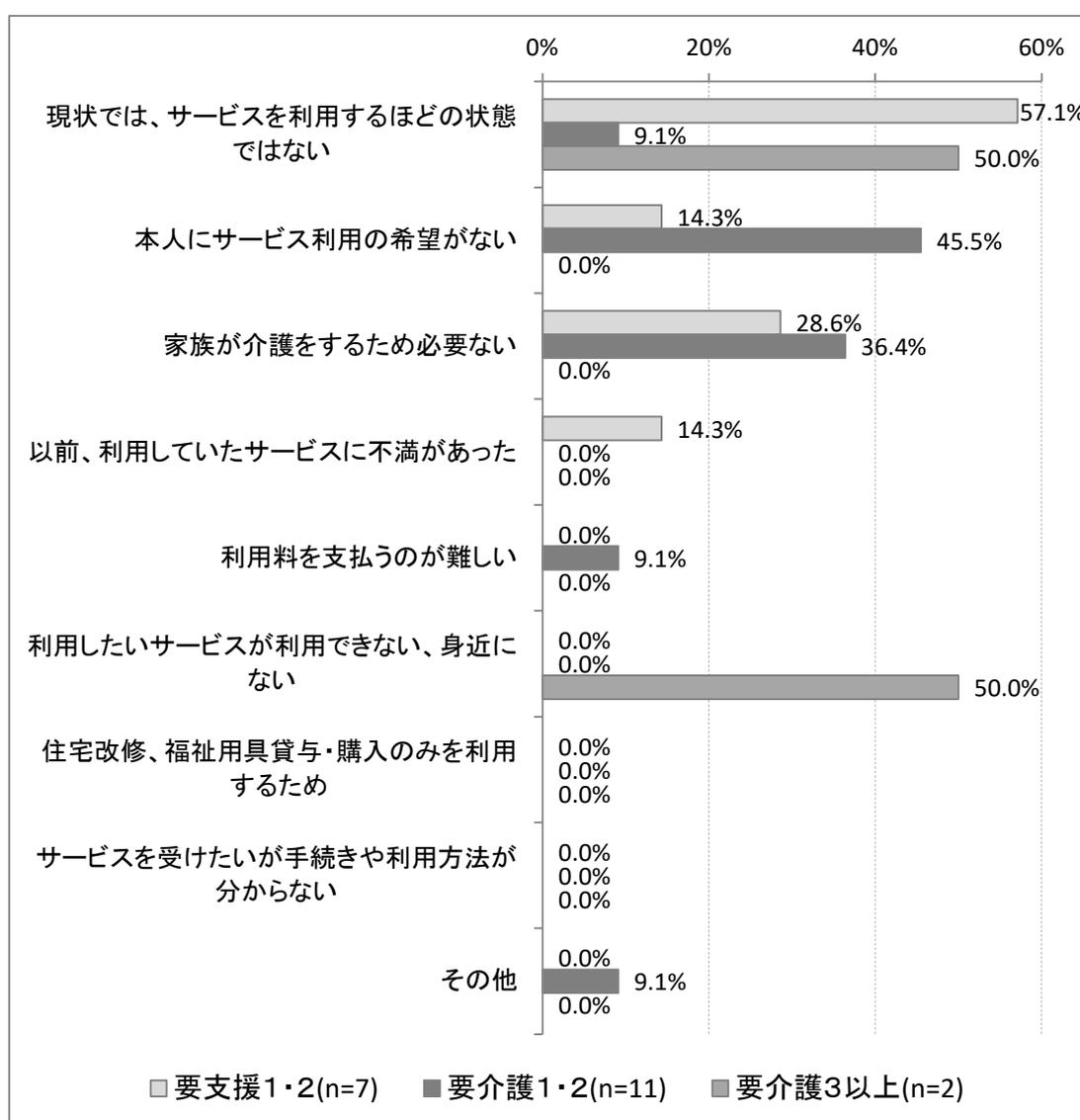
- 単身世帯で、未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が50.0%と高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「利用料を支払うのが難しい」が25.0%となっています。「要介護1・2」では「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が33.3%と高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「その他」が16.7%となっています。「要介護3以上」では「その他」が100.0%となっています。

図表 6-2 要介護度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）



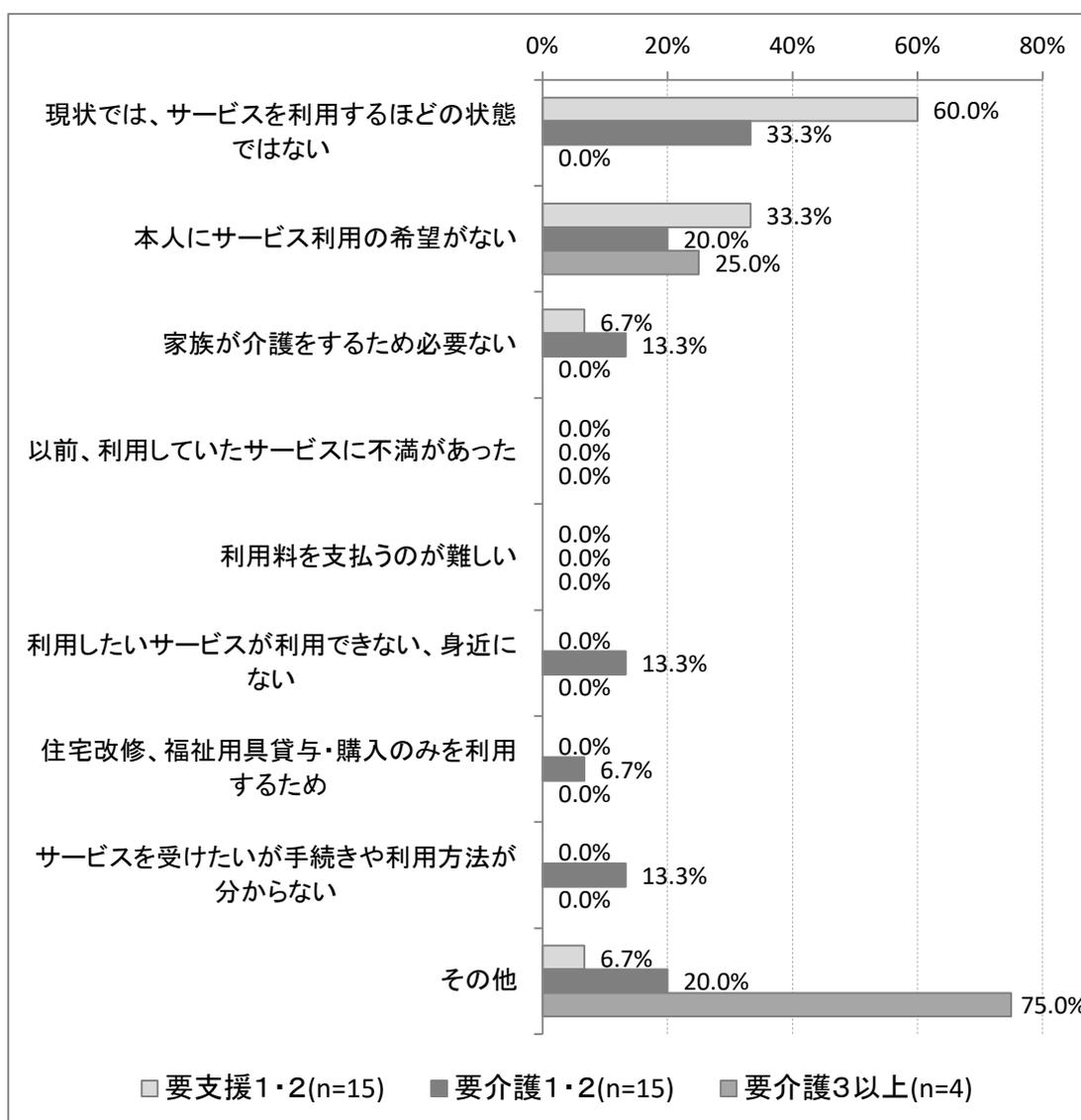
- 夫婦のみ世帯で、未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が57.1%と高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が28.6%、「本人にサービス利用の希望がない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」が14.3%となっています。「要介護1・2」では「本人にサービス利用の希望がない」が45.5%と高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が36.4%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「利用料を支払うのが難しい」、「その他」が9.1%となっています。「要介護3以上」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」が50.0%と高くとなっています。

図表 6-3 要介護度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）



- その他世帯で、未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が60.0%と高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が33.3%、「家族が介護をするため必要ない」、「その他」が6.7%となっています。「要介護1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が33.3%と高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「その他」が20.0%、「家族が介護をするため必要ない」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が13.3%となっています。「要介護3以上」では「その他」が75.0%と高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が25.0%となっています。

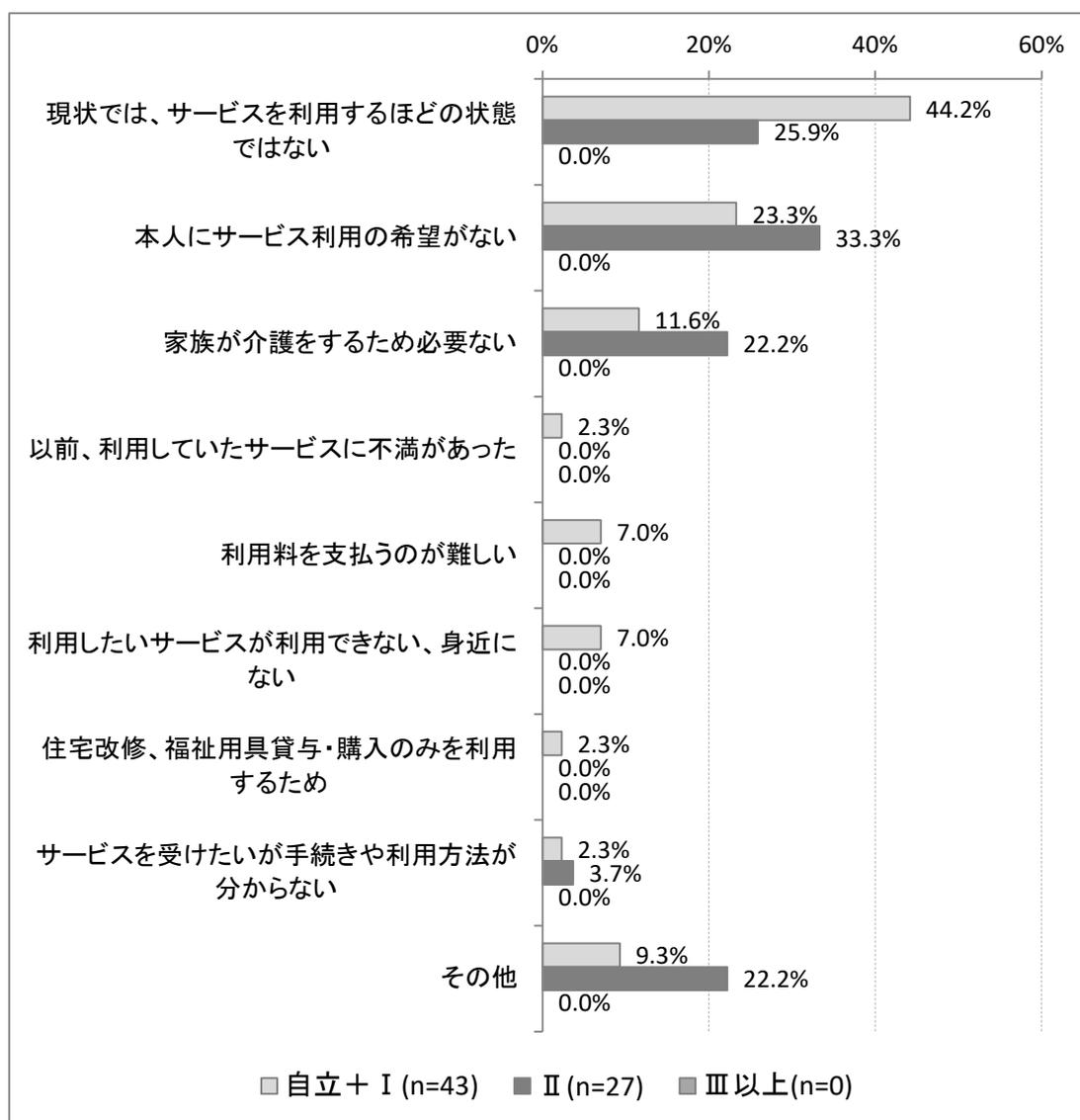
図表 6-4 要介護度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）



(2) 認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

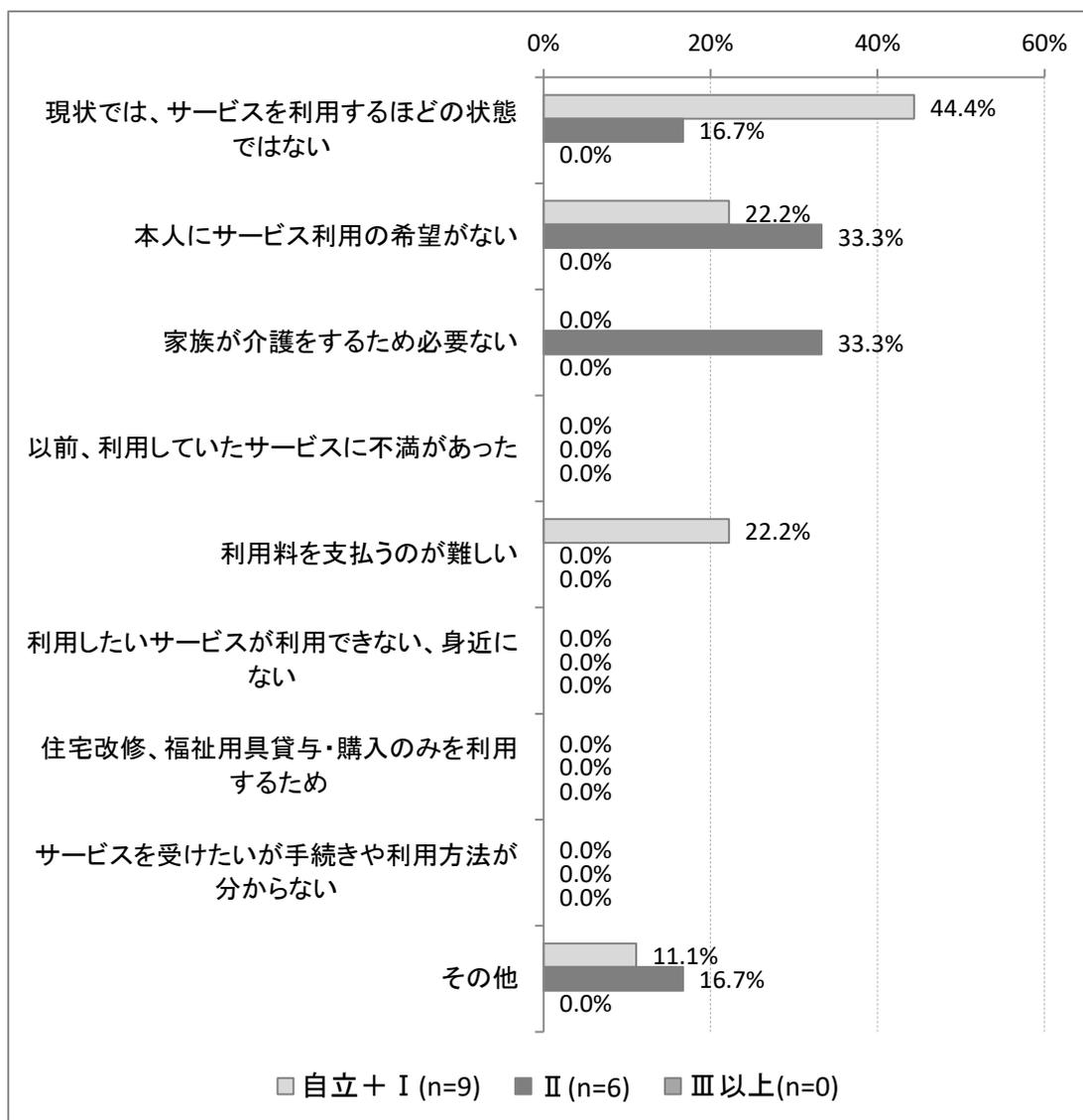
- 未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が44.2%と高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が23.3%、「家族が介護をするため必要ない」が11.6%となっています。「Ⅱ」では「本人にサービス利用の希望がない」が33.3%と高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が25.9%、「家族が介護をするため必要ない」、「その他」が22.2%となっています。

図表 6-5 認知症自立度別の★サービス未利用の理由



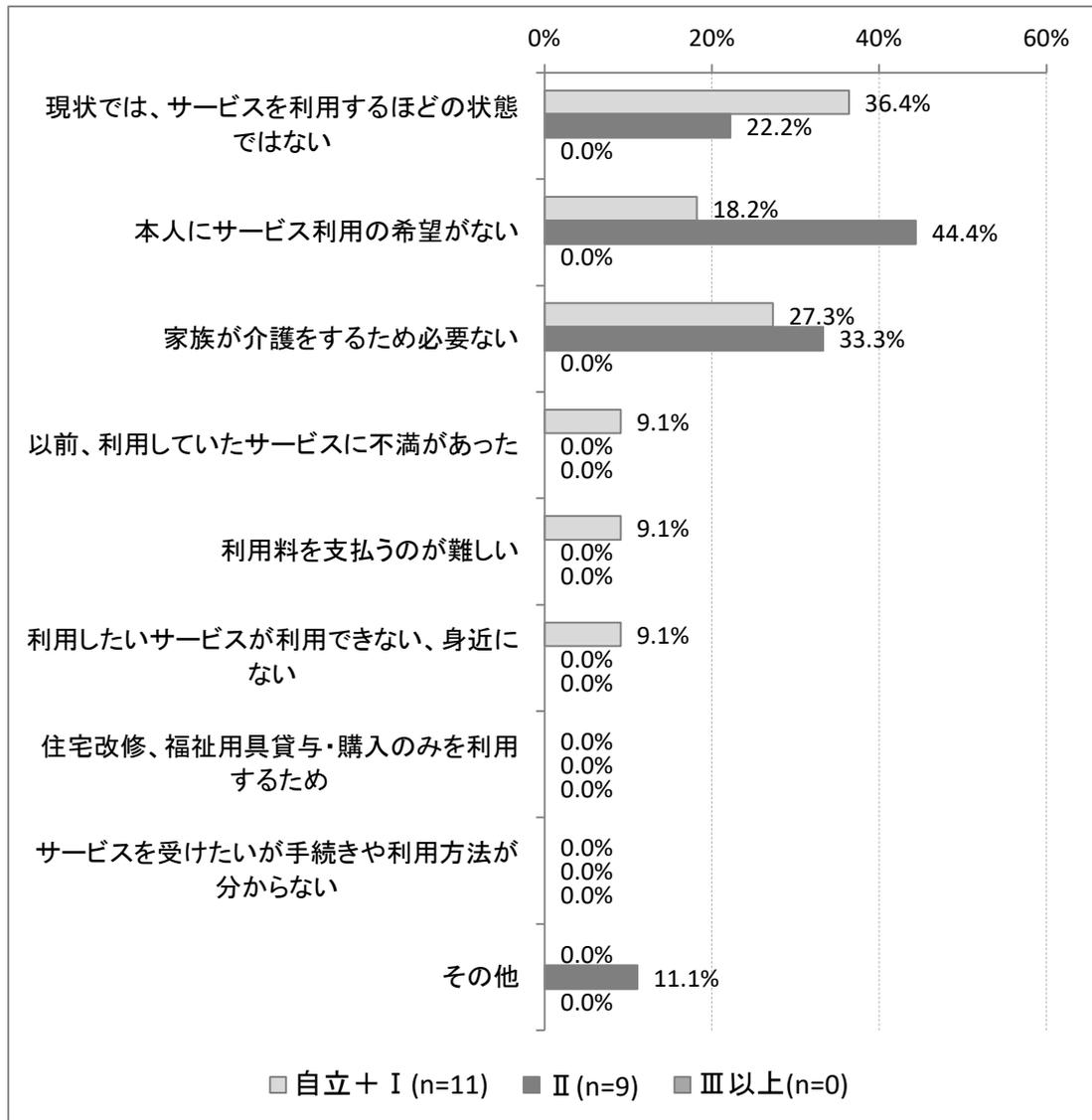
- 単身世帯で、未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が44.4%と高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「利用料を支払うのが難しい」が22.2%、「その他」が11.1%となっています。「Ⅱ」では「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が33.3%と高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「その他」が16.7%となっています。

図表 6-6 認知症自立度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）



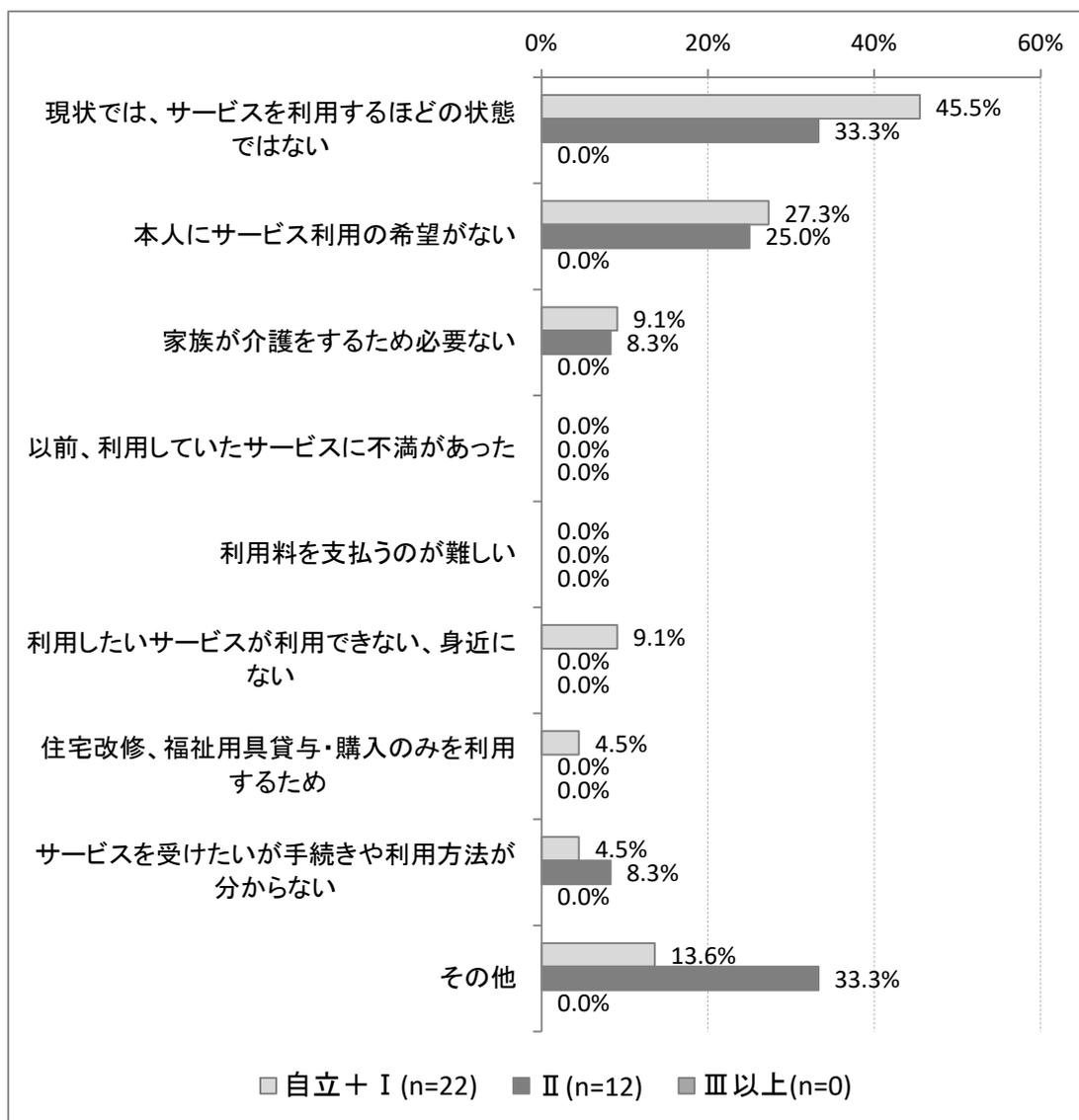
- 夫婦のみ世帯で、未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が36.4%と高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が27.3%、「本人にサービス利用の希望がない」が18.2%となっています。「Ⅱ」では「本人にサービス利用の希望がない」が44.4%と高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が33.3%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が22.2%となっています。

図表 6-7 認知症自立度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）



- 未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が45.5%と高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が27.3%、「その他」が13.6%となっています。「II」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「その他」が33.3%と高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が25.0%、「家族が介護をするため必要ない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が8.3%となっています。

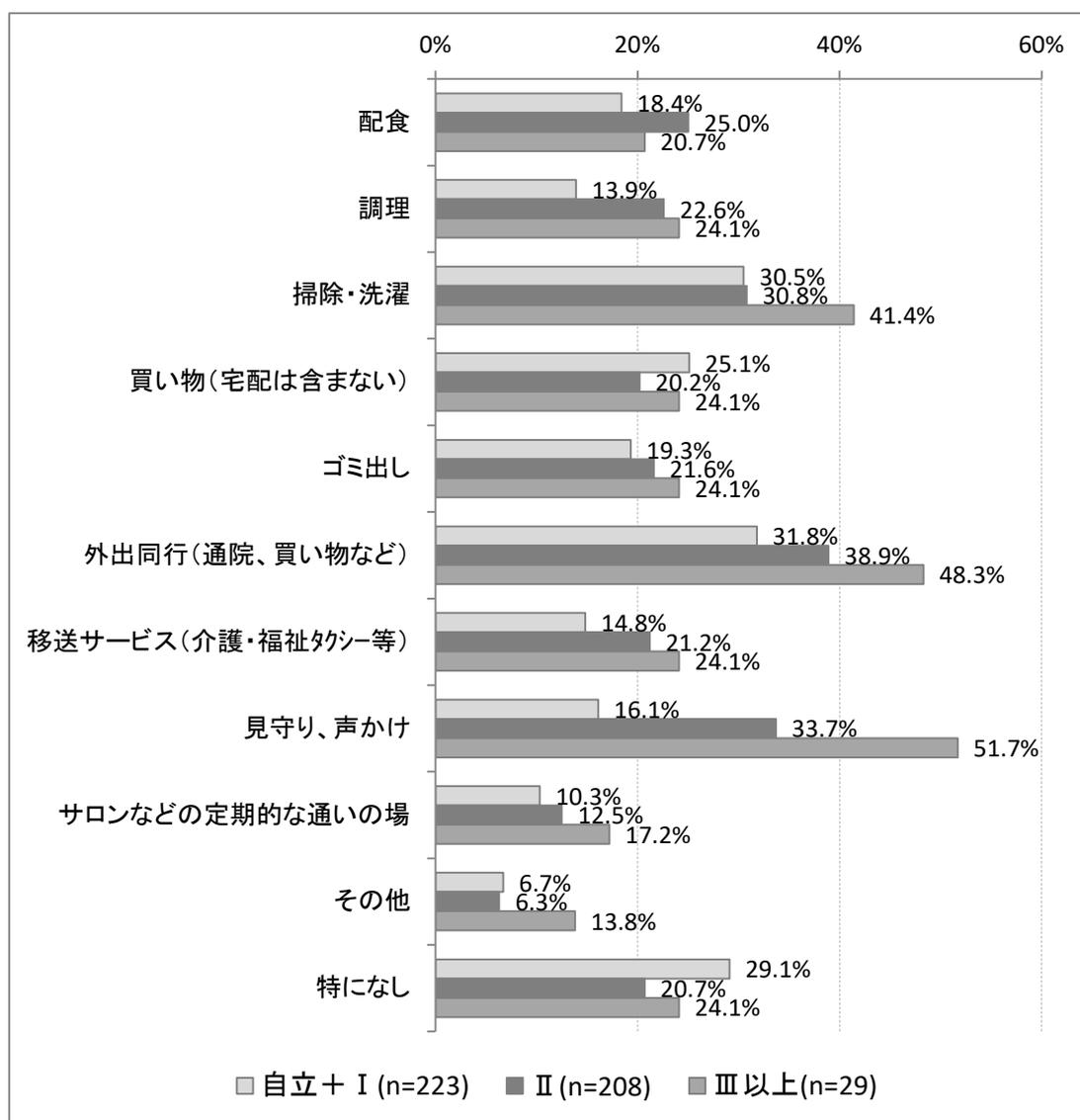
図表 6-8 認知症自立度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）



(3) 認知症自立度別の今後の在宅生活に必要と感じる支援・サービス

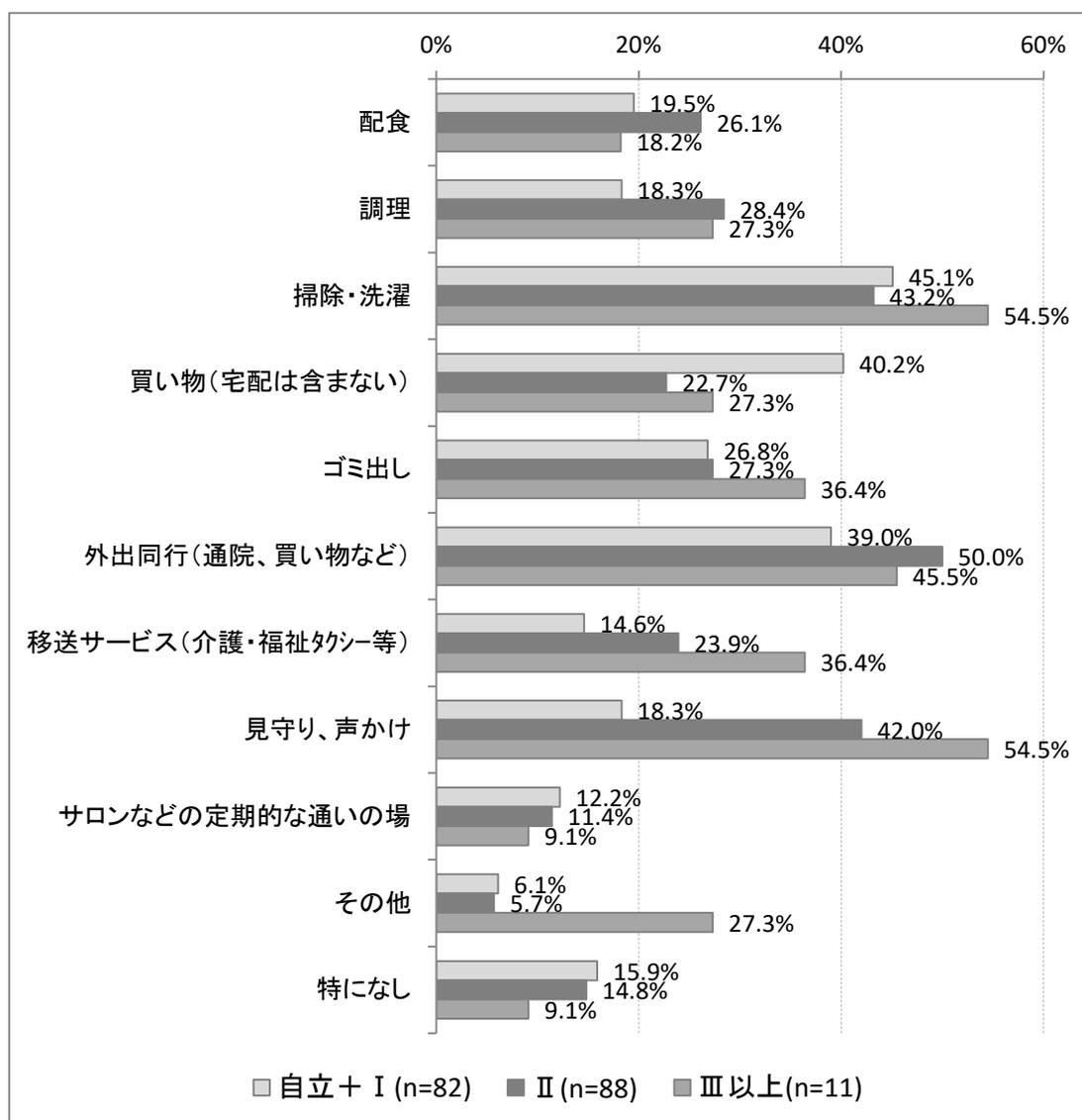
- 保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「外出同行（通院、買い物など）」が31.8%と高く、次いで「掃除・洗濯」が30.5%、「特になし」が29.1%となっています。「Ⅱ」では「外出同行（通院、買い物など）」が38.9%と高く、次いで「見守り、声かけ」が33.7%、「掃除・洗濯」が30.8%となっています。「Ⅲ以上」では「見守り、声かけ」が51.7%と高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が48.3%、「掃除・洗濯」が41.4%となっています。

図表 6-9 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



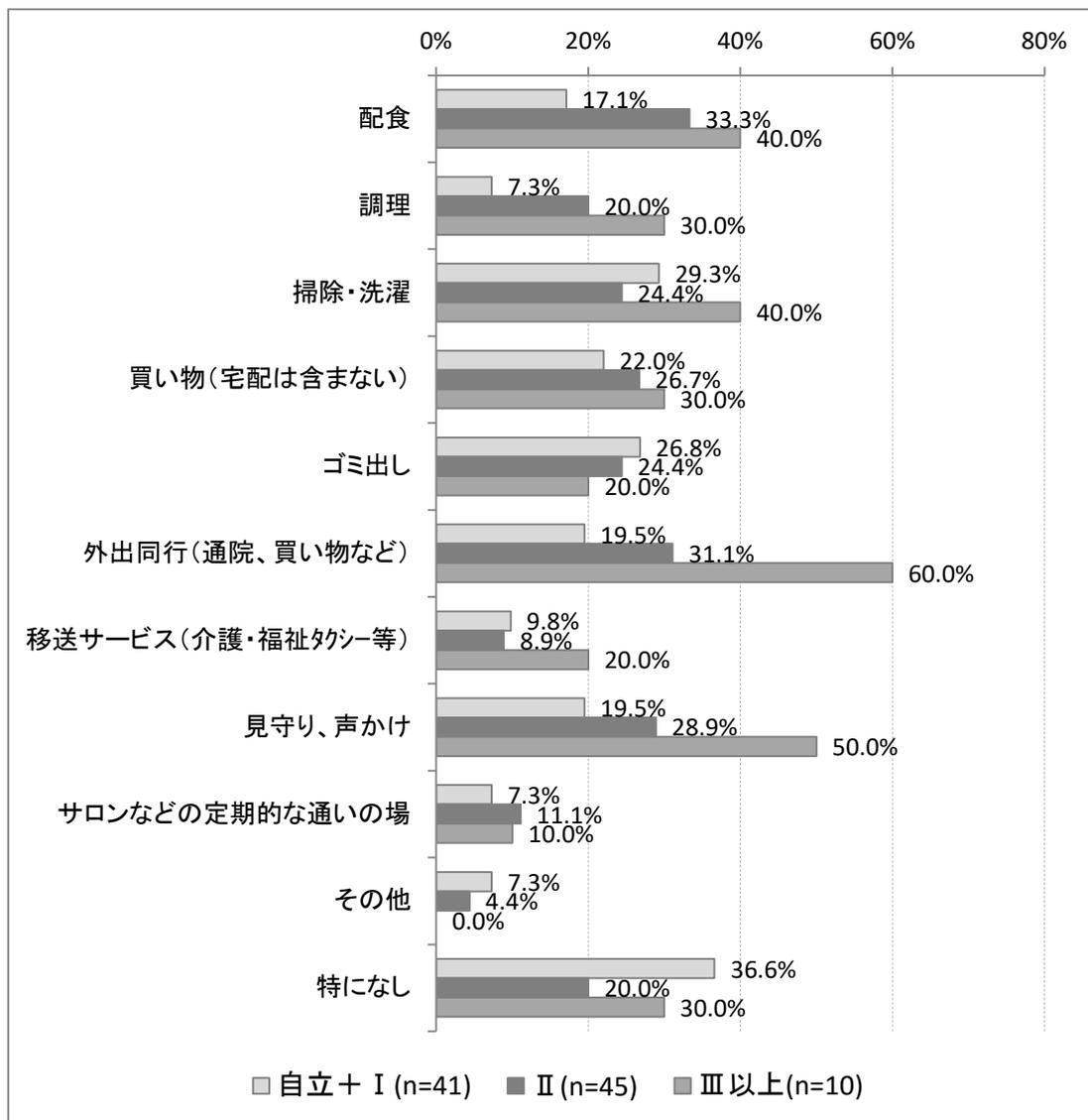
- 単身世帯で、保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「掃除・洗濯」が45.1%と高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が40.2%、「外出同行（通院、買い物など）」が39.0%となっています。「Ⅱ」では「外出同行（通院、買い物など）」が50.0%と高く、次いで「掃除・洗濯」が43.2%、「見守り、声かけ」が42.0%となっています。「Ⅲ以上」では「掃除・洗濯」、「見守り、声かけ」が54.5%と高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が45.5%、「ゴミ出し」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が36.4%となっています。

図表 6-10 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



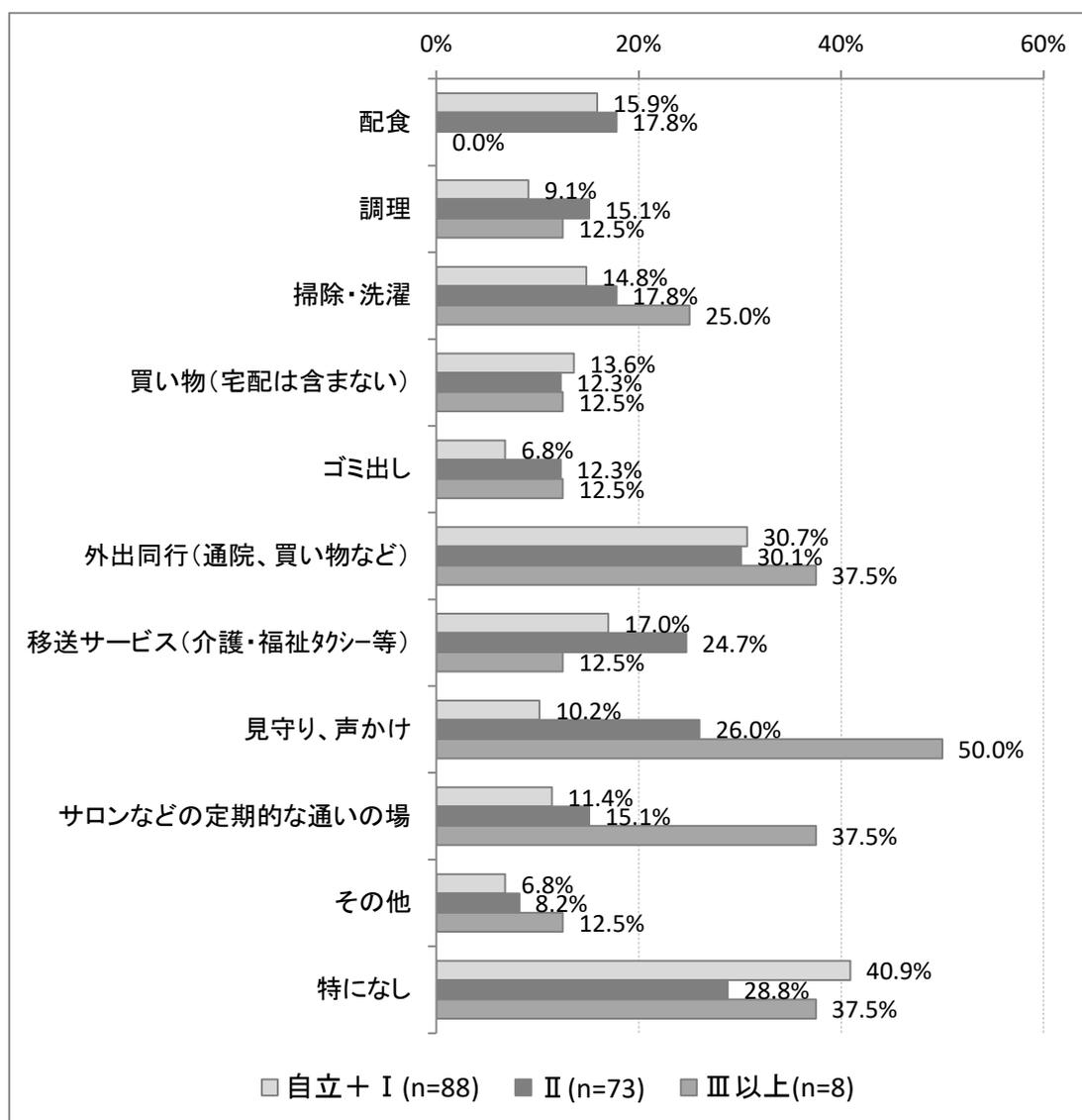
- 夫婦のみ世帯で、保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「特になし」が36.6%と高く、次いで「掃除・洗濯」が29.3%、「ゴミ出し」が26.8%となっています。「Ⅱ」では「配食」が33.3%と高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が31.1%、「見守り、声かけ」が28.9%となっています。「Ⅲ以上」では「外出同行（通院、買い物など）」が60.0%と高く、次いで「見守り、声かけ」が50.0%、「配食」、「掃除・洗濯」が40.0%となっています。

図表 6-11 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス
(夫婦のみ世帯)



- その他世帯で、保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「特になし」が40.9%と高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が30.7%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が17.0%となっています。「Ⅱ」では「外出同行（通院、買い物など）」が30.1%と高く、次いで「特になし」が28.8%、「見守り、声かけ」が26.0%となっています。「Ⅲ以上」では「見守り、声かけ」が50.0%と高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」、「サロンなどの定期的な通いの場」、「特になし」が37.5%、「掃除・洗濯」が25.0%となっています。

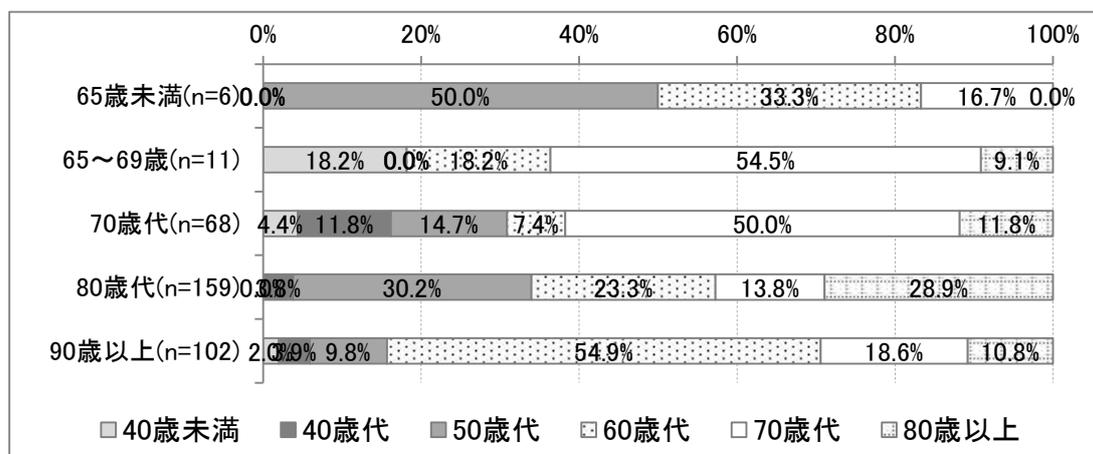
図表 6-12 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）



(4) 本人の年齢別・主な介護者の年齢

- 介護者の年齢を本人年齢別にみると、「65歳未満」では「50歳代」が50.0%と高く、次いで「60歳代」が33.3%、「70歳代」が16.7%となっています。「65～69歳」では「70歳代」が54.5%と高く、次いで「40歳未満」、「60歳代」が18.2%、「80歳以上」が9.1%となっています。「70歳代」では「70歳代」が50.0%と高く、次いで「50歳代」が14.7%、「40歳代」、「80歳以上」が11.8%となっています。「80歳代」では「50歳代」が30.2%と高く、次いで「80歳以上」が28.9%、「60歳代」が23.3%となっています。「90歳以上」では「60歳代」が54.9%と高く、次いで「70歳代」が18.6%、「80歳以上」が10.8%となっています。

図表 6-13 本人の年齢別・主な介護者の年齢



在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号[_____]

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

問8(裏面)へ

問3～問11へ

問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

1. 男性
2. 女性

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 特になし | |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問9 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問10 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)の介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

● 問10で「2.」を回答した場合は、問11も調査してください。

問11 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

● 問2で「2.」～「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

調査員名 _____

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------------------|---|---------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2～問4へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問4(裏面)へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけるそうですか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください
(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

防府市長 殿

**「在宅介護実態調査」に係る
要介護認定データの活用に係る同意書**

私は、「在宅介護実態調査」に係る要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）の活用について、以下の事項を確認のうえ、同意します。

記

■ 要介護認定データの利用目的について

本日、実施する認定調査に係る、要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）は、要介護認定及び当市における高齢者等支援施策の検討の際の基礎資料とすることを目的に使用させていただきます。本人の許可なく、目的以外の使用は致しません。

以 上

令和 年 月 日

ご署名 _____

(代筆者)